

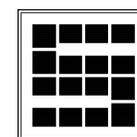
平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事

平成28年7月

建築工事					電気設備工事				機械設備工事		
図面番号	図面名称	縮尺A2	図面番号	縮尺A2	図面番号	図面番号	縮尺A2	図面番号	縮尺A2	図面番号	縮尺A2
A-01	改修特記仕様書(1)	N.S	S-01	構造特記仕様書	N.S	E-01	改修特記仕様書	N.S	M-01	特記仕様書	N.S
A-02	改修特記仕様書(2)	N.S	S-02	構造標準図-1	N.S	E-02	分電盤図・照明機器姿図	N.S	M-02	機器表・凡例	N.S
A-03	改修特記仕様書(3)	N.S	S-03	構造標準図-2	N.S	E-03	1階改修後弱電設備図	1/100	M-03	現状・撤去 1階平面図(暖房設備)	1/100
A-04	改修特記仕様書(4)	N.S	S-04	基礎伏図	1/100	E-04	2階改修後弱電設備図	1/100	M-04	現状・撤去 2階平面図(暖房設備)	1/100
A-05	改修特記仕様書(5)	N.S	S-05	基礎詳細図	1/30	E-05	1階改修後電灯コンセント設備図	1/100	M-05	現状・撤去 1階平面図(換気設備)	1/100
A-06	解体工事特記仕様書	N.S	S-06	2階・R階梁伏図(改修後)	1/100	E-06	改修後2階電灯コンセント設備図	1/100	M-06	現状・撤去 2階平面図(換気設備)	1/100
A-07	配置図・付近見取図・仮設計画図	1/600	S-07	Y2・Y3・Y4・Y5 通り軸組図(改修後)	1/100	E-07	1階改修後自動火災報知設備図	1/100	M-07	改修後1階平面図(換気設備)	1/100
A-08	仕上表	N.S	S-08	Z1・Z2 通り軸組図(改修後)	1/100	E-08	改修後2階自動火災報知設備図	1/100	M-08	改修後2階平面図(換気設備)	1/100
A-09	1階平面図(改修前)	1/100	S-09	X0・X3 通り軸組図(改修後)	1/100	E-09	現状・撤去1階弱電設備図	1/100	M-09	現状・撤去1階(衛生設備)	1/100
A-10	1階平面図(改修後)	1/100	S-10	Z1通り構造詳細図	1/30・1/10	E-10	現状・撤去2階弱電設備図	1/100	M-10	1階改修後(衛生設備)	1/100
A-11	2階平面図(改修前)	1/100	S-11	Y2通り構造詳細図	1/30	E-11	現状・撤去1階電灯コンセント設備図	1/100			
A-12	2階平面図(改修後)	1/100	S-12	Y5通り構造詳細図	1/30・1/10	E-12	現状・撤去2階幹線・動力・弱電設備図	1/100			
A-13	立面図(改修前)	1/100	S-13	新設水平ブレース構造詳細図	1/20・1/10	E-13	現状・撤去1階自動火災報知設備図	1/100			
A-14	立面図(改修後)	1/100				E-14	現状・撤去2階自動火災報知設備図	1/100			
A-15	矩計図(改修前)	1/40									
A-16	矩計図(改修後)	1/40・1/10									
A-17	詳細図-1	1/40									
A-18	詳細図-2	1/30									
A-19	トイレ廻り詳細図	1/40・1/30									
A-20	1階閲覧室・事務室・司書室 展開図	1/50									
A-21	1階トイレ・ホール 展開図	1/50									
A-22	2階一般閲覧室・会議室 展開図	1/50									
A-23	2階児童閲覧室・ラウンジ・書庫 展開図	1/50									
A-24	1階天井伏図(改修前・改修後)	1/100									
A-25	2階天井伏図(改修前・改修後)	1/100									
A-26	建具表	1/100									



みのわまち
箕輪町
 Mi nowa Town



創和

株式会社
 創和設計

平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事

I 工事概要

1. 工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町大字中箕輪 10295番地-1

2. 敷地面積 (㎡) 1,526 ㎡

3. 工事種目 耐震補強及び改修

建物別	種別	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)
図書館	図書館	S	2F	15.3	20.7	319.0	547.0

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事情)(平成22年版)」(以下、「改修仕様」という。)による。

また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事情標準仕様書(建築工事情)(平成22年版)」(以下、「標準仕様」という。)、及び「建築物解体工事共通仕様書・同解説(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの標準仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、改修仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の[] 内表示記号は、標準仕様の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 特記事項に記載の< > 内表示記号は、解体共仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> ○建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成22年版) ○敷地調査共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成11年版) ○建築鉄骨設計基準 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成10年版) ○工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ○長野県建築工事の引 長野県建設部施設監修 ○公共建築改修工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成22年版) ○公共建築工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成22年版) ○木造建築工事標準仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成22年版) ○建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通大臣官房官庁営繕部監修(平成24年版) ○建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事情) 建設省建設経済局建築課・住宅局建築指導課監修 ○長野県建設リサイクル推進指針
	2. 品質計画	建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による ※風速 (V0=) ※地表面粗度区分 (Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ※積雪区分 表示第1455号 別表 ()
	④ 電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)
	4. 条件明示項目	※ (1.3.5)
	⑤ 発生材の処理等	※解体解体工事仕様書による ○構外搬出適正処理 また、収集・運搬・中間処理・最終処分等の処理について予め監督職員と協議すること。 ・引渡しを要するもの ・再生資源の利用を図るもの (1.3.8)
	6. 特別な材料の工法	改修仕様及び、仕様に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
	7. 施工数量調査	調査範囲及び調査方法 ※図示 (1.5.2) 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 (1.5.3)
⑧ 技能士	※ 適用する (一般技能士を採用している現場である旨の表示をすること。) ・適用しない (1.6.2)	
	⑨ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。
	⑩ 設計図	※図示 ・設計図=現状図

① 化学物質の濃度測定

測定方法 ※パップ法(拡散法) ・フワイフ法(吸引法) [1.5.9]

検査機関 ※環境計量証明事業の知事登録がある者で、監督員が承認した者

測定物質 ※H47F7tD' ※H42' ※H41' ※H41' ※H41' ※H41'

測定箇所(室) 各居室 7室

計 3箇所

※試料採取に当たっては、監督員又は監督員が指定する者が立ち会いの下に行う。

化学物質の室内汚染濃度指標値

H47F7tD'	H42'	H41'	H41'	H41'	備考
0.08ppm	0.07ppm	0.20ppm	0.88ppm	0.04ppm	0.05ppm

※作成する (1.8.1~1.8.3)(表1.8.1)

※完成図(※設計図書で示したものを全て ・仕様表1.7.11による ・監督員の指示による)

作成方法 ※原図 用紙 (※H47F7tD'-A1)
作図方法 (※CADで作成し出力)
・マイクロフィルム(70'フチナド付)
※製本(原図の巻積き、見開きA1版(1部))
◎CADデータ(※CD-R(2部))
※保金に関する資料(2部)

② 完成図等

③ 完成写真

④ 建築材料等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び品質を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

なお、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備材料等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」に指定された材料については上記(1)~(6)に該当するものとする。

また、備考欄に商品名が記載された材料については、当該商品同等の性能を有するものとし、監督職員の承認を受けた材料とする。

⑤ 化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。

(1) 合板、木質系70'リツ、構造用合板、集材材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、2'7樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はH47F7tD'を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(2) 保温材、緩衝材、断熱材はH47F7tD'及びH41'を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(3) 接着剤は70'シロートンP'系及び70'シロートンP'系を含有しない難燃性の可燃剤を使用し、H47F7tD'、H42'、H41'、H41'を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(4) 塗料はH47F7tD'、H42'、H41'、H41'を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
(5) 上記(1)。(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、H47F7tD'を放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

なお、H47F7tD'を放散させないものとは放散量が規制対象外のものを、H47F7tD'の放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。

規制対象外

① JIS及びJASのF☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJAS規格品
a. 非H47F7tD'系接着剤不使用
b. 接着剤不使用
c. 非H47F7tD'系接着剤及びH47F7tD'を放散させない材料使用
d. H47F7tD'を放散させない塗料等使用
e. 非H47F7tD'系接着剤及びH47F7tD'を放散させない塗料使用
f. 非H47F7tD'系接着剤及びH47F7tD'を放散させない塗料等使用

第三種

① JIS及びJASのF☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
③ 旧JISのE規格品
④ 旧JISのF規格品

① 足場その他

○内側足場 種別 ◎脚立、足場板等 ・ EV-ナット付内足場 ○ 棚足場 (2.2.1)

○外側足場 種別 ※A種(手すり先行工法) ・ B種 ・ C種 ・ D種 (2.2.1)(表2.2.1)

防護シートによる養生 ※行う ・ 行わない

材料、撤去材料等の運搬 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 (2.2.1)(表2.2.1)

② 養生

既存部分の養生 ※ビニルシート等 (2.3.1)

既存家具等の養生 ※ビニルシート等 ・
固定家具等の移動 ※行わない ・ 行う (図示)

③ 仮設間仕切

種別	下地	仕上材(厚さmm)	塗装
○A種	※軽量鉄骨	・合板(※9.0)	※無し
○B種	・木下地	※せっこうボード(※9.5)	◎片面
※C種	単管下地	防火シート	
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度	※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度	・有り
充てん材	※70'系	32K(厚:50mm以上)	

4. 監督職員事務所

※ 設ける(・既存建物の一部を使用する ※構内に設置する) ・ 設けない (2.4.1)(表2.4.2)

規模 ※10㎡程度 ・20㎡程度 ・

⑤ 工事用水

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償・無償)

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)

3 防水改修工事

1. アスファルト防水 (3.3.2)(3.3.3)(表3.1.1)(表3.3.3~表3.3.10)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)
保護防水	・P1B ・P1B1・T1B1 ・P2A1 ・P2A	・B-1 ※B-2 ・B1-1 ※B1-2 ・A1-1 ※A1-2 ・A-1 ※A-2	
露出防水	・M4C ・M3D・POD	・C-1 ※C-2 ・D-1 ※D-2 ・E-1 ※E-2 (保護層は図示による)	
屋内防水	・P1E・P2E		

アスファルトの種類 ※3種 ・4種 (3.2.2)(3.3.2)

保護コンクリートのコンクリート種類 ※無筋コンクリート (3.3.2)

二重ドレン(POD工法の場合) ※設けない ・設ける (3.2.5)

断気装置(M3D、POD工法の場合) ※設けない ・設ける (3.3.3)

既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・除去する (3.2.6)

断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25 ・
ただし、ノンフロンのもの。(3.3.2)

立上り部の保護 れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販のれんが又は、市販のれんがが「コンクリート」ロウとする。(3.3.2)

乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm

2. 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)(3.4.3)(表3.1.1)(表3.4.1~表3.4.3)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	厚さ(mm)
・M4S工法		・AS-1 ・AS-2 ・AS-3	
・M3AS工法		・AS-4 ・AS-5 ・AS-6	
・POAS工法			
・M3AS1工法		・AS1-1 ・AS1-2	
・M4AS1工法			
・POAS1工法			

断気装置 ※設けない ・設ける

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2)(3.5.3)(表3.1.1)(表3.5.1)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料等	使用分種
・POS工法		・S-F1 ・S-M1	・カラー	※非歩行
・S4S工法		・S-F2 ・S-M2	・シルバー	・軽歩行
・S3S工法				
・M4S工法		・S-M1 ・S-M2		
・POS1工法		・S1-F1 ・S1-F2		
・S3S1工法		・S1-M1 ・S1-M2		
・S4S1工法		・S1-M3		
・M4S1工法				

断気装置 ・設けない ・設ける (3.5.3)

目地処理 PCコンクリートの場合 () (3.5.4)

4. 塗膜防水 (表3.1.1)(3.6.3)(表3.6.1)(表3.6.2)

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料塗り
・POX工法		※X-1	・シルバー
・L4X工法		※X-2	・カラー
・P1Y工法		※Y-1	
・P2Y工法		※Y-2	

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合) ・除去する (3.2.6)

断気装置 ※設けない ・設ける (3.6.3)

(1~4)についての保証

防水工事施工者及び請負者連名の保証書(10年)を提出すること。

5. 断気装置 (3.3.3)(3.4.3)(3.5.3)(3.6.3)

種類	材質	設置数量
・平面部断気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス ・合成ゴム	() () m当たり1箇所 ()
・立上り部断気型	・塩化ビニル樹脂 ・銅	() m当たり1箇所

6. シーリング (3.7.4~3.7.7)(表3.7.1)

シーリング改修工法の種類 (3.7.4~3.7.7)(表3.7.1)

○シーリング充てん工法 ・シーリング再充てん工法
・拡幅シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法

シーリングの種類、施工箇所 (3.7.2)(表3.7.1)

※下表以外は改修仕様表3.7.1を標準とする

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

PCB含有シーリング調査

○1次分析(PCB含有分析の要否判定)
工事に先立ち、工事現場のシーリング材を各部毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、PCB含有分析が必要な場合は協議する。
・2次分析(PCB含有分析)
PCBの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は速やかに監督職員に報告すること。

(1) 採取箇所 計 箇所
(2) 採取方法 分析機関の指定する方法により採取する。
(3) 分析方法 GC-ECD法による(JIS K0114)

シーリングにPCBが含有していた場合の措置

(1) 除去方法 改修仕様表3.7.5(a)による
(2) 設置方法 関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、PCBが含有していること等を明記の上、施設管理者へ引き渡す。

7. とい (3.8.2)(表3.8.1)

※配管用銅管 ・硬質塩化ビニル管 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管
・ステンレス鋼板 ・表面処理鋼板 ・建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管
銅管等以外の防露 ・次の箇所は行わない() (3.8.3)(表3.8.4)
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外 ・第三種
溝開口 ※有り ・無し
緩どい受け金物の取付け ※図示 ・仕様表13.5.(3).(2)による (3.8.3)

⑧ アルミニウム製支木 (3.9.2)(表3.9.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理	固定間隔	備考
・200形	1.6以上	※A-1又はB-1種	※固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当り部等は品質計画で定めた仕様による
・300形	1.8以上			
・350形	2.0以上	・B-2種		
・100形		()		

板材折曲げ形の取付工法 ・図示 (3.9.3)

工法 74'押出型材ひさし取付
既存支木等の撤去 ・行う(範囲 ※図示)
下地補修の工法 ※図示
板材折曲げ形の支木の取付方法 ※図示

9. 折板葺 (13.3.2)[13.3.3][表13.2.1]

形式	※重ね形	・はげめ形	・かみ合形
形状(mm)	山高()	山ピッチ()	板厚 ※0.6・0.8
材 料	※塗装溶融55%74'ニル樹脂合めつき銅板及び銅帯(GLCCR-20-AZ150)		
(規格等)			
軒先面戸板	※有り ・無し		
断熱材	※有り(種別:)	厚さ: (mm)	・無し
耐火性能	※30分耐火		

(9)についての保証

4-1 外壁改修工事 共通事項

1. 施工数量調査 (1.5.2)

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲

調査内容

ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。

塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新調上塗材との適合性を確認する。

調査報告書の部数 ※2部 ・

○既製調合モルタル (4.2.2)

保水率(%)	単位容積質量(Kg/l)	接着強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

・バテ状エポキシ樹脂 (4.2.2)

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0 N/mm2以上	6.0 N/mm2以上	50.0 N/mm2以上	30.0 N/mm2以上	3.0 %以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする接着体を優さす。かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後も、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

○可とう性エポキシ樹脂 (4.2.2)

性能	常温物性	低温性	加熱変化	引張接着性
引張強さ	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	1.0 N/mm2以上	最大引張応力 1.0 N/mm2
伸び	30.0 %以上	30.0 %以上	30.0 %以上	破断時の伸び 10 %以上

比重	押出し性	スランプ	加熱減量
表示値0.10	60秒以下	3mm以下	5%以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
b. 対象とする接着体を優さす。かつ、周囲を汚損しないこと。
c. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後も、上記の品質・性能の各項目に適合していること。

○タイル部分張替え用エポキシ樹脂 (4.2.2)

接着強さ	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度(N/mm2)	0.60以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上	0.40以上
凝集破壊率(%)	75以上	50以上	50以上	50以上	50以上

皮膜物性	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ(N/mm2)	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上	1.00以上
伸び(%)	30以上	30以上	30以上	20以上	20以上

耐震安定性 容積と強度に著しい差がないこと。
耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。

a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
b. タイル、石材、下地等を優すものでないこと。
c. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。
e. すれ抵抗性があること。
f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。

・エポキシ樹脂モルタル (4.2.2)

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0 N/mm2以上	20.0 N/mm2以上	10.0 N/mm2以上

a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。
b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
d. 形状に異常が無く、だれが生じないこと。
e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月間保存しても上記の品質・性能の各項目に適合していること。

平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事

図面名称 改修特記仕様書(1)

図面総枚数 63

図面番号 A-01 / 63

株式会社 創和設計

長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1229(代)

長野県上伊那郡箕輪町 500 TEL0269-52-6972(代)

一級建築士 大臣登録 第3524939号

一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号

小河 薫

7 塗装改修工事	① 材料	<p>壁の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。 ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※ 規制対象外 第三種</p> <p>[7.2.2~7][表7.2.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面 (鋼製建具)</td> <td>※ R B種 ・ R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート、A L Cパネル面</td> <td>・ R A種 ※ R B種</td> <td>(2-UE)、(2-AE)及び(2-FUE)は除く</td> </tr> </table> <p>既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※ 行わない ・ 行う (補修範囲及び補修方法は図示) [表7.2.4~6]</p>	下地面の種類	下地調整の種類	備考	木部	・ R A種 ※ R B種		鉄鋼面	・ R A種 ※ R B種		垂鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種		垂鉛めっき面 (鋼製建具)	※ R B種 ・ R C種		モルタル、プaster面	・ R A種 ※ R B種		コンクリート、A L Cパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE)、(2-AE)及び(2-FUE)は除く	9 環境配慮改修工事	1 アスベスト含有分析調査 [9.1.1]	<p>分析によるアスベスト含有建材の調査 ・ 行う (下表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 定性分析 ・ 定量分析</td> </tr> </table> <p>採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※ アスベスト 6種類 (アモサイト、クリソタイル、クロソドライト、アクチノライト、アンソフライイト、トリモライト) 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。</p>	材 料 名	調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析		※ 定性分析 ・ 定量分析	9 透水性アスファルト舗装改修工事	<p>路盤材料 [9.7.4][表9.7.5]</p> <p>※再生クラッシュラン (RC-40) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ (CS-40) ・クラッシュラン (C-40) 透水性の高いものを使用する 路盤の締め度試験 ※行わない 遮断層及び凍上抑制層の材料 [9.7.3]</p> <p>・遮断層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示</p> <p>盛り土に用いる材料 [9.7.3][表9.7.1]</p> <p>・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・建設汚泥から再生した処理土</p> <p>路床安定処理 [9.7.3][表9.7.3]</p> <p>※添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 ・生石灰 () ・消石灰 () 添加量 kg/m³(目標CBR ※5以上)</p> <p>路床土の支持力試験 ※行う (※乱した土 ・乱さない土) 路床締め度の試験 ※行う 砂の粘度試験 ※行う 透水性アスファルト混合物 [9.7.6][表9.7.7]</p> <p>車道部 ※ポリマー改質アスファルト1型 歩道部 ※ストレートアスファルト 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・ 行う [9.7.9]</p> <p>⑩ PCB含有シーリング材処分</p> <p>①第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びSPCB含有分析の要否を判定する 採取箇所数 計 2箇所 採取箇所 ※図示</p> <p>②第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う 分析箇所 計 箇所</p> <p>③除去改修工事 除去範囲 ※図示 撤去方法 ・「標準施工要領書 (日本シーリング工事業共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による</p>																																																																																																																																																																																																			
	下地面の種類	下地調整の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																				
	木部	・ R A種 ※ R B種																																																																																																																																																																																																																																					
鉄鋼面	・ R A種 ※ R B種																																																																																																																																																																																																																																						
垂鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種																																																																																																																																																																																																																																						
垂鉛めっき面 (鋼製建具)	※ R B種 ・ R C種																																																																																																																																																																																																																																						
モルタル、プaster面	・ R A種 ※ R B種																																																																																																																																																																																																																																						
コンクリート、A L Cパネル面	・ R A種 ※ R B種	(2-UE)、(2-AE)及び(2-FUE)は除く																																																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	調査方法 (1材料あたりの試料数:3サンプル)																																																																																																																																																																																																																																						
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																																																																																																																						
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																																																																																																																						
	※ 定性分析 ・ 定量分析																																																																																																																																																																																																																																						
② 下地調整	<p>[7.4.2~7.15.2][表7.4.1~7.15.1]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗 装 の 種 類</th> <th rowspan="2">塗 装 面</th> <th colspan="2">工 程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部 (外部)</td> <td>※ B種 [7.4.3]</td> <td>※ A種 [7.4.3]</td> </tr> <tr> <td>木部 (内部)</td> <td>※ B種 [7.4.3]</td> <td>※ B種 [7.4.3]</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種 [7.4.4]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.4.4]</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>※ B種 [7.4.5]</td> <td>※ B種 [7.4.5]</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※ A種 [7.4.5]</td> <td>※ B種 [7.4.5]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</td> <td>屋内木部</td> <td>[7.6.2]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>[7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>[7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>[7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">○耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.2]</td> <td>※ A種 [7.8.2]</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)</td> <td>[7.8.2]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.3]</td> <td>※ A種 [7.8.3]</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)</td> <td>[7.8.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]</td> <td>(18.7.4)</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]</td> <td>(18.7.4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">○つや有り合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内木部</td> <td>※ B種 [7.9.3]</td> <td>※ A種 [7.9.3]</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※ B種 [7.9.4]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.4]</td> </tr> <tr> <td>屋内垂鉛めっき面</td> <td>※ B種 [7.9.5]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.5]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)</td> <td>壁装面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>壁内コンクリート面</td> <td>※ A種 [7.11.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.11.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面・せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.11.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.11.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.12.2]</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.12.2]</td> </tr> <tr> <td>・クリアッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.5.2]</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.5.2]</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り (OS)</td> <td>木部</td> <td>[7.13.2]</td> <td>[7.13.2]</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.14.2]</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.14.2]</td> </tr> </table> <p>合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1種 [7.4.2]</p>	塗 装 の 種 類	塗 装 面	工 程		塗替え	新規	○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3]	※ A種 [7.4.3]	木部 (内部)	※ B種 [7.4.3]	※ B種 [7.4.3]	鉄鋼面	※ B種 [7.4.4]	・ A種 ・ B種 [7.4.4]	垂鉛めっき面	※ B種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]	鋼製建具	※ A種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]	・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[7.6.2]		鉄鋼面	[7.6.3]		・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	[7.6.3]		垂鉛めっき面	[7.6.3]		○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.2]	※ A種 [7.8.2]	上塗り			・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)	[7.8.2]		垂鉛めっき面	・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.3]	※ A種 [7.8.3]	上塗り			・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)	[7.8.3]		コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)	押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)	○つや有り合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※ B種 [7.9.3]	※ A種 [7.9.3]	屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4]	・ A種 ・ B種 [7.9.4]	屋内垂鉛めっき面	※ B種 [7.9.5]	・ A種 ・ B種 [7.9.5]	コンクリート面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	モルタル面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	プaster面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	せっこうボード面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	・合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)	壁装面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	コンクリート面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	モルタル面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	プaster面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	せっこうボード面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)	壁内コンクリート面	※ A種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]	プaster面・せっこうボード面	※ B種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]	○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・クリアッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2]	[7.13.2]	・木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	2 アスベスト粉じん濃度測定 [9.1.1]	<p>アスベスト粉じん濃度測定 ・ 行う (測定名称及び測定点は下表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>測定箇所</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点 (各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・測定3</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>出入口</td> <td>各点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>各点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定6</td> <td rowspan="2">処理作業後 (作業発生中)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定7</td> <td rowspan="2">処理作業後 (作業発生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定9</td> <td rowspan="2">処理作業後 (作業発生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定10</td> <td rowspan="2">撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>敷地境界</td> <td>計 点</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法 アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び定電圧電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>測定3</td> <td>測定1,2,4,6,7,8,9,10</td> <td>測定5</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th>計数機器</th> <th>位相差顕微鏡</th> <th></th> </tr> <tr> <td>ノズルの直径</td> <td>25 mm</td> <td>47 mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5 min</td> <td>120 min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> <td>240 min</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径 3µm±0.3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>定量限界</td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </table> <p>報告書の作成 (記録する項目) ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する。) エ、サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p>	測定箇所	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考	・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	-	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	-	・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	-	出入口	各点	空気の流れを確認	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認	・測定6	処理作業後 (作業発生中)	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	-	敷地境界	計 点	-	・測定7	処理作業後 (作業発生中)	処理作業室内	各点	-	敷地境界	計 点	-	・測定9	処理作業後 (作業発生中)	処理作業室内	各点	-	敷地境界	計 点	-	・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	-	敷地境界	計 点	-	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5	計数機器	位相差顕微鏡		ノズルの直径	25 mm	47 mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	試料の吸引時間	5 min	120 min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法	240 min	計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		計数アスベスト	直径 3µm±0.3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上		定量限界	50 f/l	0.5 f/l			0.3 f/l	3 アスベスト含有吹付け材の除去 (レベル1) [9.1.3]	<p>アスベスト含有吹付け材の除去 ・ 行う 除去方法は 9.1.3 による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※ 密封処理 (二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化</p>	4 アスベスト含有保温材の除去 (レベル2) [9.1.4]	<p>アスベスト含有保温材の除去 ・ 行う</p> <p>作業上の隔離 ・ 行う ・ 行わない</p>	5 アスベスト含有成形板の除去 (レベル3) [9.1.5]	<p>アスベスト含有成形板の除去 ・ 行う</p>	6 断熱材改修工事 [9.3.2]	<table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロロ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロロ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム (ノンフロロ) ・フェノールフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール ・グラスウール</td> <td></td> </tr> </table> <p>外装材の種類 [9.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>防火性能</td> </tr> </table> <p>既存外壁の仕上材の撤去 ・有り ・なし [9.3.3] 下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様</p> <p>通気層 ・有り (mm) ・なし [9.3.4] 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける 特記無き事項は、製造所の仕様による。</p>	材 料 名	厚さ (mm)	・ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロロ)		・押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロロ)		・硬質ウレタンフォーム (ノンフロロ) ・フェノールフォーム		・ロックウール ・グラスウール			防火性能
塗 装 の 種 類	塗 装 面			工 程																																																																																																																																																																																																																																			
		塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																				
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3]	※ A種 [7.4.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	木部 (内部)	※ B種 [7.4.3]	※ B種 [7.4.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	鉄鋼面	※ B種 [7.4.4]	・ A種 ・ B種 [7.4.4]																																																																																																																																																																																																																																				
	垂鉛めっき面	※ B種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]																																																																																																																																																																																																																																				
	鋼製建具	※ A種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]																																																																																																																																																																																																																																				
	・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[7.6.2]																																																																																																																																																																																																																																				
		鉄鋼面	[7.6.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	[7.6.3]																																																																																																																																																																																																																																				
		垂鉛めっき面	[7.6.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.2]	※ A種 [7.8.2]																																																																																																																																																																																																																																			
上塗り																																																																																																																																																																																																																																							
・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)		[7.8.2]																																																																																																																																																																																																																																					
垂鉛めっき面		・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.3]	※ A種 [7.8.3]																																																																																																																																																																																																																																				
上塗り																																																																																																																																																																																																																																							
・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)		[7.8.3]																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)																																																																																																																																																																																																																																				
押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)																																																																																																																																																																																																																																				
○つや有り合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP-G)		屋内木部	※ B種 [7.9.3]	※ A種 [7.9.3]																																																																																																																																																																																																																																			
		屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4]	・ A種 ・ B種 [7.9.4]																																																																																																																																																																																																																																			
	屋内垂鉛めっき面	※ B種 [7.9.5]	・ A種 ・ B種 [7.9.5]																																																																																																																																																																																																																																				
	コンクリート面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	モルタル面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	プaster面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	せっこうボード面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
・合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)	壁装面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	コンクリート面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	モルタル面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	プaster面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	せっこうボード面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)	壁内コンクリート面	※ A種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	プaster面・せっこうボード面	※ B種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]																																																																																																																																																																																																																																				
○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・ A種 ※ B種 [7.12.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	・クリアッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・ A種 ※ B種 [7.5.2]																																																																																																																																																																																																																																			
・オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2]	[7.13.2]																																																																																																																																																																																																																																				
・木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	・ A種 ※ B種 [7.14.2]																																																																																																																																																																																																																																				
測定箇所	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考																																																																																																																																																																																																																																			
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																			
		施工区画周辺又は敷地境界	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																			
		出入口	各点	空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																																																			
		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																																																																																			
・測定6	処理作業後 (作業発生中)	施工区画周辺又は敷地境界	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
		敷地境界	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
・測定7	処理作業後 (作業発生中)	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																			
		敷地境界	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
・測定9	処理作業後 (作業発生中)	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																			
		敷地境界	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
		敷地境界	計 点	-																																																																																																																																																																																																																																			
測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5																																																																																																																																																																																																																																					
計数機器	位相差顕微鏡																																																																																																																																																																																																																																						
ノズルの直径	25 mm	47 mm																																																																																																																																																																																																																																					
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min																																																																																																																																																																																																																																					
試料の吸引時間	5 min	120 min																																																																																																																																																																																																																																					
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法	240 min																																																																																																																																																																																																																																					
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野																																																																																																																																																																																																																																						
計数アスベスト	直径 3µm±0.3µm 未満、長さ 5µm 以上、長さ直径比 3:1 以上																																																																																																																																																																																																																																						
定量限界	50 f/l	0.5 f/l																																																																																																																																																																																																																																					
		0.3 f/l																																																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																						
・ビーズ法ポリスチレンフォーム (ノンフロロ)																																																																																																																																																																																																																																							
・押出法ポリスチレンフォームA種 (ノンフロロ)																																																																																																																																																																																																																																							
・硬質ウレタンフォーム (ノンフロロ) ・フェノールフォーム																																																																																																																																																																																																																																							
・ロックウール ・グラスウール																																																																																																																																																																																																																																							
	防火性能																																																																																																																																																																																																																																						
③ 塗装塗り	<p>[7.4.2~7.15.2][表7.4.1~7.15.1]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗 装 の 種 類</th> <th rowspan="2">塗 装 面</th> <th colspan="2">工 程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="10">○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部 (外部)</td> <td>※ B種 [7.4.3]</td> <td>※ A種 [7.4.3]</td> </tr> <tr> <td>木部 (内部)</td> <td>※ B種 [7.4.3]</td> <td>※ B種 [7.4.3]</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種 [7.4.4]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.4.4]</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>※ B種 [7.4.5]</td> <td>※ B種 [7.4.5]</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td>※ A種 [7.4.5]</td> <td>※ B種 [7.4.5]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</td> <td>屋内木部</td> <td>[7.6.2]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>[7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>[7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>[7.6.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">○耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.2]</td> <td>※ A種 [7.8.2]</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)</td> <td>[7.8.2]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.3]</td> <td>※ A種 [7.8.3]</td> </tr> <tr> <td>上塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)</td> <td>[7.8.3]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]</td> <td>(18.7.4)</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]</td> <td>(18.7.4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">○つや有り合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内木部</td> <td>※ B種 [7.9.3]</td> <td>※ A種 [7.9.3]</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※ B種 [7.9.4]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.4]</td> </tr> <tr> <td>屋内垂鉛めっき面</td> <td>※ B種 [7.9.5]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.5]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.9.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.9.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)</td> <td>壁装面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.10.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.10.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>壁内コンクリート面</td> <td>※ A種 [7.11.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.11.2]</td> </tr> <tr> <td>プaster面・せっこうボード面</td> <td>※ B種 [7.11.2]</td> <td>・ A種 ・ B種 [7.11.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.12.2]</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.12.2]</td> </tr> <tr> <td>・クリアッカー塗り (CL)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.5.2]</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.5.2]</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り (OS)</td> <td>木部</td> <td>[7.13.2]</td> <td>[7.13.2]</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>木部</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.14.2]</td> <td>・ A種 ※ B種 [7.14.2]</td> </tr> </table> <p>合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1種 [7.4.2]</p>	塗 装 の 種 類	塗 装 面	工 程		塗替え	新規	○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3]	※ A種 [7.4.3]	木部 (内部)	※ B種 [7.4.3]	※ B種 [7.4.3]	鉄鋼面	※ B種 [7.4.4]	・ A種 ・ B種 [7.4.4]	垂鉛めっき面	※ B種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]	鋼製建具	※ A種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]	・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[7.6.2]		鉄鋼面	[7.6.3]		・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	[7.6.3]		垂鉛めっき面	[7.6.3]		○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.2]	※ A種 [7.8.2]	上塗り			・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)	[7.8.2]		垂鉛めっき面	・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.3]	※ A種 [7.8.3]	上塗り			・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)	[7.8.3]		コンクリート面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)	押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)	○つや有り合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP-G)	屋内木部	※ B種 [7.9.3]	※ A種 [7.9.3]	屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4]	・ A種 ・ B種 [7.9.4]	屋内垂鉛めっき面	※ B種 [7.9.5]	・ A種 ・ B種 [7.9.5]	コンクリート面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	モルタル面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	プaster面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	せっこうボード面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]	・合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)	壁装面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	コンクリート面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	モルタル面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	プaster面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	せっこうボード面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]	・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)	壁内コンクリート面	※ A種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]	プaster面・せっこうボード面	※ B種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]	○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・クリアッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2]	[7.13.2]	・木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	7 ガラス改修工事 [9.4.2]	<p>複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ※ U3-1 ・ U3-2</p>	8 屋上緑化改修工事 [9.6.1]	<p>植栽基盤及び材料 ※屋上緑化経理システム 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示</p>																																																																																																								
塗 装 の 種 類	塗 装 面			工 程																																																																																																																																																																																																																																			
		塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																				
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部 (外部)	※ B種 [7.4.3]	※ A種 [7.4.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	木部 (内部)	※ B種 [7.4.3]	※ B種 [7.4.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	鉄鋼面	※ B種 [7.4.4]	・ A種 ・ B種 [7.4.4]																																																																																																																																																																																																																																				
	垂鉛めっき面	※ B種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]																																																																																																																																																																																																																																				
	鋼製建具	※ A種 [7.4.5]	※ B種 [7.4.5]																																																																																																																																																																																																																																				
	・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[7.6.2]																																																																																																																																																																																																																																				
		鉄鋼面	[7.6.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	・アクリル樹脂系水分散系塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	[7.6.3]																																																																																																																																																																																																																																				
		垂鉛めっき面	[7.6.3]																																																																																																																																																																																																																																				
	○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.2]	※ A種 [7.8.2]																																																																																																																																																																																																																																			
上塗り																																																																																																																																																																																																																																							
・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)		[7.8.2]																																																																																																																																																																																																																																					
垂鉛めっき面		・ A種 ・ B種 ・ C種 [7.8.3]	※ A種 [7.8.3]																																																																																																																																																																																																																																				
上塗り																																																																																																																																																																																																																																							
・ 1級 (ふっ素樹脂塗料) ・ 2級 (7リソラン樹脂塗料) ・ 3級 (リソラン樹脂塗料)		[7.8.3]																																																																																																																																																																																																																																					
コンクリート面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)																																																																																																																																																																																																																																				
押出成形セメント板面		・ A-1種 ・ A-2種 ・ A種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ B種 ・ C-1種 ・ C-2種 ・ C種 [7.8.4]	(18.7.4)																																																																																																																																																																																																																																				
○つや有り合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP-G)		屋内木部	※ B種 [7.9.3]	※ A種 [7.9.3]																																																																																																																																																																																																																																			
		屋内鉄鋼面	※ B種 [7.9.4]	・ A種 ・ B種 [7.9.4]																																																																																																																																																																																																																																			
	屋内垂鉛めっき面	※ B種 [7.9.5]	・ A種 ・ B種 [7.9.5]																																																																																																																																																																																																																																				
	コンクリート面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	モルタル面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	プaster面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	せっこうボード面	※ B種 [7.9.2]	・ A種 ・ B種 [7.9.2]																																																																																																																																																																																																																																				
・合成樹脂エマulsionペイント塗り (EP)	壁装面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	コンクリート面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	モルタル面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	プaster面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	せっこうボード面	※ B種 [7.10.2]	・ A種 ・ B種 [7.10.2]																																																																																																																																																																																																																																				
・合成樹脂エマulsion模様塗料塗り (EP-T)	壁内コンクリート面	※ A種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	プaster面・せっこうボード面	※ B種 [7.11.2]	・ A種 ・ B種 [7.11.2]																																																																																																																																																																																																																																				
○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	・ A種 ※ B種 [7.12.2]	・ A種 ※ B種 [7.12.2]																																																																																																																																																																																																																																				
	・クリアッカー塗り (CL)	木部	・ A種 ※ B種 [7.5.2]	・ A種 ※ B種 [7.5.2]																																																																																																																																																																																																																																			
・オイルステイン塗り (OS)	木部	[7.13.2]	[7.13.2]																																																																																																																																																																																																																																				
・木材保護塗料塗り (WP)	木部	・ A種 ※ B種 [7.14.2]	・ A種 ※ B種 [7.14.2]																																																																																																																																																																																																																																				

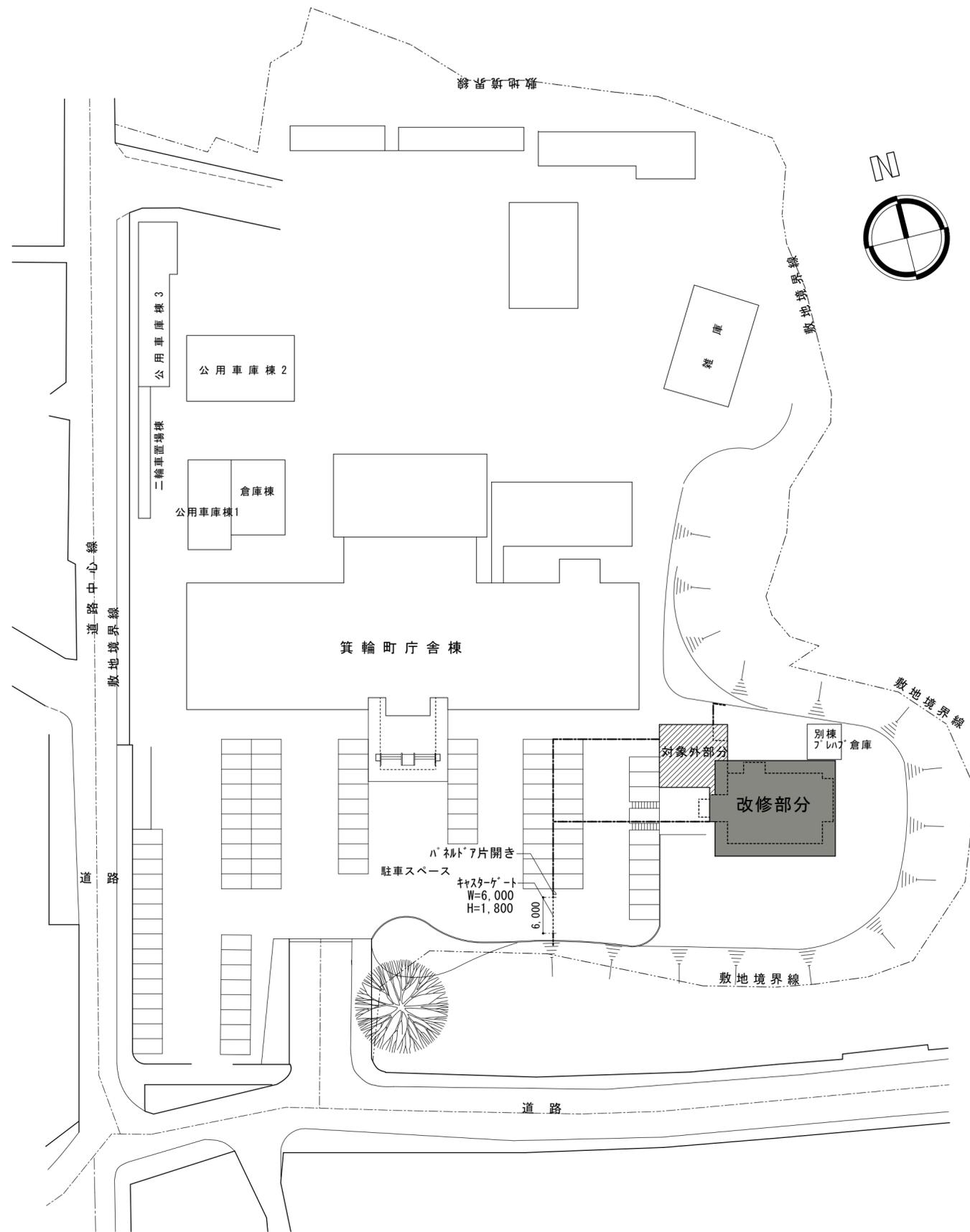
<p>平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事 解体工事特記仕様書</p>																													
<p>I 解体工事概要</p> <p>1. 工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町大字中箕輪 10295番地-1</p> <p>2. 敷地面積 (㎡) 1. 526 ㎡</p> <p>3. 除却対象物 ①建築物 ②工作物 ③建設設備 ④家具等 ⑤樹木 ⑥その他</p> <table border="1"> <tr> <th>除却対象建築物等</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>梁間(m)</th> <th>桁行(m)</th> <th>建築面積(㎡)</th> <th>延面積(㎡)</th> </tr> <tr> <td>図書館</td> <td>S</td> <td>2F</td> <td>15.3</td> <td>20.7</td> <td>319.0</td> <td>547.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)	図書館	S	2F	15.3	20.7	319.0	547.0														
除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)																							
図書館	S	2F	15.3	20.7	319.0	547.0																							
<p>II 解体工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)」(以下「標仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年度版)」(以下、「改修標仕」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ◎印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。</p>																													

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> ○工事写真の撮り方(改訂第三版) 建築編 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ○長野県建築工事の手引き 長野県建設部建設監修 ○建築物解体工事共通仕様書・同解説 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成24年版) ○公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(平成22年版) ○建設副産物適正処理推進要綱(以下「推進要綱」という。) 平成10年12月1日建設省経建発第333号 ○建設工事公衆災害防止対策要綱 建築工事編 平成5年1月12日建設省経建発第1号 ○長野県建設リサイクル推進指針
	②電気保安技術者	※適用する ・適用しない (1.3.3)
	3. 施工条件明示項目	・()による (1.3.5)
	4. 引渡しを要するもの	※引渡しを要するもの (1.3.10)
	⑤解体工事施工技士	本工事を適切に施工管理するため、解体工事施工技士の選任等に配慮すること。
2 仮設工事	①足場その他	足場を設ける場合、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」(厚生労働省平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さし及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。 なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
	2 騒音・粉塵等の対策	騒音・粉塵等の対策 ※防音パネル ・防音シート (2.2.1) 設置範囲及び高さ ※(図示 / 図による)
	③ 監督員事務所	・既存建物内の一部を使用する ・構内に設置する ○設けない (2.3.1) 規模及び仕上げの程度は現場説明書による
	④ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償 ・無償)
	⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ◎利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)
3 解体施工	1 杭の解体	・行う ・行わない (3.8.2) 杭の解体工法 ・引抜き工法 ・破砕による解体
	2 樹木等	樹木の伐採根及び移植 ・行う (/ 図による) (3.9.1)
	3 地下埋設物・埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 ・行う (/ 図による) (3.10.1)
	④ 設備機器等	解体事前処理(油類タンク) ・解体に先立ち、燃料配管、燃料槽、燃料小出槽等に残油がないことを確認する。必要に応じて残油を抜き取り、燃料を土壌に流失させないように注意する。 ・燃料槽、燃料小出槽は、洗浄のうえ中和処理を行う。 解体事前処理(冷媒) ・冷媒を屋外機にポンプダウンした後撤去を行う機器は下記による。 図面番号 記号

5 屋外設備等	<ul style="list-style-type: none"> ・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。 <table border="1"> <tr> <th>図面番号</th> <th>記号</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	図面番号	記号																		
	図面番号	記号																			
6 解体後の整地	電柱の撤去 ・行う (/ 図による) ・行わない 外灯の撤去 ・行う (/ 図による) ・行わない 解体後の埋戻し及び盛土 (3.11.1) ・行う 整地高さ ・現状G.L. ・行う (/ 図による) 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類 ・他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締り固めること。 ・行わない																				
① 一般事項	本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとする。																				
② 再資源化等	建設廃棄物の種類 備考 (4.4.1) ○コンクリート ○コンクリート及び鉄からなる建設 資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品) ○木材 ○木材(縮減) ・リサイクルコンクリート ○金属類 ・小形二次電池 ・蛍光灯ランプ、HIDランプ ・硬質塩化ビニル管、継手 ※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による																				
3 現場利用する再資源化された建設廃棄物	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称	仕様	数量	備考																
名称	仕様	数量	備考																		
4 産業廃棄物広域認定制度の活用	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	備考																		
種類	備考																				
5 最終処分する建設廃棄物	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	名称	仕様	数量	備考																
名称	仕様	数量	備考																		
6 処理に注意を要する建設廃棄物	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による	名称	仕様	数量	備考																
名称	仕様	数量	備考																		
① 施工調査	<table border="1"> <tr> <th>分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類</th> <th>採取する部位又は箇所等</th> <th>採取する数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示 ・箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考		・図示 ・箇所														
分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考																		
	・図示 ・箇所																				
	・図示 ・箇所																				
	・図示 ・箇所																				
	・図示 ・箇所																				
5 特別管理産業廃棄物等の処理等	PCB含有シーリング分析調査 (5.4.4) ○第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 ・絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検分方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定(電気技術規定JEA1201-1991)」により行う。 ・焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。																				

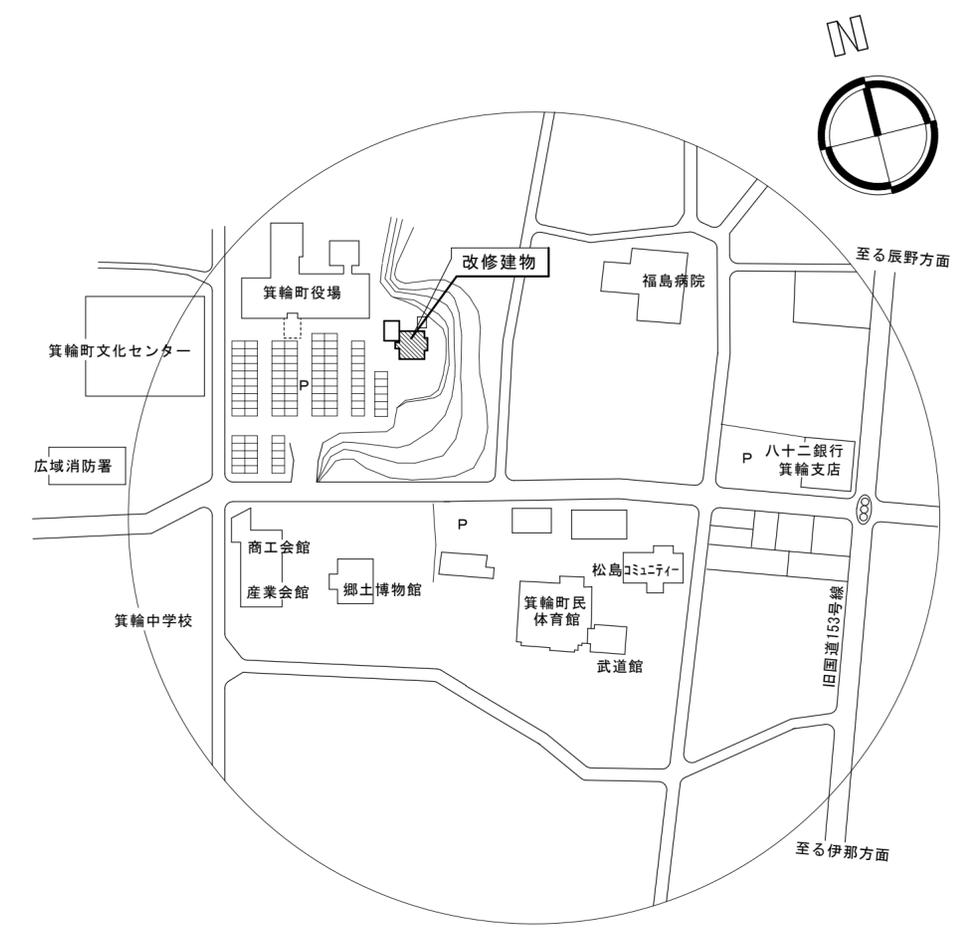
2 特別管理産業廃棄物の処理	(4.4.1) <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※処理施設の名称、所在地は現場説明書による	特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考																																													
特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考																																															
3 PCBを含む機器類	引渡しを要する機器類 (5.4.3) ・																																																	
④ PCB含有シーリング材	撤去方法 ○「標準施工要領書(日本シーリング工業会協同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。 ・ 撤去範囲 ※(図示 / 図による)																																																	
5 特殊な建設副産物の改修及び処分	(5.5.1) <table border="1"> <tr> <th>回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※回収業者又は処分場の名称、保管場所・処分場の名称は現場説明書による	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備考																																														
回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備考																																																
6 アスベスト含有建材の除去等	1 アスベスト含有分析調査 (6.1.3) ・行う(下表による) <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> </table> 採取箇所 ※図示 分析対象 ※アスベスト6種類(アモサイト、クリノタイト、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト) 分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。	材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)		※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析																																									
	材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)																																																
	※定性分析 ・定量分析																																																	
	※定性分析 ・定量分析																																																	
	※定性分析 ・定量分析																																																	
2 7x6x6 粉じん濃度測定 (6.1.4) アスベスト粉じん濃度測定 ・行う(測定名称及び測定点は下表による) アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第一部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 測定箇所 ※図示 <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td rowspan="2">処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td rowspan="3">処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>仕舞いゲージ入口</td> <td>各点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>各点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td rowspan="2">処理作業後</td> <td rowspan="2">施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>(シート養生中)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定9</td> <td rowspan="2">処理作業後シート撤去後1週間以降</td> <td rowspan="2">処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定10</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> </table>	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	—	・測定2	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—	・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	—	・測定4	仕舞いゲージ入口	各点	空気の流れを確認	・測定5	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認	・測定6	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—	・測定7	処理作業室内	各点	—	・測定8	(シート養生中)	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—	・測定9	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	各点	—	・測定10	調査対象室外部の付近	計点	—
測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																														
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	—																																														
・測定2			施工区画周辺又は敷地境界	計点	—																																													
・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	—																																														
・測定4			仕舞いゲージ入口	各点	空気の流れを確認																																													
・測定5			負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認																																													
・測定6	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—																																														
・測定7			処理作業室内	各点	—																																													
・測定8	(シート養生中)	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—																																														
・測定9	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	各点	—																																														
・測定10			調査対象室外部の付近	計点	—																																													
アスベスト粉じん濃度測定方法	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定5</th> </tr> <tr> <td>計数機器</td> <td colspan="3">位相差顕微鏡</td> </tr> <tr> <td>ノズル径</td> <td>25mm</td> <td colspan="2">47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5min</td> <td>120min</td> <td>240min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td colspan="3">アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法</td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td colspan="3">総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野</td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td colspan="3">直径3µm未満、長さ5µm以上、長さ直径比3:1以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </table>		測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5	計数機器	位相差顕微鏡			ノズル径	25mm	47mm		試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法			計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野			計数アスベスト	直径3µm未満、長さ5µm以上、長さ直径比3:1以上				50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l													
	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5																																															
計数機器	位相差顕微鏡																																																	
ノズル径	25mm	47mm																																																
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																															
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																															
試料の透明化	アセトントリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法																																																	
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野																																																	
計数アスベスト	直径3µm未満、長さ5µm以上、長さ直径比3:1以上																																																	
	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																															

7 その他	① 工事現場の環境改善について	工事現場のイメージアップ ・仮囲い周辺の美化 ・地域住民への情報提供 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成 住民に対する災害防止関係 ○現場出入口周辺への誘導員の配備
	② 産業廃棄物の取扱いについて	産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。 (i) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録 ① 処理の全部又は一部を委託した場合 ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)A票、B2票、D票及びE票(種Ⅱの場合はB4票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真) ② 請負者が自ら処理した場合 ア マニフェストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真) ③ 特別管理産業廃棄物の場合 ①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。 (ii) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録 再生資源利用促進実施票に記載する事項 発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等 (iii) 写真 ① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真 ② 仮設物、安全措置状況及び工程写真(除却作業状況、埋設配管等及び基礎掘削等に急に入影すること。) ③ 使用機械類 ④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真 ⑤ しゅん工時の全景写真(着手時と同一アングルとする。) ⑥ その他監督職員の指示による
	3. 騒音、振動調査	調査の有無 ※無 ・有 調査方法については設計図書による。
	4. 土壌調査	調査項目 ・土壌調査 ・土壌調査(含有量試験) ・7x6x6抽出調査 ・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。
	⑤ 官公庁その他への届出手続等	(1) 工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。 (2) 前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。
⑥ 仮設に関する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の滞り又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。	
7. 文化財その他の埋蔵物	工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発見者が保有する。	
8. 埋蔵文化財調査	「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当 掘削作業時の教育委員会等の立会い 埋蔵文化財調査の時期 ・該当する ・有 ・無 ・解体工事終了後 ・解体工事中	
<div style="text-align: right;">  <p>株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2074-1 TEL0265-70-1222(代) 長野県塩尻市大内原町 509 TEL0263-52-8972(代) 一級建築士 大庭謙 資552439号 一級建築士事務所所長 鎌田(上伊) F-87121 号 小河 薫</p> </div>		
図面名称	解体工事特記仕様書	年月日 28・07・
工事名	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	図面番号 A-06 / 39



配置図 1/600

..... 仮囲い: ガードフェン H=1,800



付近見取図

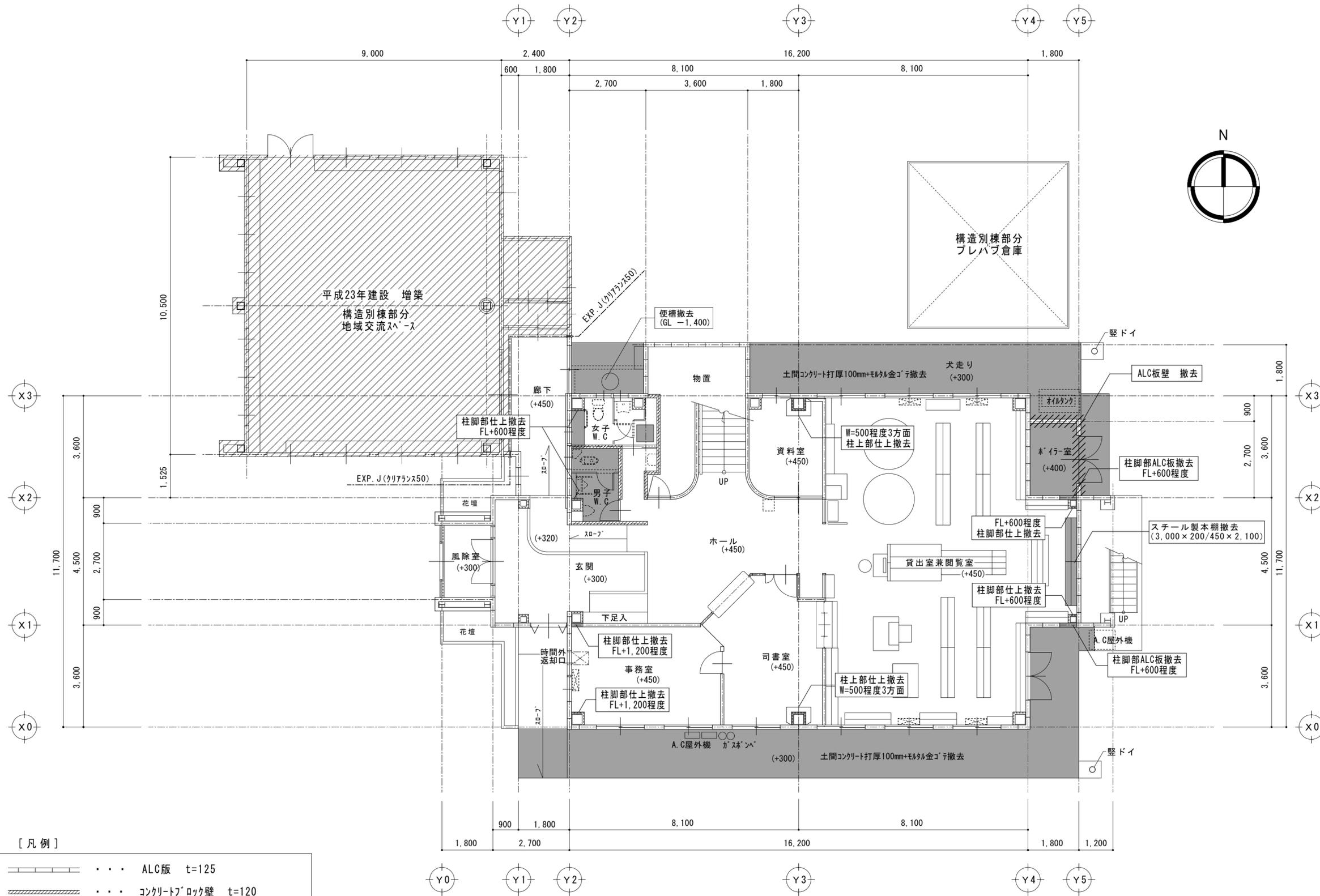
【耐震補強概要】

1. 鉄骨ブレース補強	X方向	1階・・・外付壁面ブレースフレーム設置 4構面 2階・・・外付壁面ブレースフレーム設置 4構面
	Y方向	1階・・・壁面ブレース設置 5構面 2階・・・壁面ブレース設置 2構面
2. 鉄骨方杖補強	Y方向	1階・・・方杖設置 2ヶ所 2階・・・方杖設置 4ヶ所
3. 鉄骨水平ブレース補強		1階・・・水平ブレース増設 20構面 2階・・・水平ブレース増設 19構面
4. 外壁タイル貼り改修		外壁タイル貼り部分全面打音調査の上、浮き、剥がれ、クラック等のヶ所の改修

外部仕上表				【記号・名称】		
基礎	現状	珪藻土毛引き	補強ブレース	鉄骨部 : DP塗装(3級) 仕様は、共仕 18.7.1による。		
	改修後	珪藻土毛引き及びコンクリート打放し補修		上部アルミL型材笠木(W=350) 取付		
外壁	現状	ALC厚t=125 吹付タイル及び小口タイル貼り	屋根	現状	ALC厚100mm 長尺カラー鋼板 瓦葺葺	
	改修後	一部既存ALC撤去 ALC板復旧の上 水洗い工法、下地調整(RB種) 可とう形改修用複層塗材RE 吹付		改修後	現状のまま	
		既存ALC吹付タイル部分 水洗い工法、下地調整(RB種)可とう形改修用複層塗材RE 吹付 既存小口タイル貼り部 打音検査を行い、不具合なヶ所除去 下地補修の上 小口タイル接着工法貼り				
軒天	現状	LGS下地 FK厚5mm 目スカ張り アクリルリシン吹付	犬走り	現状	土間コンクリート打 厚100mm 珪藻土金ゴテ押え	
	改修後	既存撤去(下地共) LGS下地(25形)@303 FK 6mm (一部有孔) 面取り突付張り EP-G		改修後	既存撤去後 土間コンクリート打 厚120mm 金ゴテ押え	

【塗料】
 SOP : 合成樹脂調合ペイント塗り
 DP : 耐候性塗料塗り
 EP-G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
 UC : ウレタン樹脂ワニス塗り
 CL : クリヤラッカー塗り

内部仕上表									
階	室名	床仕上		巾木仕上	壁仕上	天井仕上	天井高	備考	室名
1	玄関	現状	珪藻土塗り120角タイル(ニューエス同等品)	ミカゲ石(黒)H=150	珪藻土塗り 吹付タイル(ウレタン系)	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付 アクリル製 ルーバ-天井	6,650		玄関
		改修後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	現状のまま	6,650		
	ホール	現状	珪藻土金ゴテ コートカーペット(モネット同等品)	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 吹付タイル(ウレタン系)	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付 一部吹抜	3,000		ホール
		改修後	現状のまま	現状のまま	吹抜上部 LGS下地GB-R厚12.5mm ビニルクロス貼り	既存撤去の上 LGS下地GB-R厚9.5mm ビニルクロス貼り 吹抜部 LGS下地GB-R厚9.5mm ビニルクロス貼り	3,000		
	司書室	現状	珪藻土金ゴテ下地 タイルカーペット貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ビニルクロス貼り	3,000		司書室
		改修後	現状のまま	現状のまま	一部撤去 マルラス下地珪藻土金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-D(T)厚9.5mm張り	3,000	耐震方杖補強設置	
	事務室	現状	珪藻土金ゴテ KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付	3,000	時間外返却投入口	事務室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-D(T)厚9.5mm張り	3,000	時間外返却投入口 ・ 横型ブラインド 耐震補強ブレース設置	
	貸出室兼 閲覧室	現状	珪藻土金ゴテ KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		貸出室兼 閲覧室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-R厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	3,000	造付本棚 耐震補強ブレース設置	
	資料室	現状	珪藻土金ゴテ KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		資料室
		改修後	現状のまま	現状のまま	一部撤去 マルラス下地珪藻土金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-D(T)厚9.5mm張り	3,000	耐震方杖補強設置	
	(男)W.C (女)W.C	現状	珪藻土塗り モザイクタイル貼り		珪藻土塗り 100角タイル貼り	LGS下地 GB-R厚9mm下張り GB-D厚9mm張り	2,500		(男)W.C (女)W.C
		改修後	男W.C:床撤去の上 珪藻土金ゴテFT厚2.0mm貼り 女W.C:現状のまま 一部撤去		撤去部分復旧 LGS下地 耐水合板(1類)厚12mm 100角タイル接着貼り	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-D(T)厚9.5mm張り	2,500	耐震補強ブレース設置 床点検口	
	ボイラー室 物置スペース	現状	珪藻土金ゴテ押え	珪藻土金ゴテ押え	珪藻土金ゴテ押え	LGS下地 FK厚5mm 目スカ張り	3,400		ボイラー室 物置スペース
		改修後	既存床撤去の上 コンクリート打金ゴテ押え		一部既存壁撤去 既存珪藻土面下地調整の上及び 新設ALC面 可とう形改修用複層塗材吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 FK厚6mm 面取突付張り EP-G	3,400		
	階段室	現状	珪藻土金ゴテ カーペット敷き	テラゾ-ブロック	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付			階段室
		改修後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	LGS下地 GB-R厚9.5mm 下張り DR厚9mm及び12mm張り			
2	ホール ラウンジ	現状	珪藻土金ゴテ カーペット敷き	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付	2,700		ホール ラウンジ
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	一部LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm ビニルクロス貼り	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-R厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	2,700	横型ブラインド 本棚新設	
	一般閲覧室 学習室	現状	珪藻土塗り KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		一般閲覧室 学習室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	一部撤去 マルラス下地珪藻土金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-R厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	2,800	横型ブラインド 耐震補強ブレース、方杖補強設置	
	児童閲覧室	現状	珪藻土塗り KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm張り ヒル石吹付	3,000		児童閲覧室
		改修後	現状のまま	現状のまま	現状のまま	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-R厚9.5mm 下張り DR厚9mm張り	2,800	横型ブラインド	
	会議室	現状	珪藻土金ゴテ カーペット敷き	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm下張り GB-D厚9mm張り	3,000		会議室
		改修後	現状のまま	ビニル巾木 H=100	一部撤去 マルラス下地珪藻土金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-D(T)厚9mm張り	2,800	横型ブラインド 耐震補強ブレース、方杖補強設置	
	書庫	現状	珪藻土塗り KT厚3mm 貼り	ビニル巾木 H=100	珪藻土塗り 内部用塗材 吹付	LGS下地 GB-R厚9mm下張り GB-D厚9mm張り	3,000		書庫
		改修後	現状のまま	現状のまま	一部撤去 マルラス下地珪藻土金ゴテ 内部用塗材 吹付 方杖補強部 LGS下地GB-R厚12.5+9.5mm 内部用塗材 吹付	既存撤去(下地共) LGS下地 GB-D(T)厚9mm張り	2,800	耐震方杖補強設置	



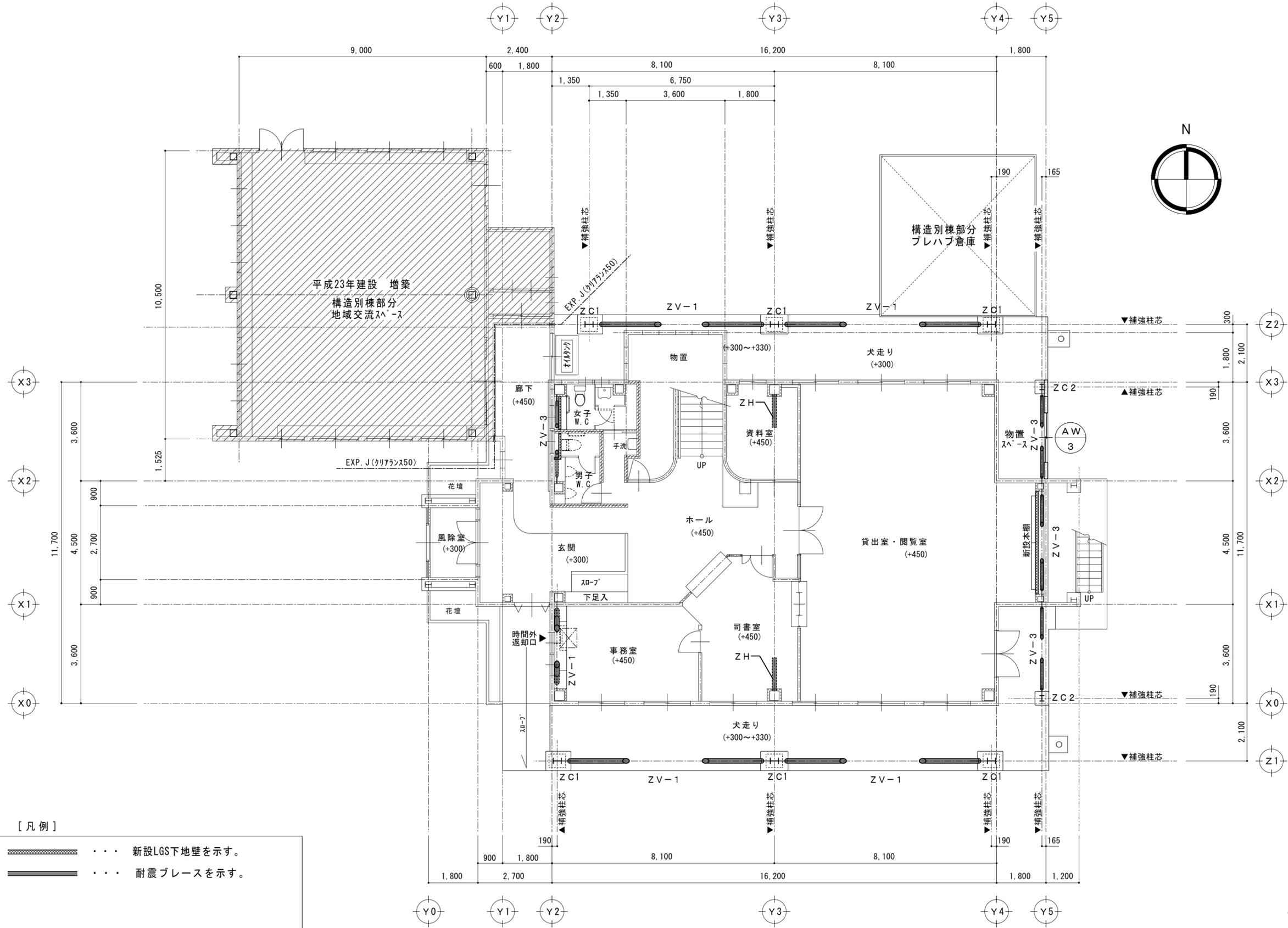
[凡例]

	・・・ ALC版 t=125
	・・・ コンクリートブロック壁 t=120
	・・・ 木造軸組壁
	・・・ 既存撤去部分及び箇所を示す。

()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去 1階平面図 1/100

MEMORANDUM	TITLE 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	ITEM 現状・撤去 1階平面図	SCALE A2:1/100	DATE H28.7	CHECK-DRAWING 設計士 一級建築士 第13507号 一級建築士 第33507号 一級建築士 第33507号 一級建築士 第33507号 一級建築士 第33507号 一級建築士 第33507号	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町大内原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大塚登輝 第352433号 一級建築士 事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 薫	SHEET NO. A-09 / 63
------------	------------------------------	---------------------	-------------------	---------------	---	--	------------------------



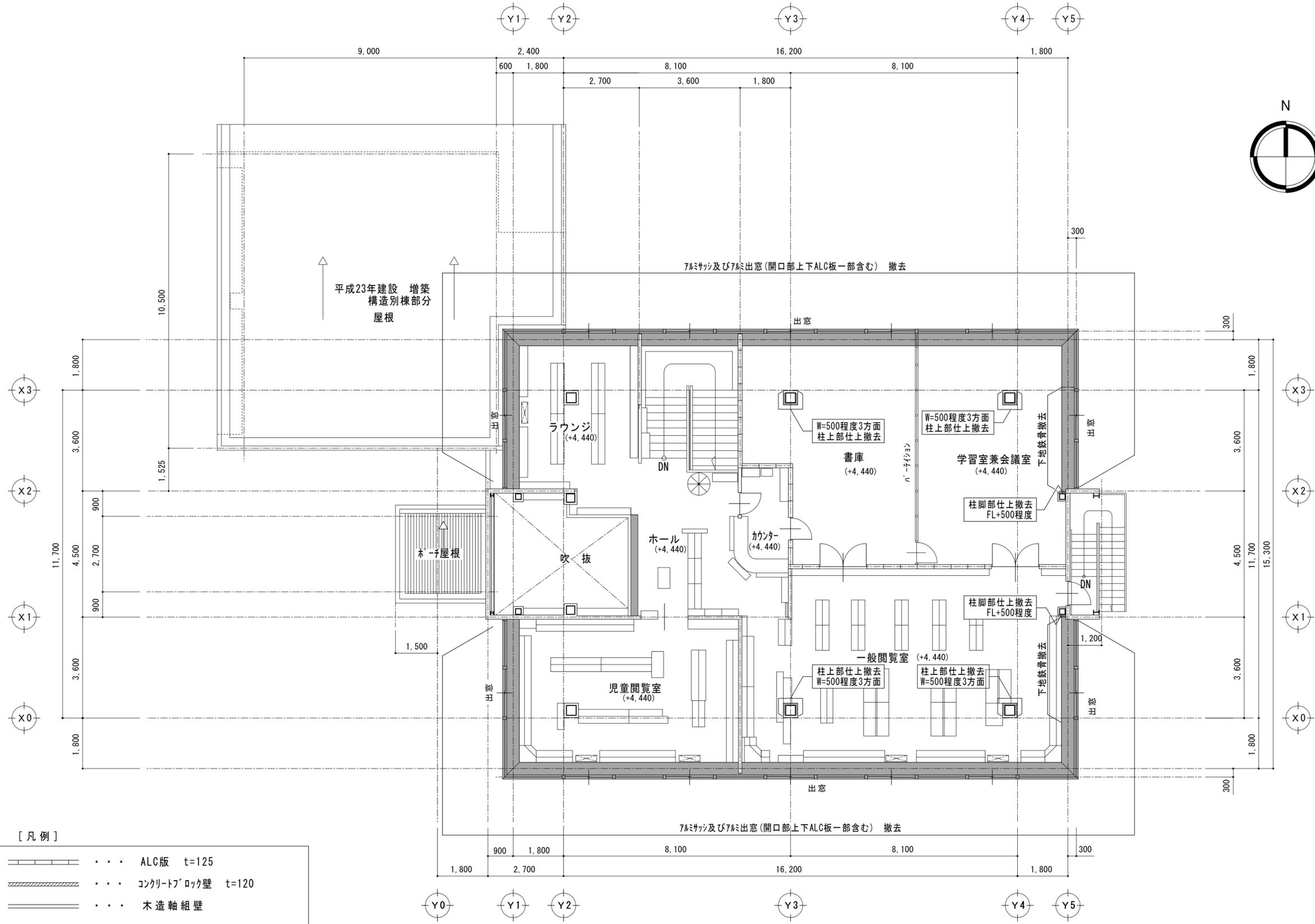
[凡例]

- ・・・ 新設LGS下地壁を示す。
- ・・・ 耐震ブレースを示す。

()内は、GLからの床レベルを示す。

1階 改修後 平面図 1/100

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大田 登輝 第352433号 一般建築士 事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 薫	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	1階 改修後 平面図	A2: 1/100	H28. 7	設計 第135007号 一般建築士 第135007号 小河 薫 一般建築士 第35432号 伊東 紀典 一般建築士 第23929号		A-10 / 63



[凡例]

- ALC版 t=125
- コンクリートブロック壁 t=120
- 木造軸組壁
- 既存撤去部分及び箇所を示す。

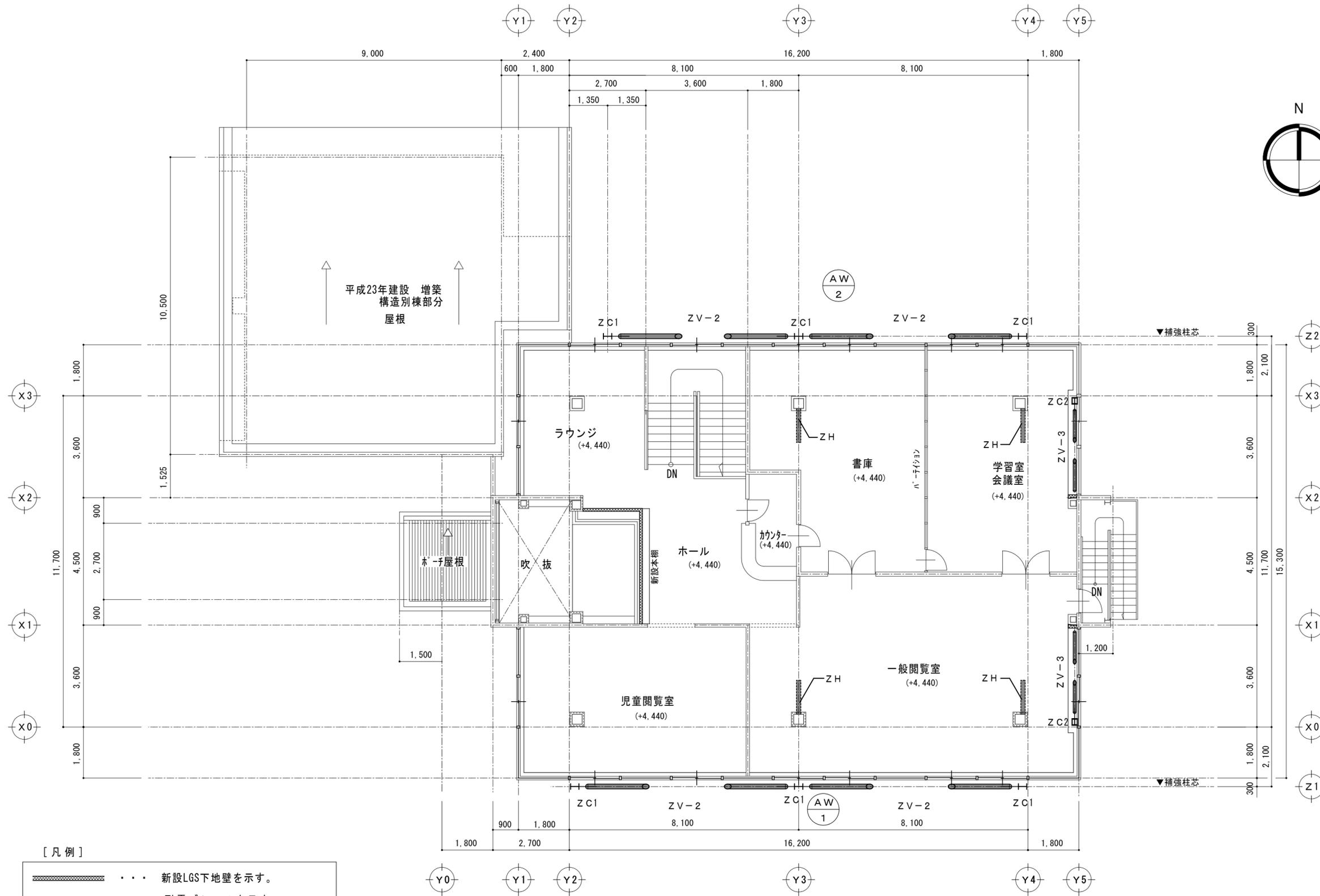
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去 2階平面図 1/100

[既存仕上仕様]

床: U型デッキプレート厚1.6mm+コンクリート打厚100mm+モルタル金ゴテ厚40 カベ'ト敷き
 壁: マルラス下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	ITEM 現状・撤去 2階平面図	SCALE A2:1/100	DATE H28.7	CHECK-DRAWING 設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第33433号 小河 節郎 一級建築士 第22923号 伊東 紀典 一級建築士 第352433号 伊東 紀典 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町大内原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大塚登輝 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	SHEET NO. A-11 / 63
------------	------------------------------	---------------------	-------------------	---------------	--	---	------------------------



平成23年建設 増築
構造別棟部分
屋根

木子屋根

吹抜

ホール (+4,440)

カウンター (+4,440)

書庫 (+4,440)

学習室
会議室 (+4,440)

児童閲覧室 (+4,440)

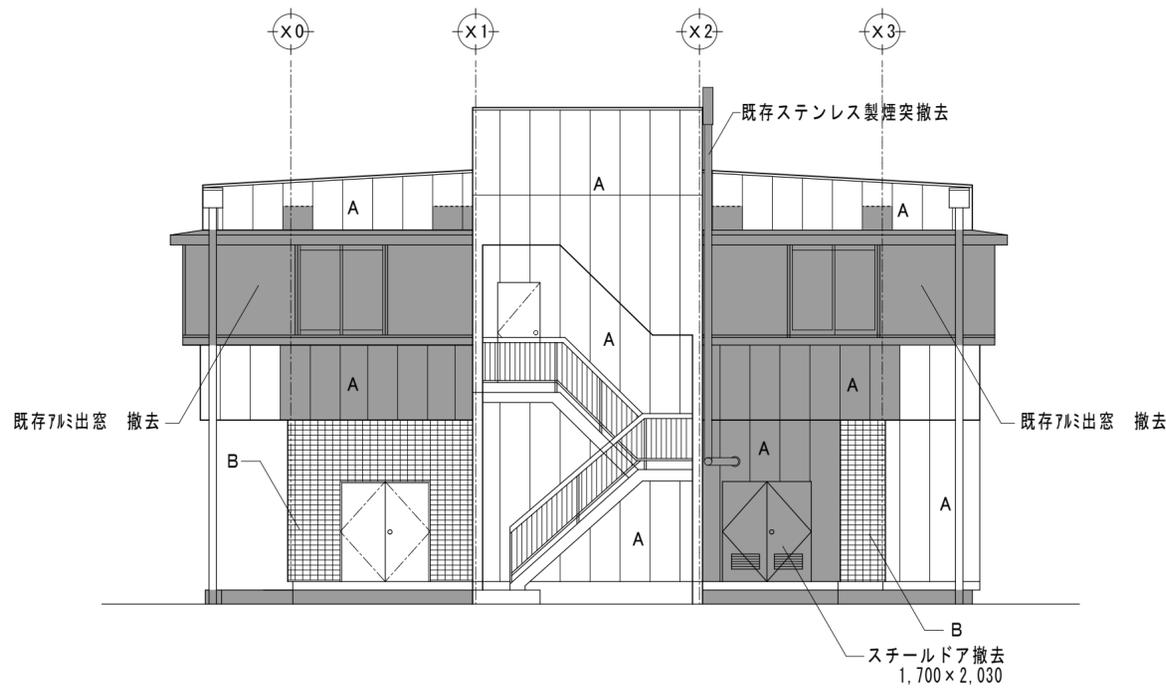
一般閲覧室 (+4,440)

- [凡例]
- 新設LGS下地壁を示す。
 - 耐震ブレースを示す。

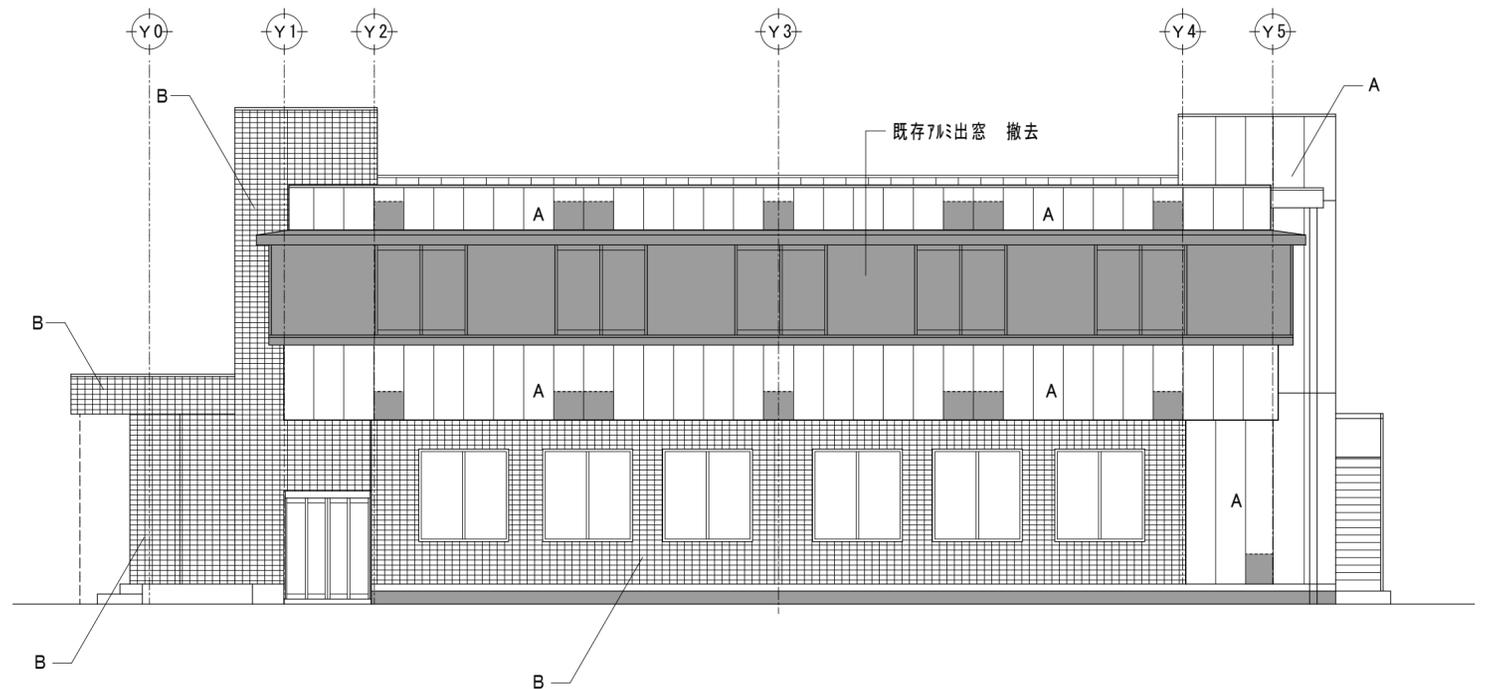
()内は、GLからの床レベルを示す。

改修後 2階平面図 1/100

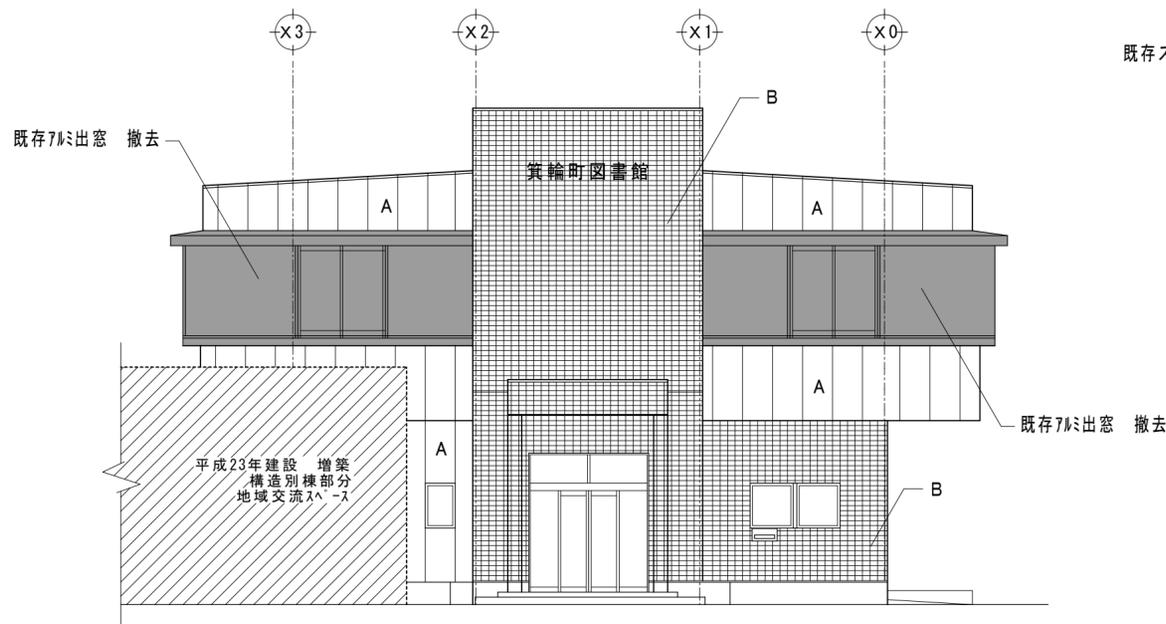
MEMORANDUM	TITLE 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	ITEM 改修後 2階平面図	SCALE A2:1/100	DATE H28.7	CHECK-DRAWING 設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第33423号 小川 龍也 一級建築士 第23929号 伊東 紀典	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小川 龍也	SHEET NO. A-12 / 63
------------	------------------------------	-------------------	-------------------	---------------	--	--	------------------------



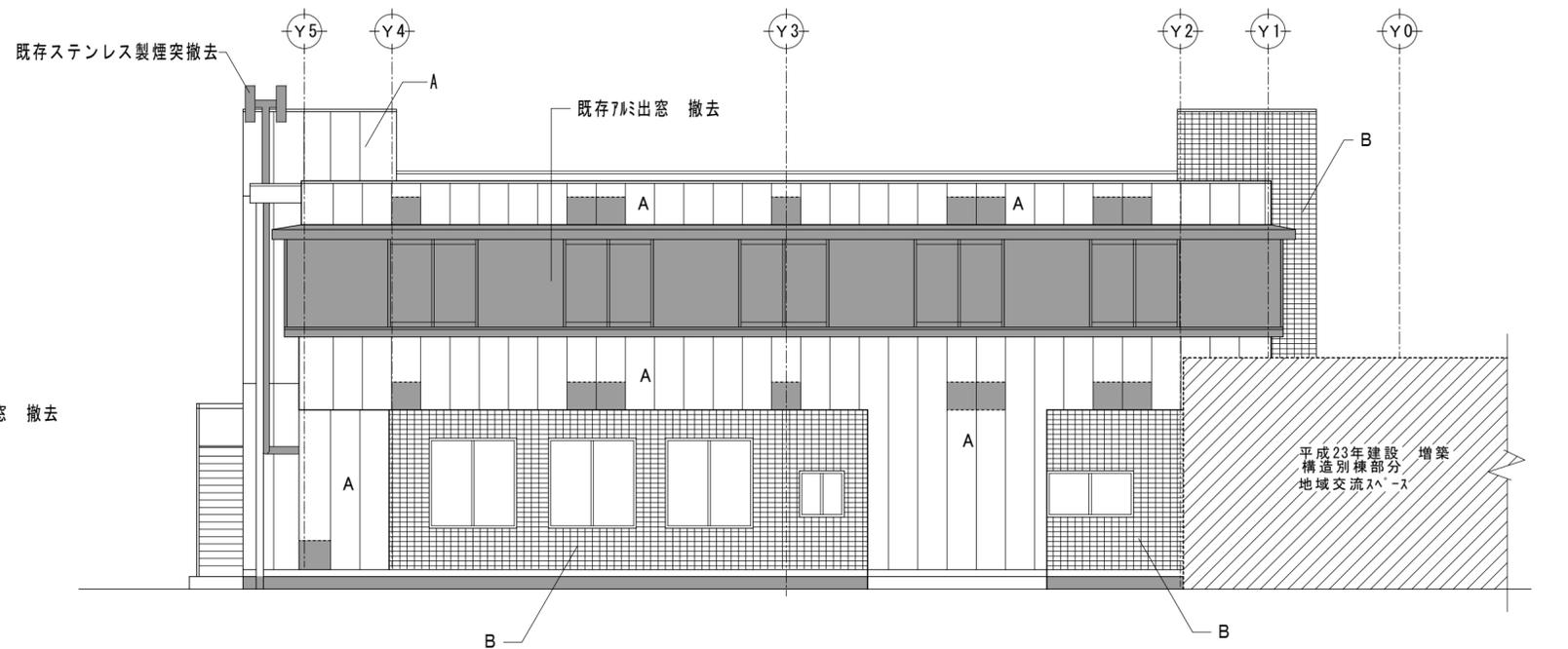
東面 立面図 1/100



南面 立面図 1/100



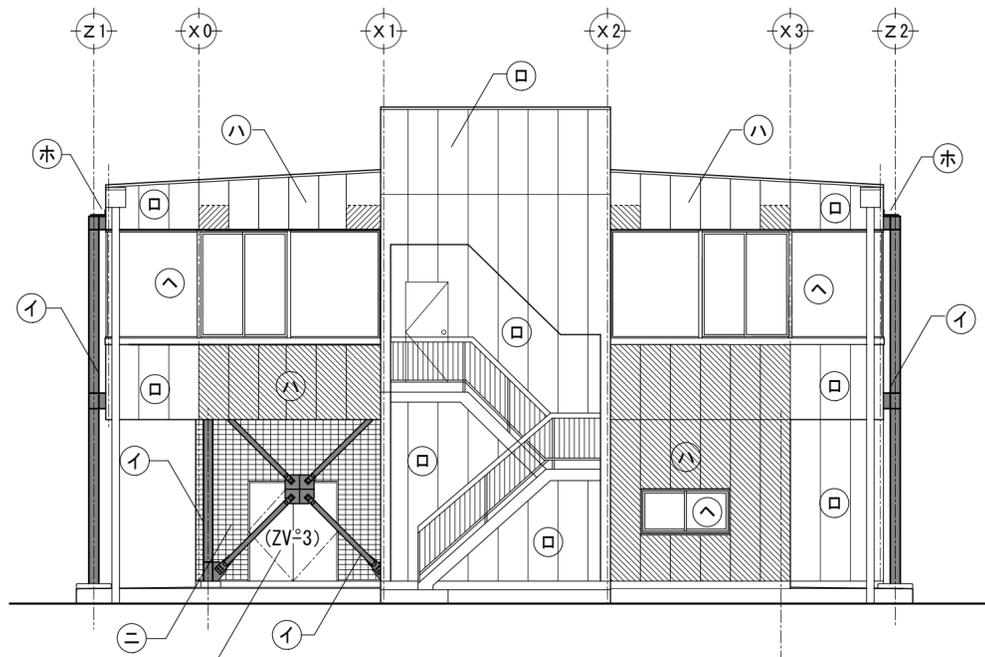
西面 立面図 1/100



北面 立面図 1/100

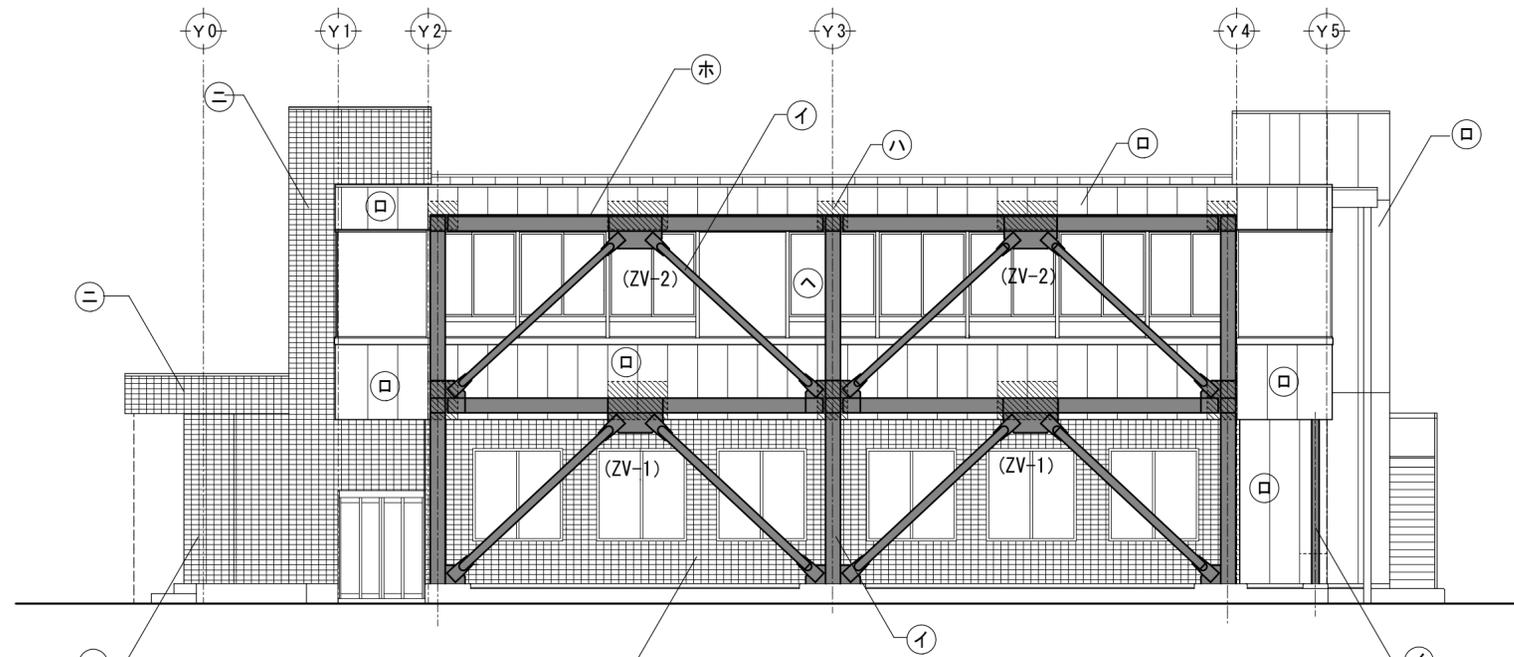
■ . . . 撤去部分を示す。
 ※ B タイル貼り部分全面 打音検査を行う

A . . . ALC厚t=125下地 吹付タイル
 B . . . ALC厚t=125下地 小口タイル貼



既存スチールドア
下地調整の上 SOP塗装

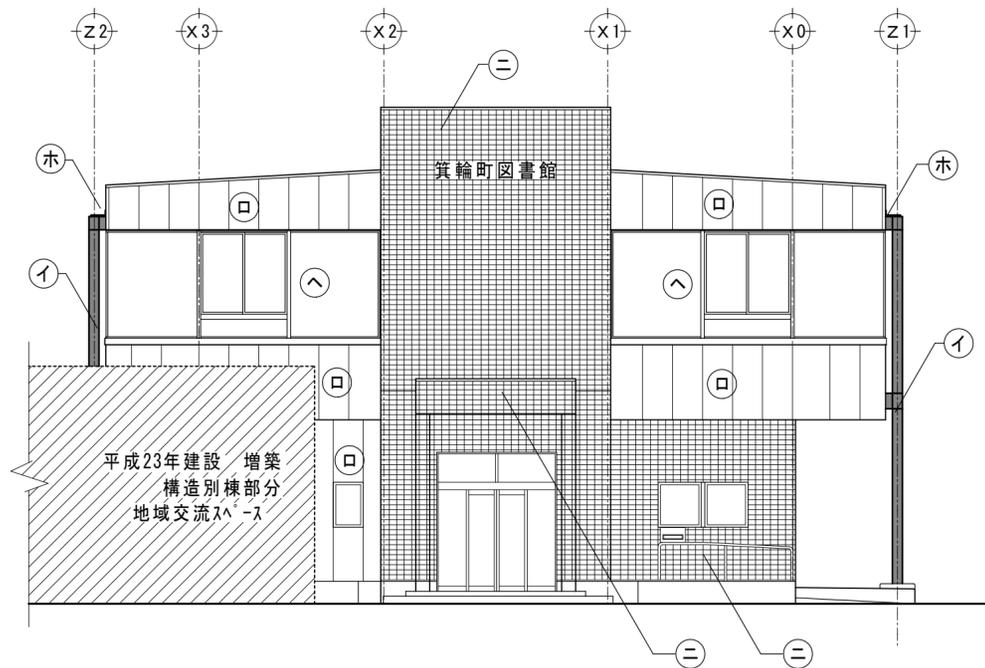
東面 立面図 1/100



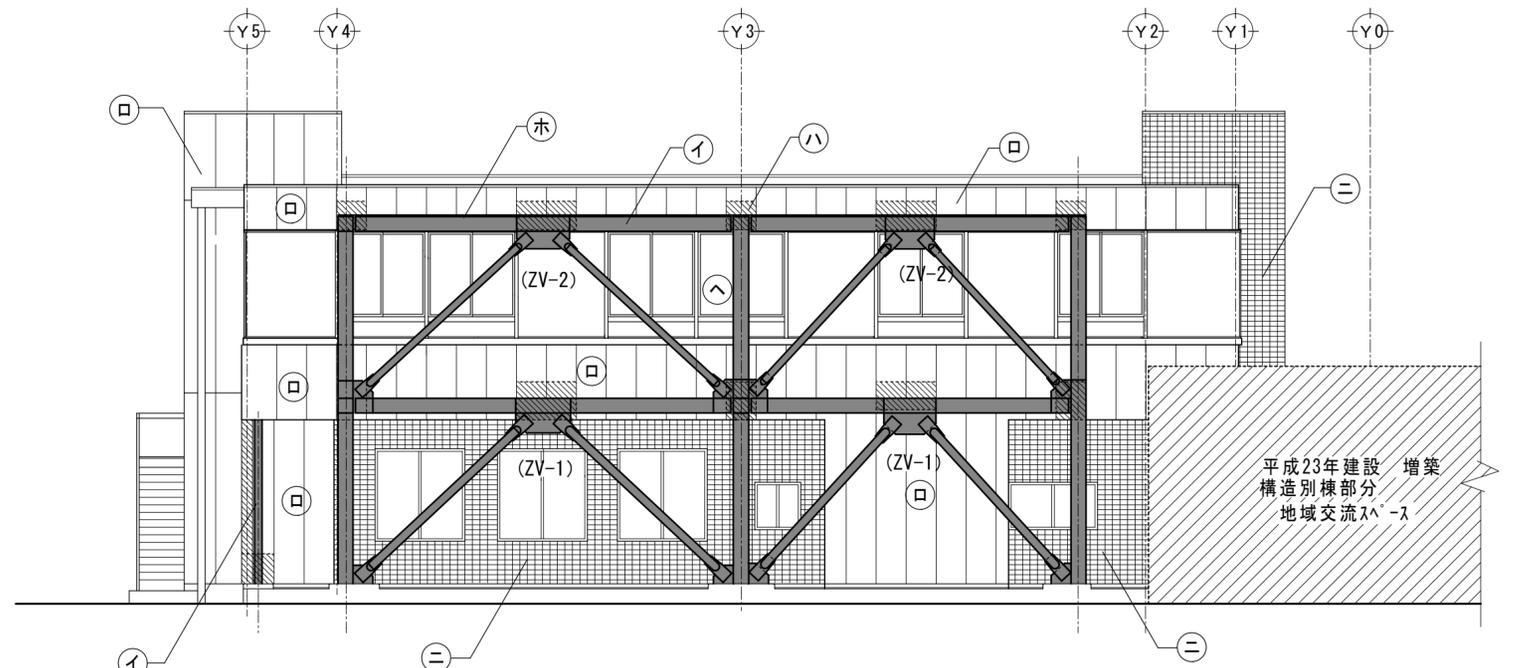
南面 立面図 1/100

【凡例】

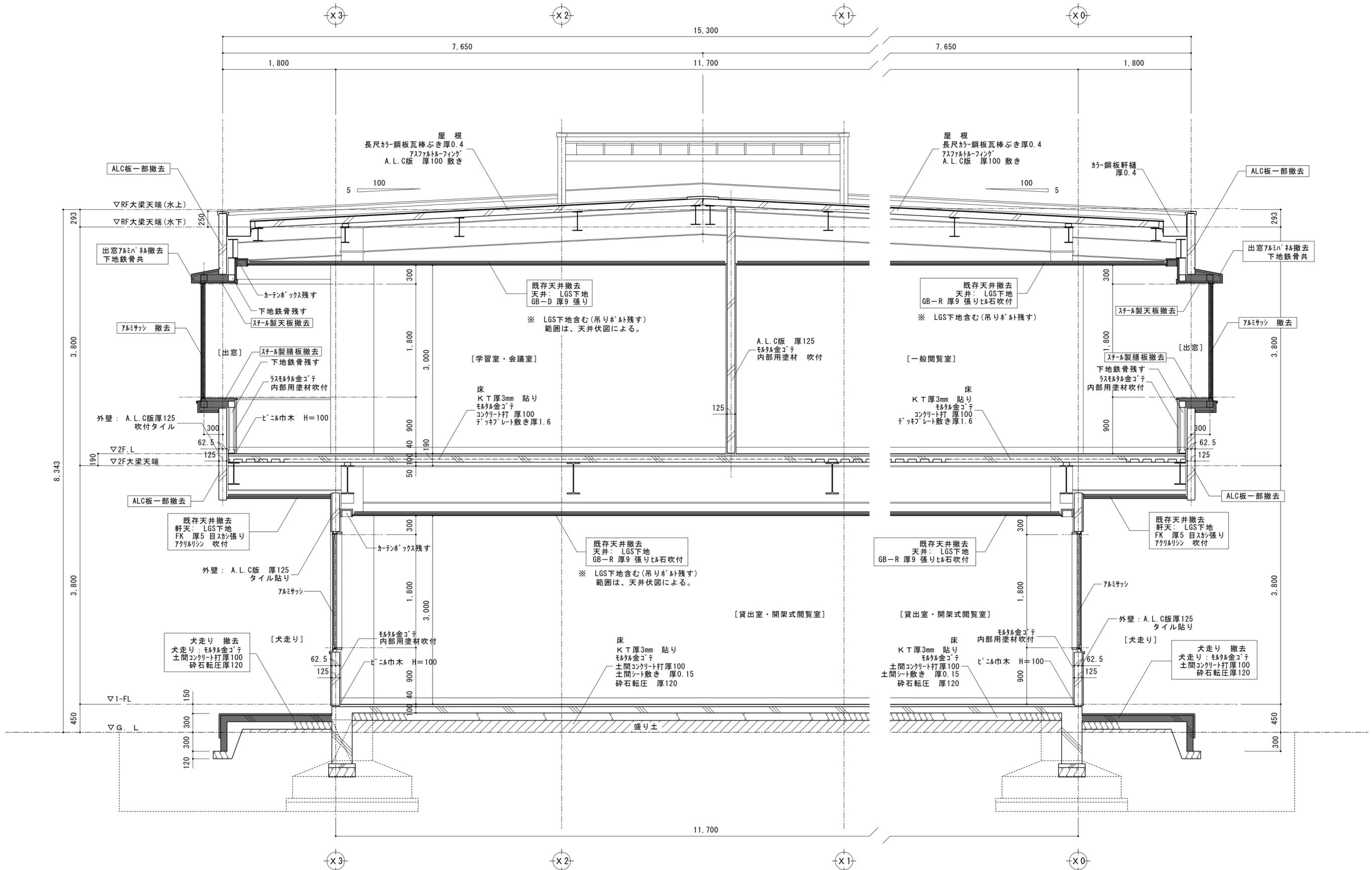
- イ …… 鉄骨耐震ブレース DP塗装 (仕様は、共仕18.7.2による)
- ロ …… 既存ALC板 水洗い工法、下地調整 (RB種)の上 可とう形改修複層塗材RE吹付
- ハ …… 新設ALC板厚125復旧の上 可とう形改修複層塗材RE 吹付
 ■■■■■ …… ALC板復旧部分を示す。
- ニ …… 既存ALC下地小口タイル貼り部分は、全範囲打音調査を行い、マーキング、図面記入、計測を行う調査の結果により、不良箇所が存在した場合は、タイルを除去の上、下地処理を行い、接着工法貼りとする。
- ホ …… アルミL型笠木 (W=350) 新設
- ハ …… 新設アルミサッシ取付
- ト …… 既存鉄骨階段鉄部 下地調整 (RB種) DP塗装 (仕様は、共仕18.7.2による)



西面 立面図 1/100



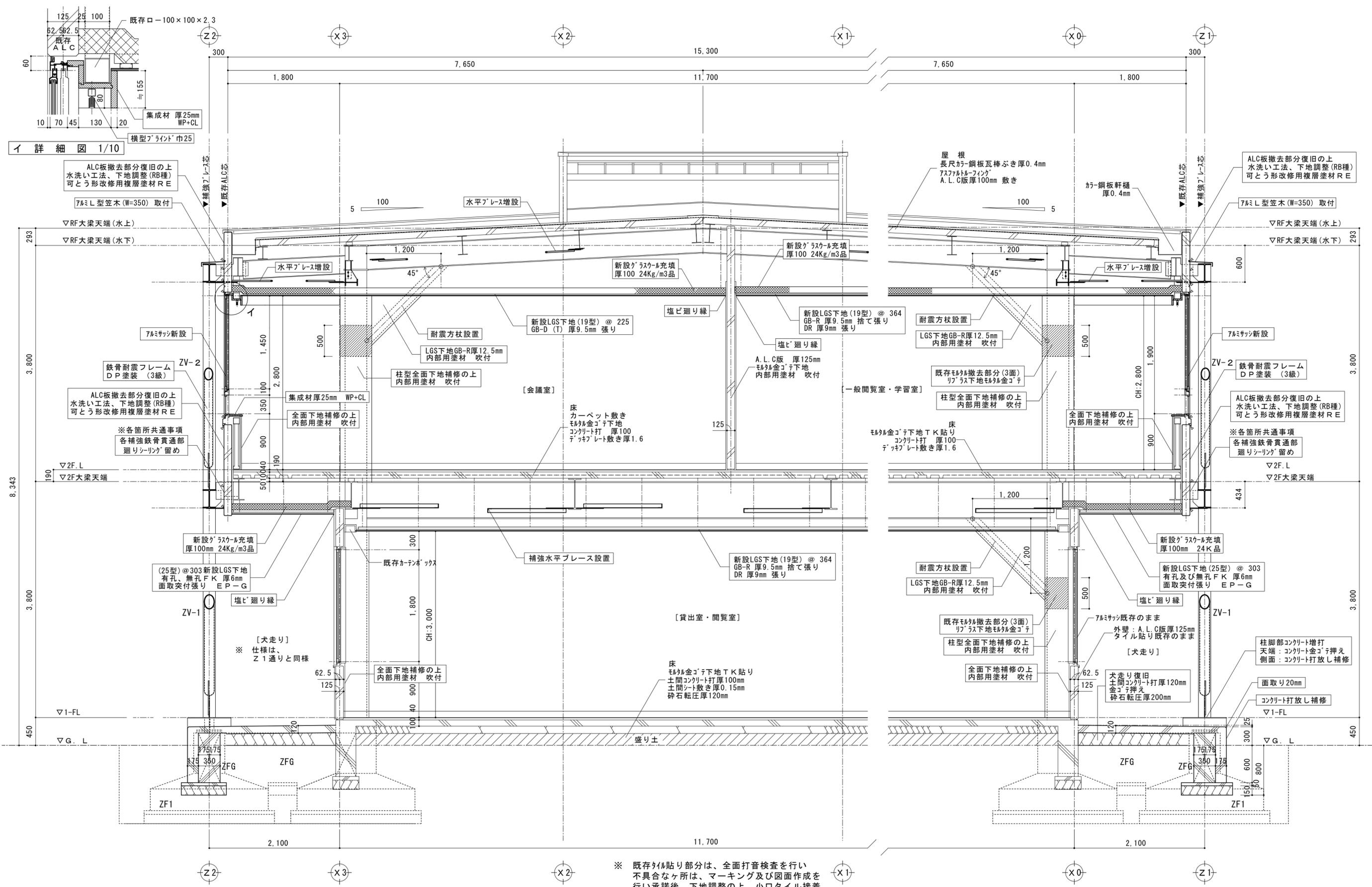
北面 立面図 1/100



※ 既存タイル貼り部分は、全面打音検査を行い
不具合箇所は、マーキング及び図面作成を
行い承諾後、下地調整の上、小口タイル接着
工法により、復旧を行う

..... 撤去部分を示す。
現状・撤去 矩計図 1/40

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING		SHEET NO. A-15 / 63
	平成28年度 真輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 矩計図	A2:1/40	H28.8	設計者 一級建築士 第13507号 監理者 一級建築士 第33433号 一級建築士 第32929号 小川 龍也 伊東 紀典		



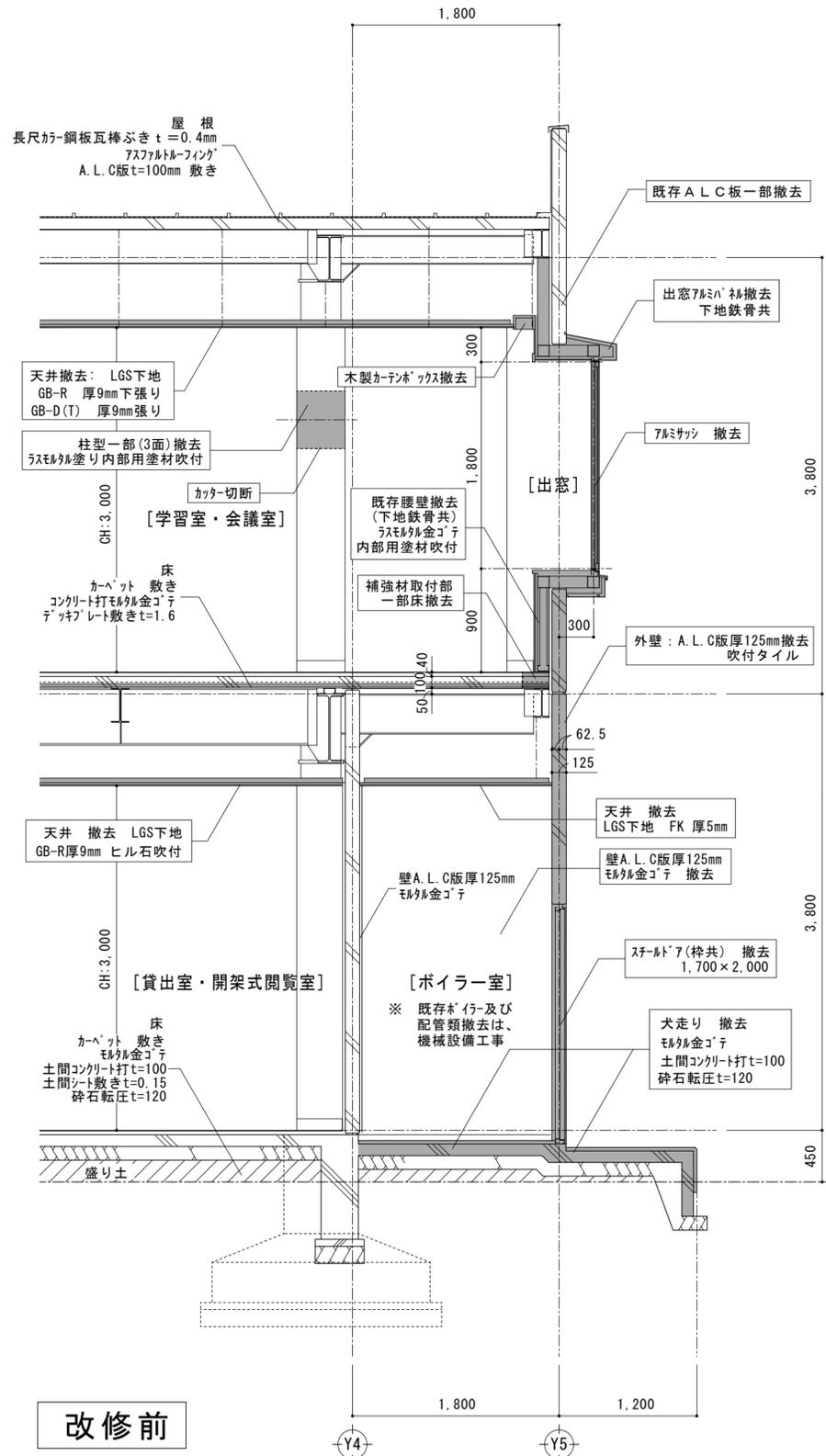
イ 詳細図 1/10

※ 既存タイル貼り部分は、全面打音検査を行い
不具合なヶ所は、マーキング及び図面作成を
行い承諾後 下地調整の上 小口タイル接着
工法により、復旧を行う

改修後 矩計図 1/40

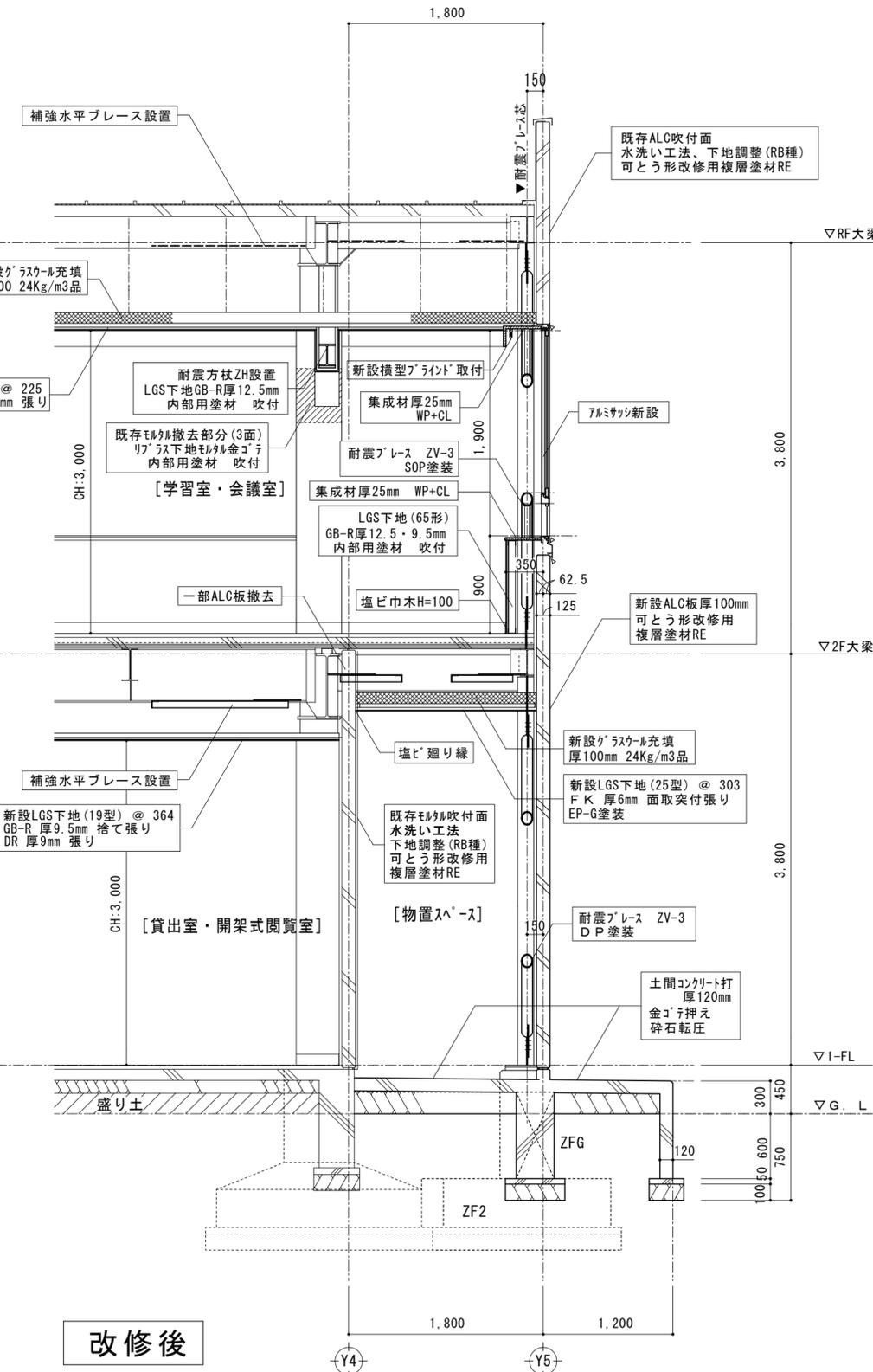
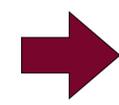
シリング (MS-2) 留めヶ所を示す。

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	<p>株式会社 創和設計 長野県上伊那郡南木曾町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大内東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大田登輝 第352433号 一級建築士 事務所登録 (上伊) F-87121号 小河 薫</p>	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後 矩計図	A2:1/40・1/10	H28.7	設計者 一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 薫 一級建築士 第32433号 小河 薫 一級建築士 第32929号 伊東 紀典		A-16 / 63



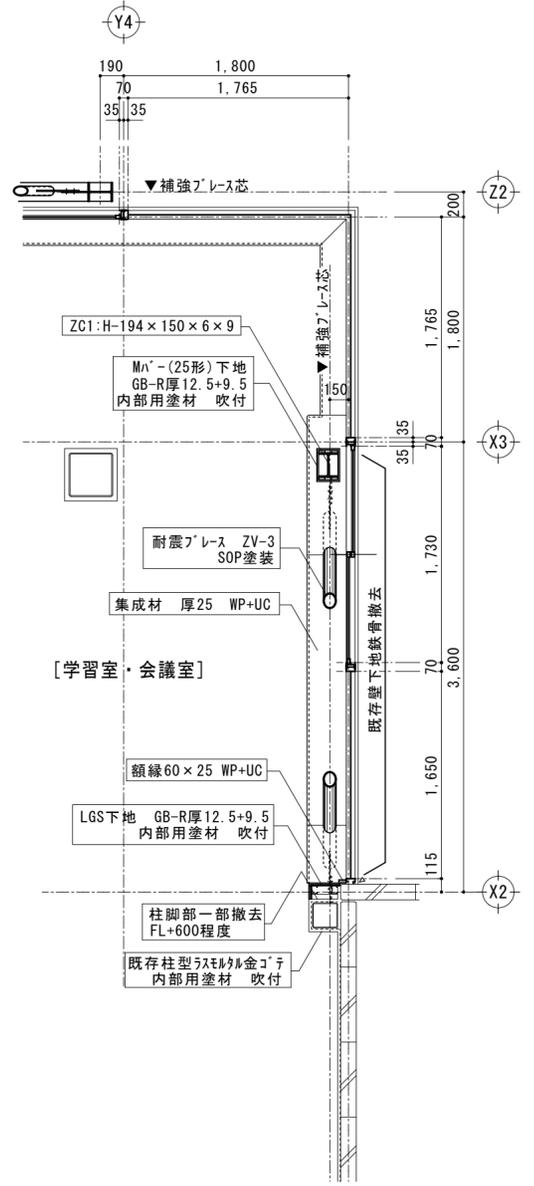
改修前

現状 詳細図 1/40

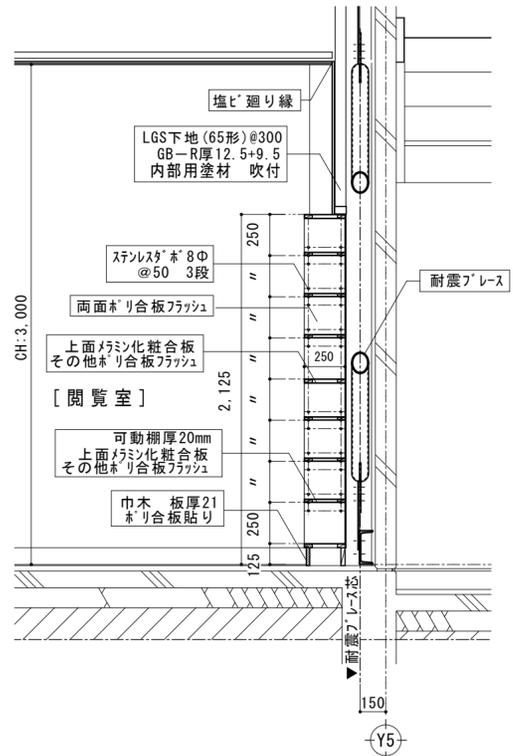


改修後

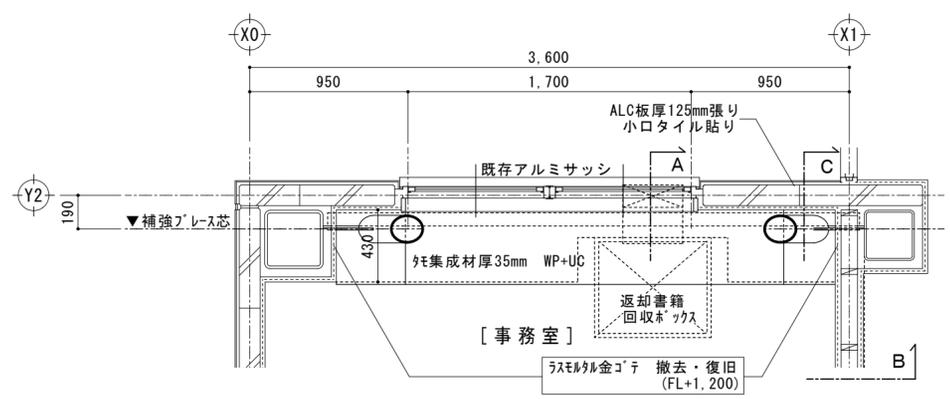
改修後 詳細図 1/40



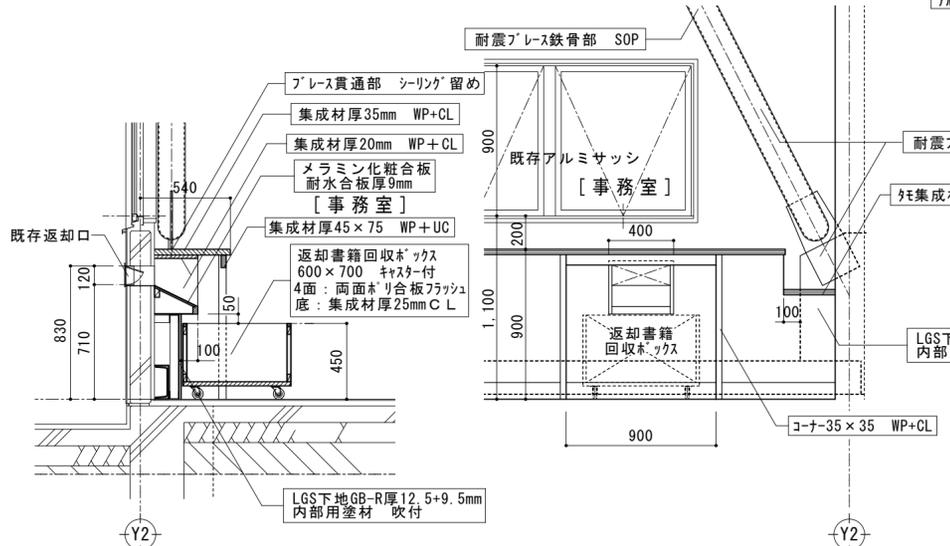
改修後 平面図 1/40



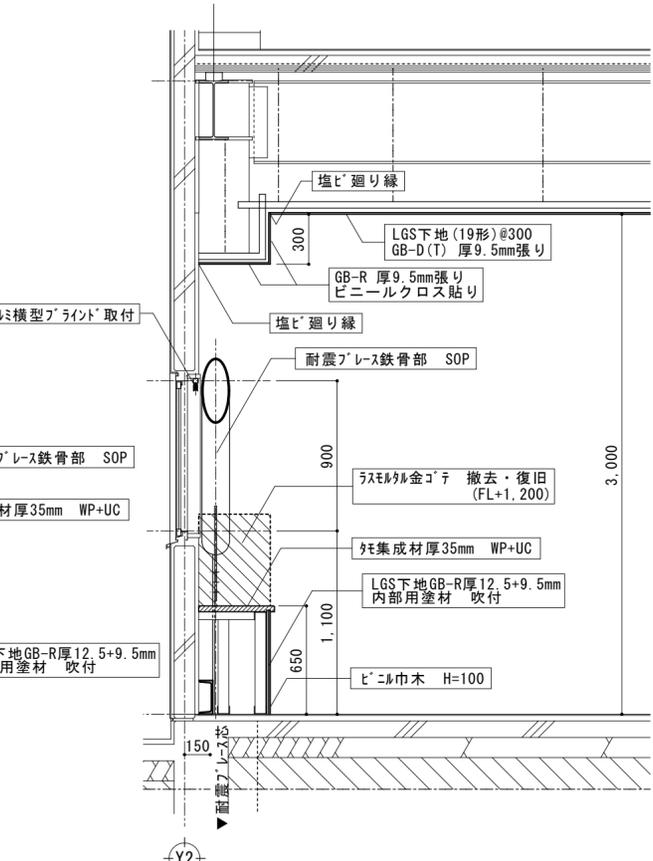
1階 閲覧室 Y5通り 詳細図 1/30



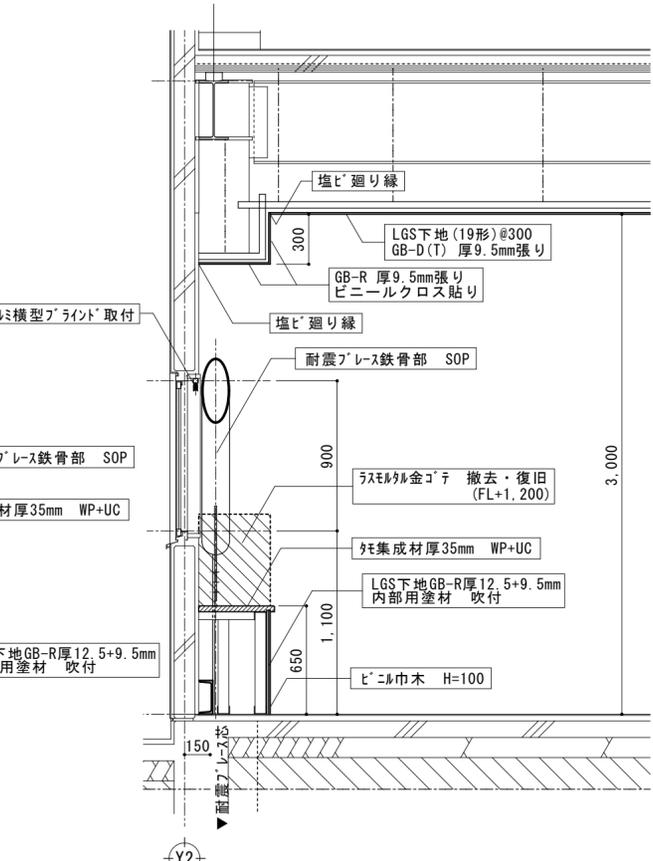
事務室



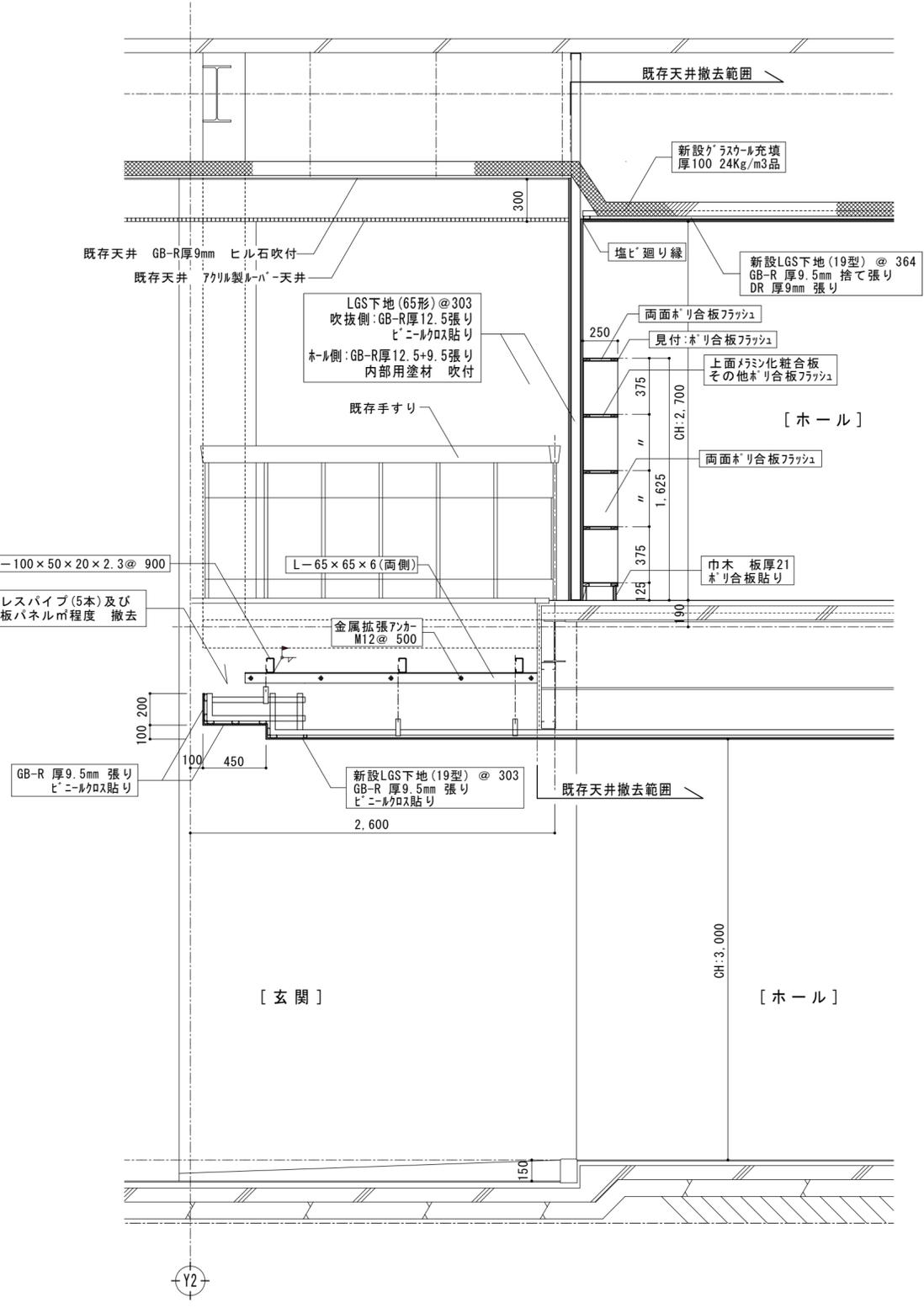
A 詳細図 1/30



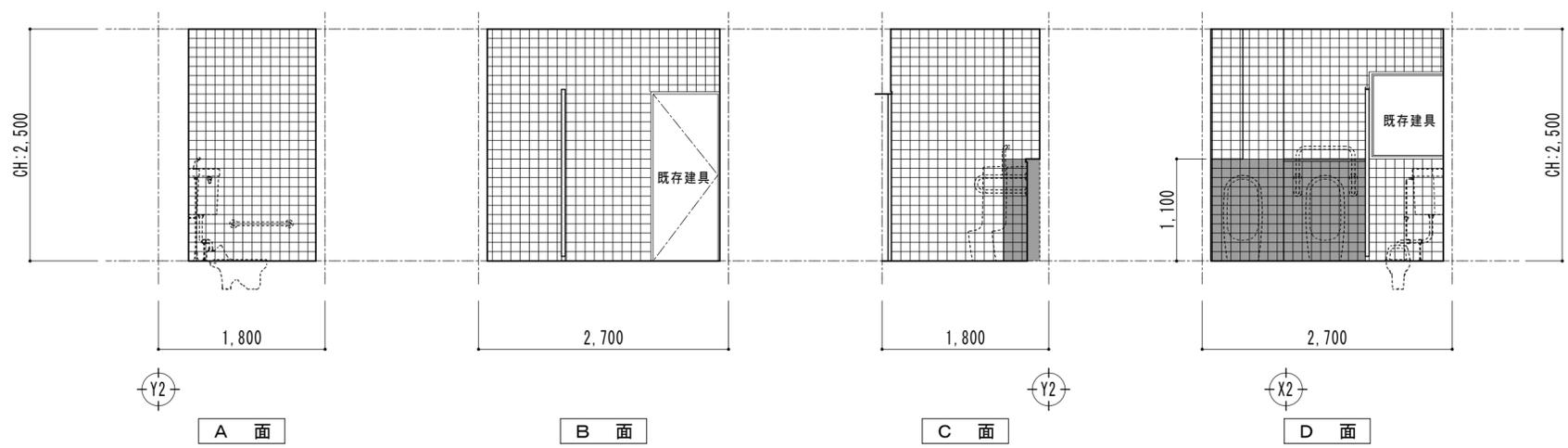
B 詳細図 1/30



C 詳細図 1/30

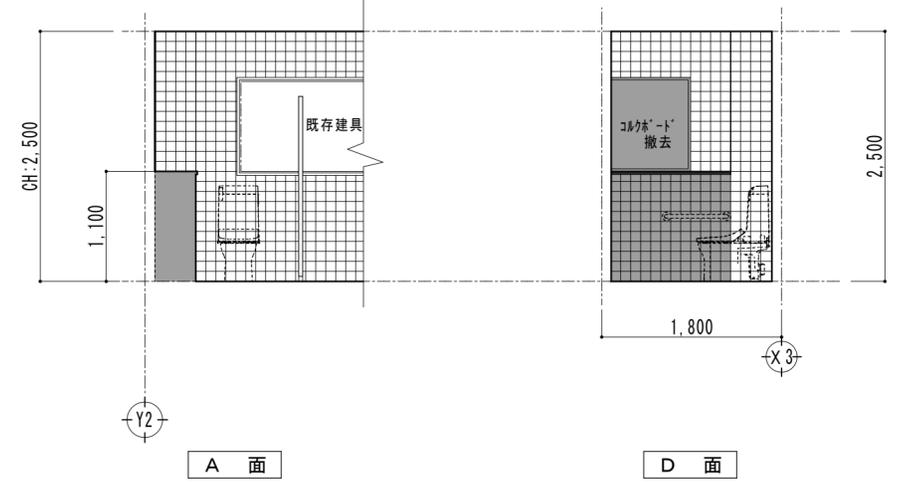


玄関・ホール 吹抜け部 詳細図 1/30



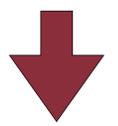
改修前

改修前 男子WC 展開図 1/50



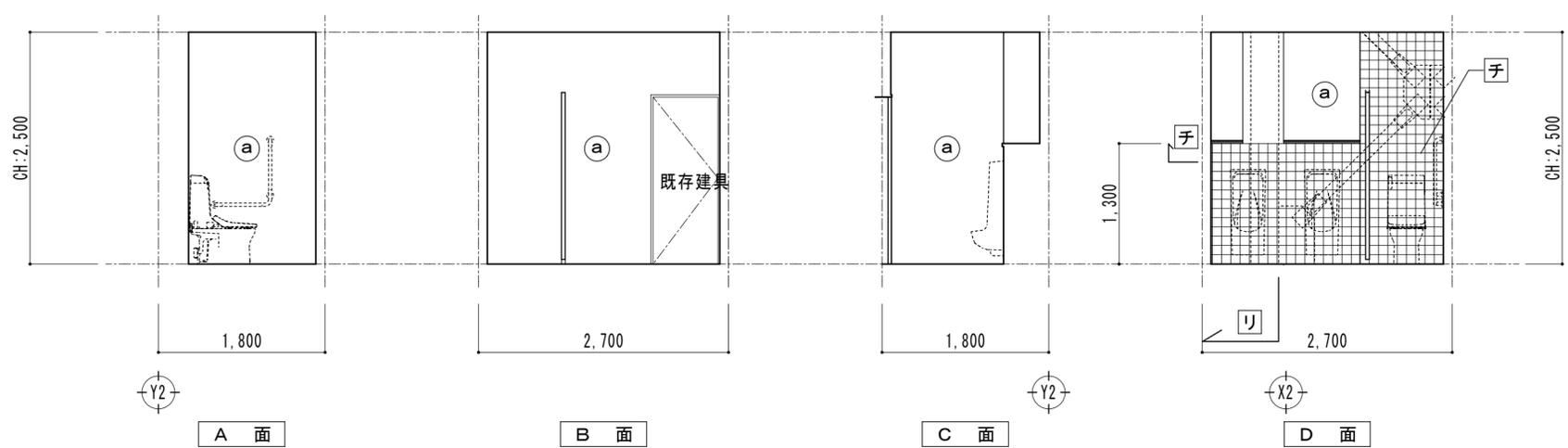
改修前

改修前 女子WC 展開図 1/50



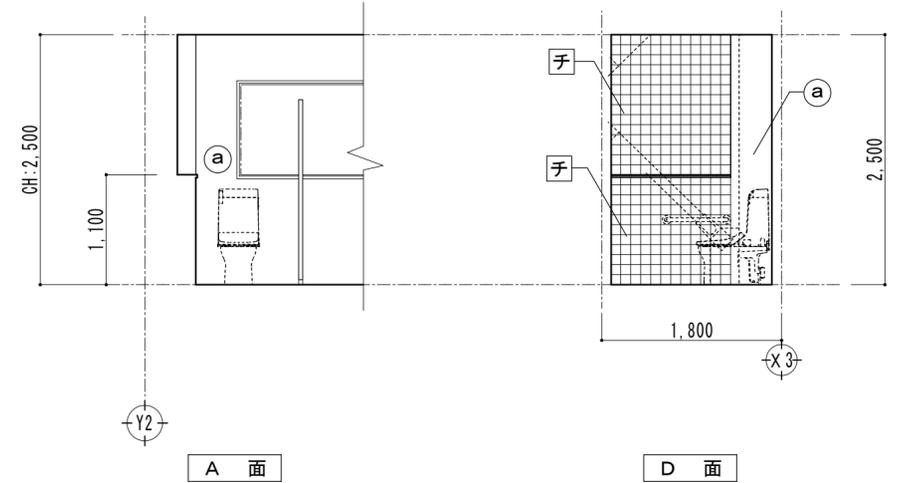
※ 電気・機械設備機器の撤去、取付は、各設備工事とする。

■ …… 既存撤去部分を示す。



改修後

改修後 男子WC 展開図 1/50

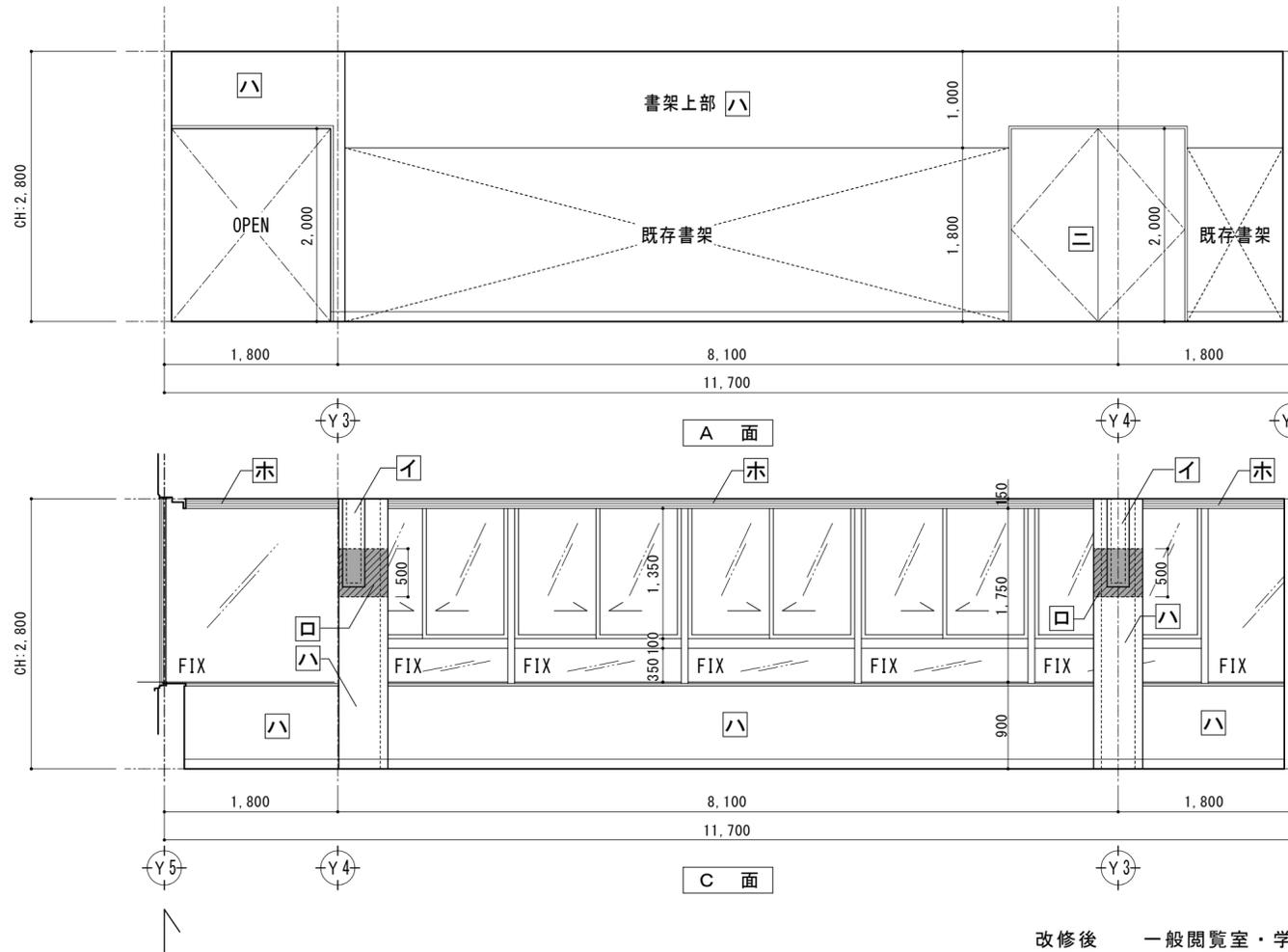


改修後

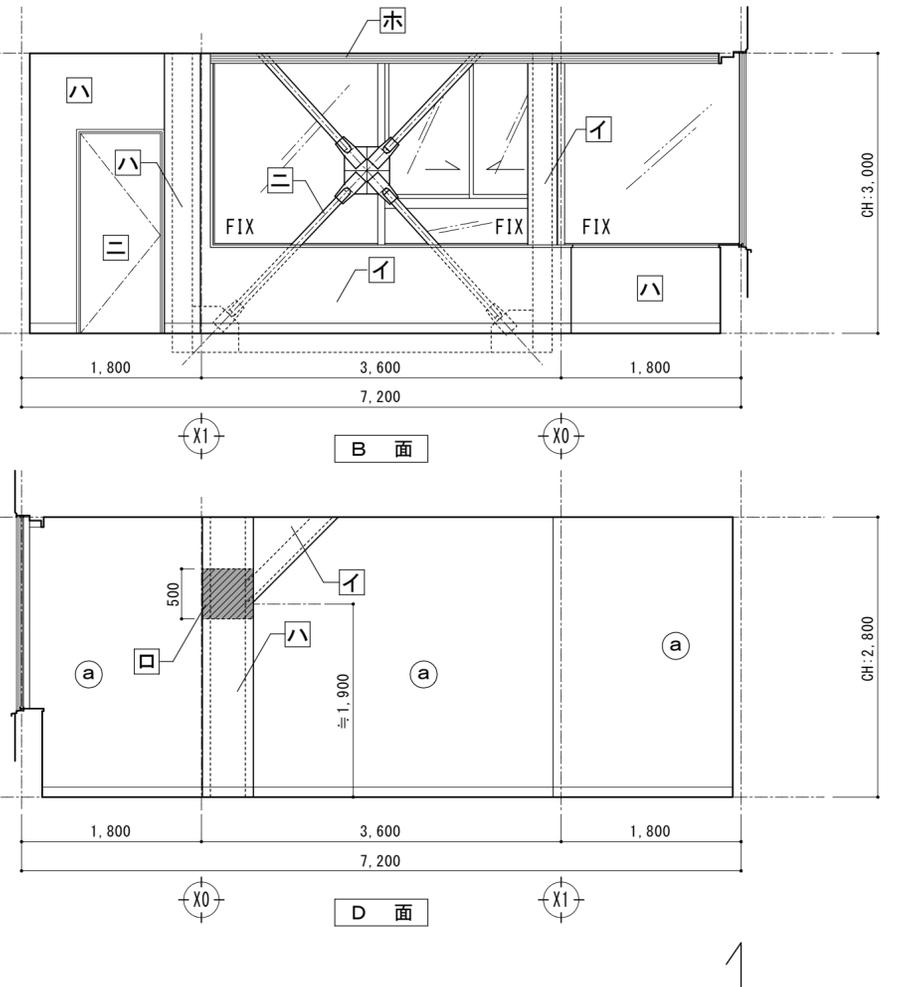
改修後 女子WC 展開図 1/50

【 凡 例 】

■ …… 既存モルタル下地モルタル塗り内部吹付塗材 撤去	ニ …… 新設鉄部SOP塗装	リ …… 既存モルタル下地調整の上 100角タイル接着貼り
イ …… LGS下地 GB-R厚12.5+9.5mm 目地処理の上内部吹付塗材 吹付	ホ …… 新設木部SOP塗装	○ …… 既存のまま
ロ …… リプラス下地 モルタル金コテ 内部吹付塗材 吹付	ヘ …… LGS下地 GB-R厚12.5+9.5 目地処理の上 内部用塗材 吹付	
ハ …… 既存吹付面 下地処理の上 内部吹付塗材 吹付 (※機器等、撤去に伴う補修を含む。)	ト …… 新設ビニル巾木 H=100	
	チ …… LGS下地@300 耐水合板(1類)厚12mm 100角タイル接着貼り	



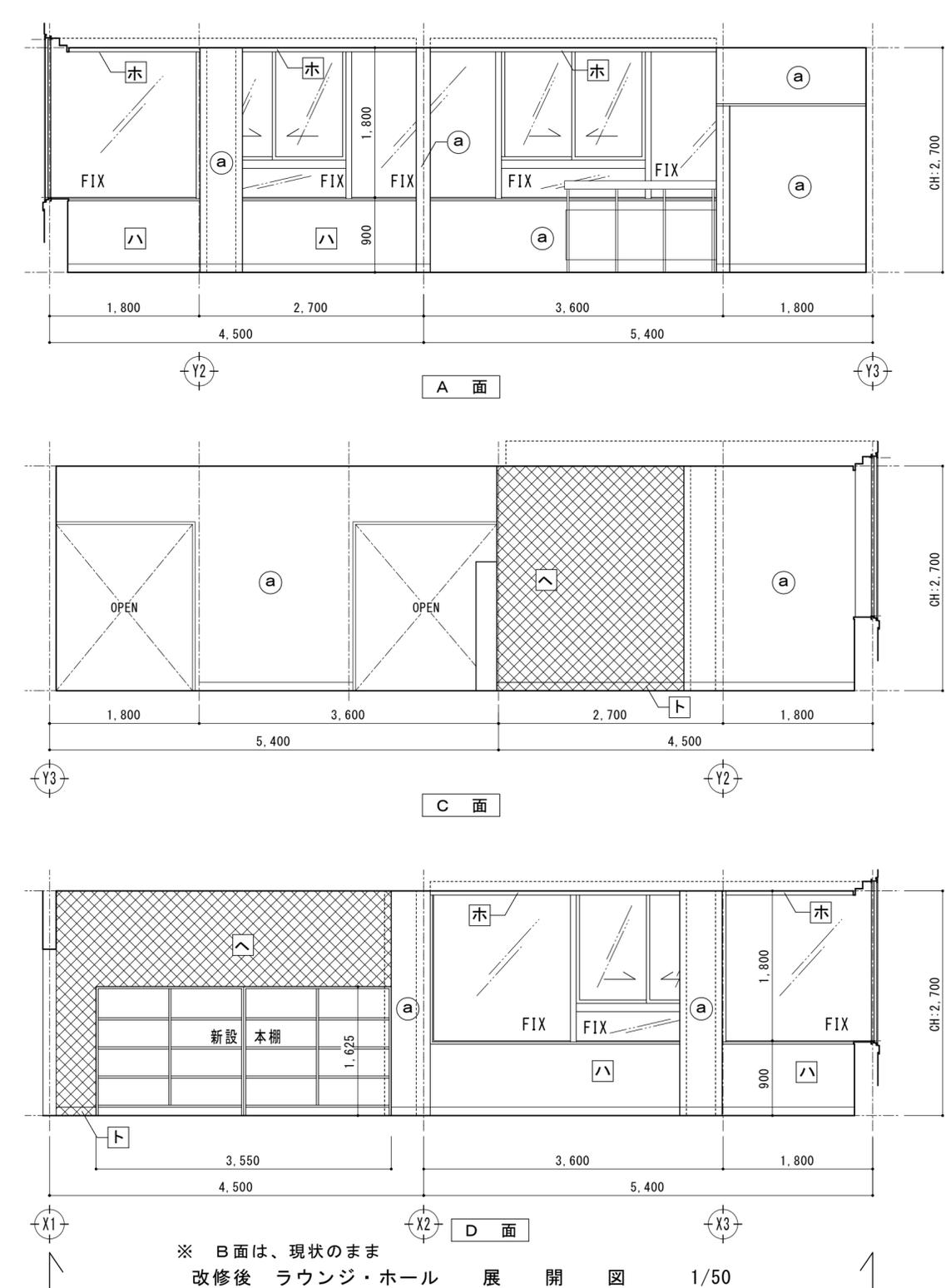
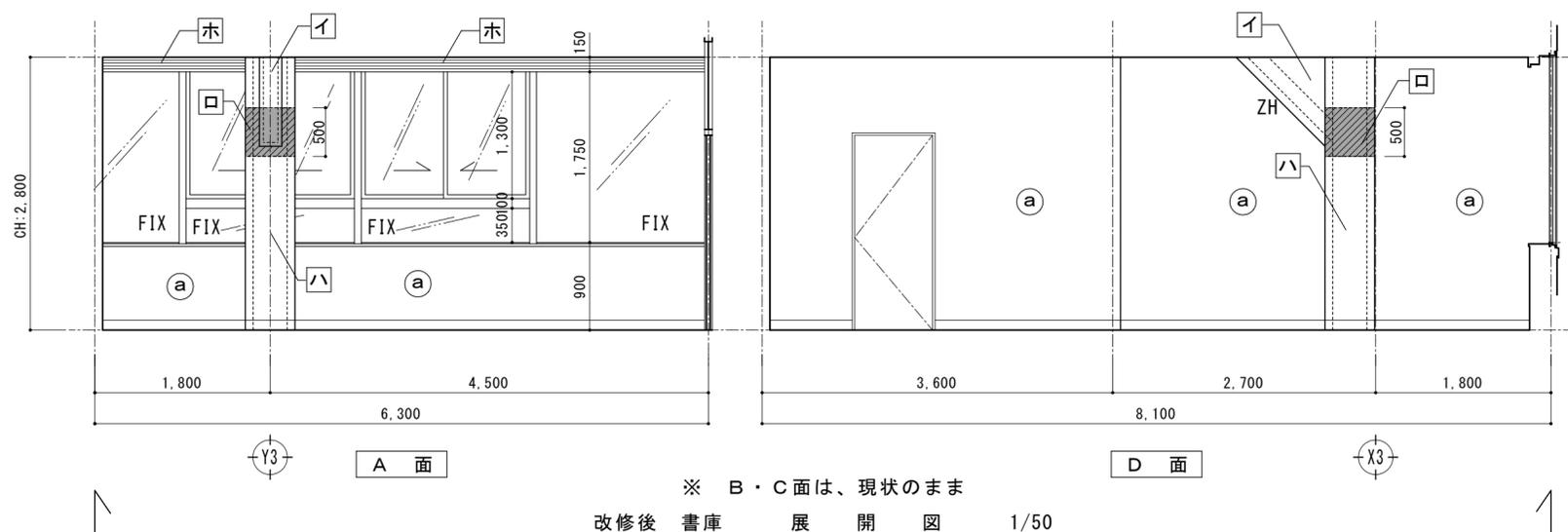
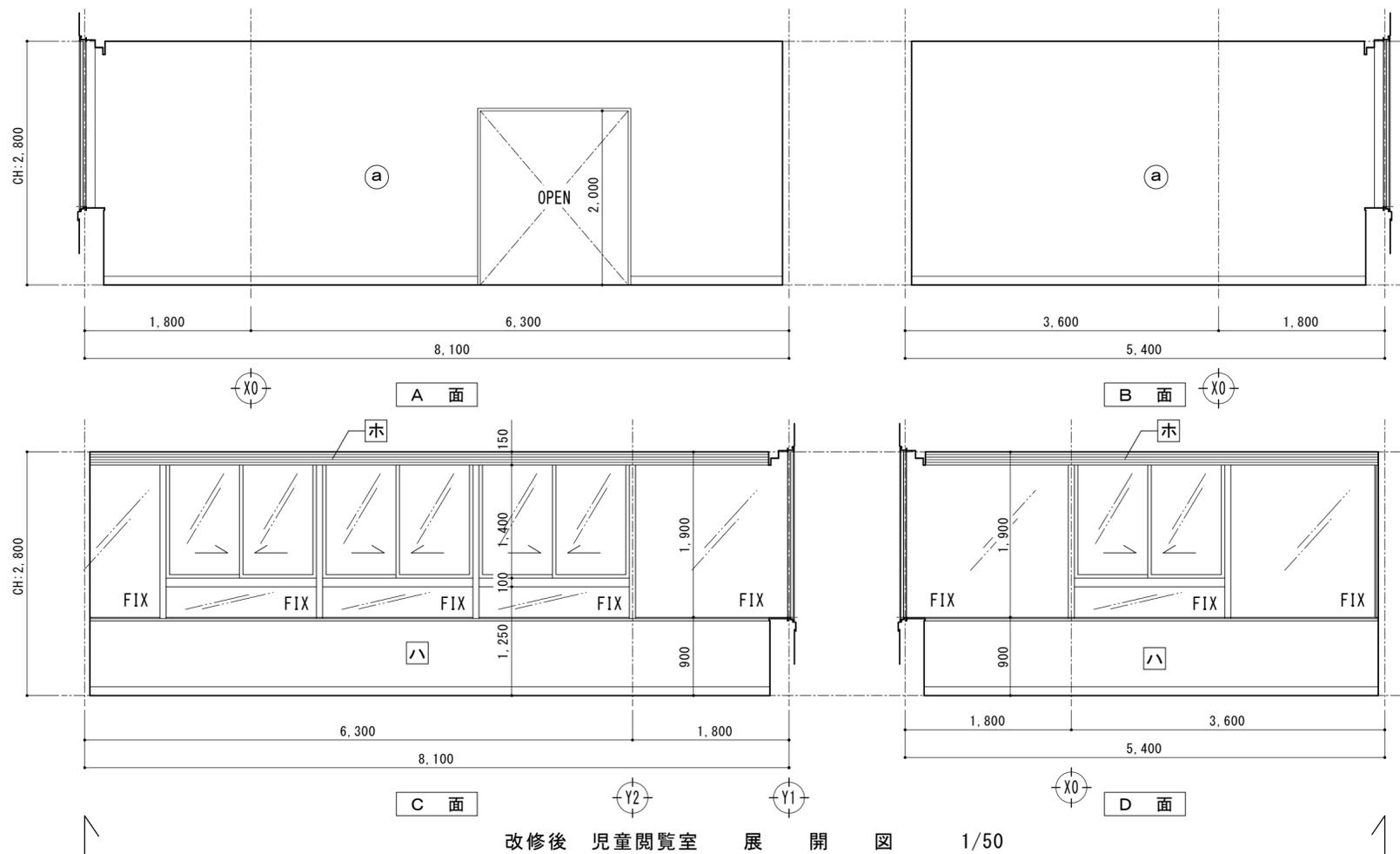
改修後 一般閲覧室・学習室 展開図 1/50



改修後 会議室 展開図 1/50 ※ C面は、現状のまま

【 凡 例 】

<p>■ . . . 既存モルタル下地モルタル塗り内部吹付塗材 撤去</p> <p>☑ . . . LGS下地 GB-R厚12.5+9.5mm 目地処理の上内部吹付塗材 吹付</p> <p>□ . . . リプラス下地 モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付</p> <p>ハ . . . 既存吹付面 下地処理の上 内部吹付塗材 吹付 (※機器等、撤去に伴う補修を含む。)</p>	<p>≡ . . . 鉄部SOP塗装</p> <p>木 . . . 木部SOP塗装</p> <p>∧ . . . LGS下地 GB-R厚12.5 目地処理の上 ビニールクロス貼り</p> <p>ト . . . 新設ビニル巾木 H=100</p>	<p>○ a . . . 既存のまま</p>
--	--	------------------------



【 凡 例 】

■ . . . 既存モルタル下地モルタル塗り内部吹付塗材 撤去

イ . . . LGS下地 GB-R厚12.5+9.5mm 目地処理の上内部吹付塗材 吹付

□ . . . リプラス下地 モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

ハ . . . 既存吹付面 下地処理の上 内部吹付塗材 吹付
(※機器等、撤去に伴う補修を含む。)

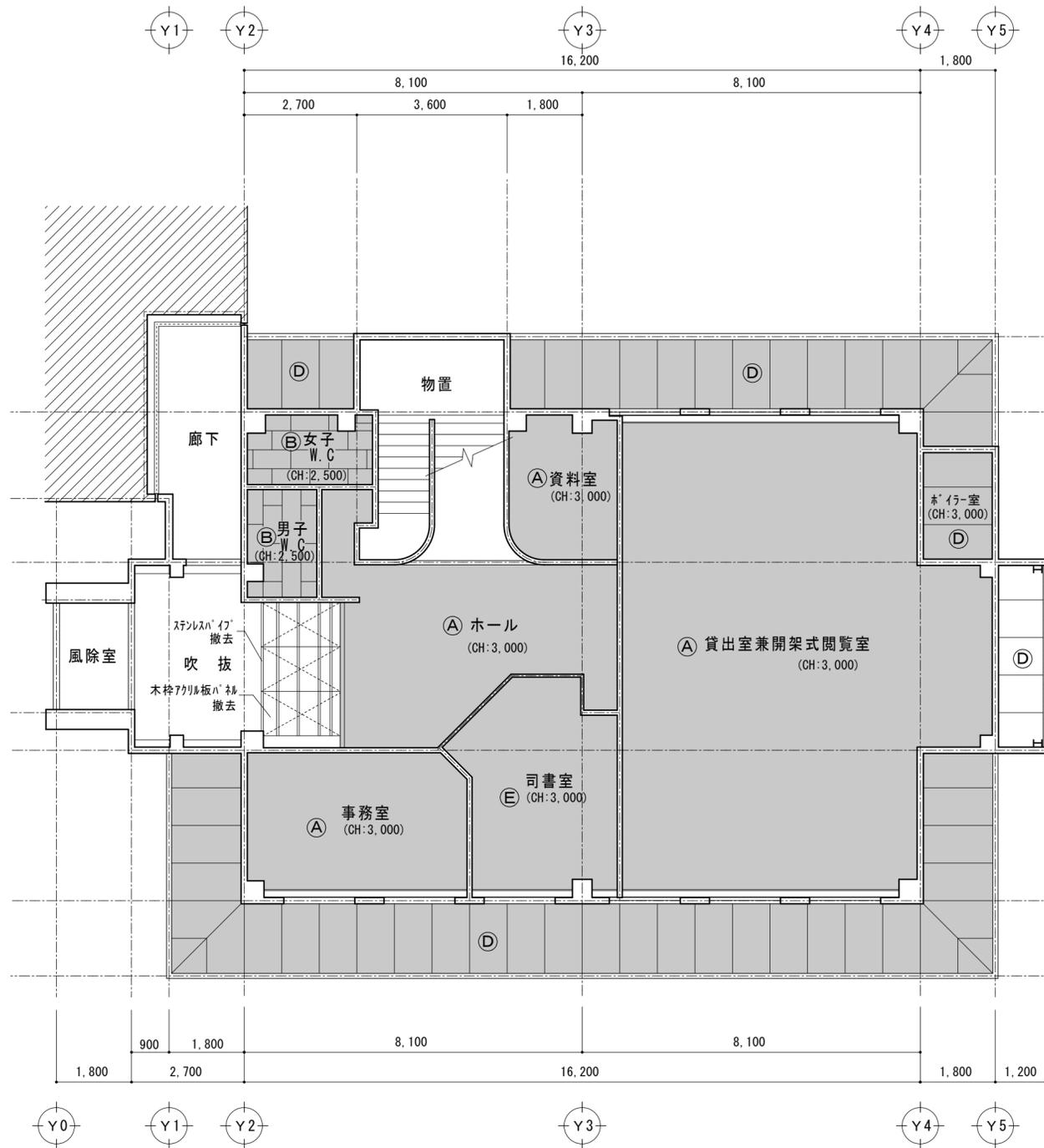
ニ . . . 新設鉄部SOP塗装

ホ . . . 新設木部SOP塗装

ヘ . . . LGS下地 GB-R厚12.5+9.5 目地処理の上 内部用塗材 吹付

ト . . . 新設ビニル巾木 H=100

Ⓐ . . . 既存のまま

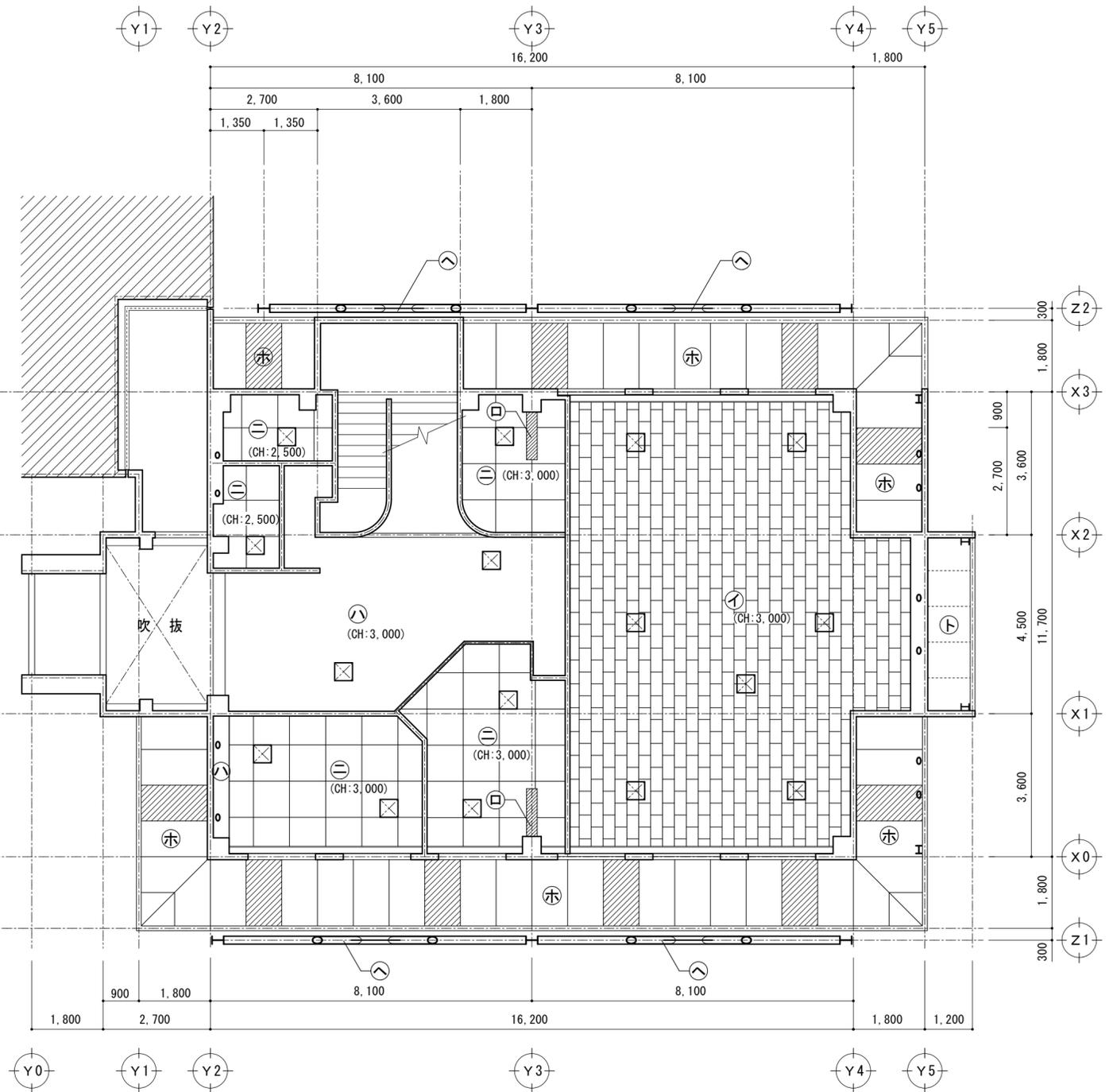


現状・撤去 1階天井伏図 1/100

【凡例】

- (A) ... LGS下地 GB-R 厚9mm ヒル石吹付
- (B) ... LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D (T) 厚9mm 張り
- (C) ... LGS下地 GB-D (T) 厚9mm ヒル石吹付 アクリル製ルーバー天井
- (D) ... LGS下地 FK 厚5mm 目すかし張り アクリルリシン吹付
- (E) ... LGS下地 GB-R 厚9mm ビニールクロス貼り

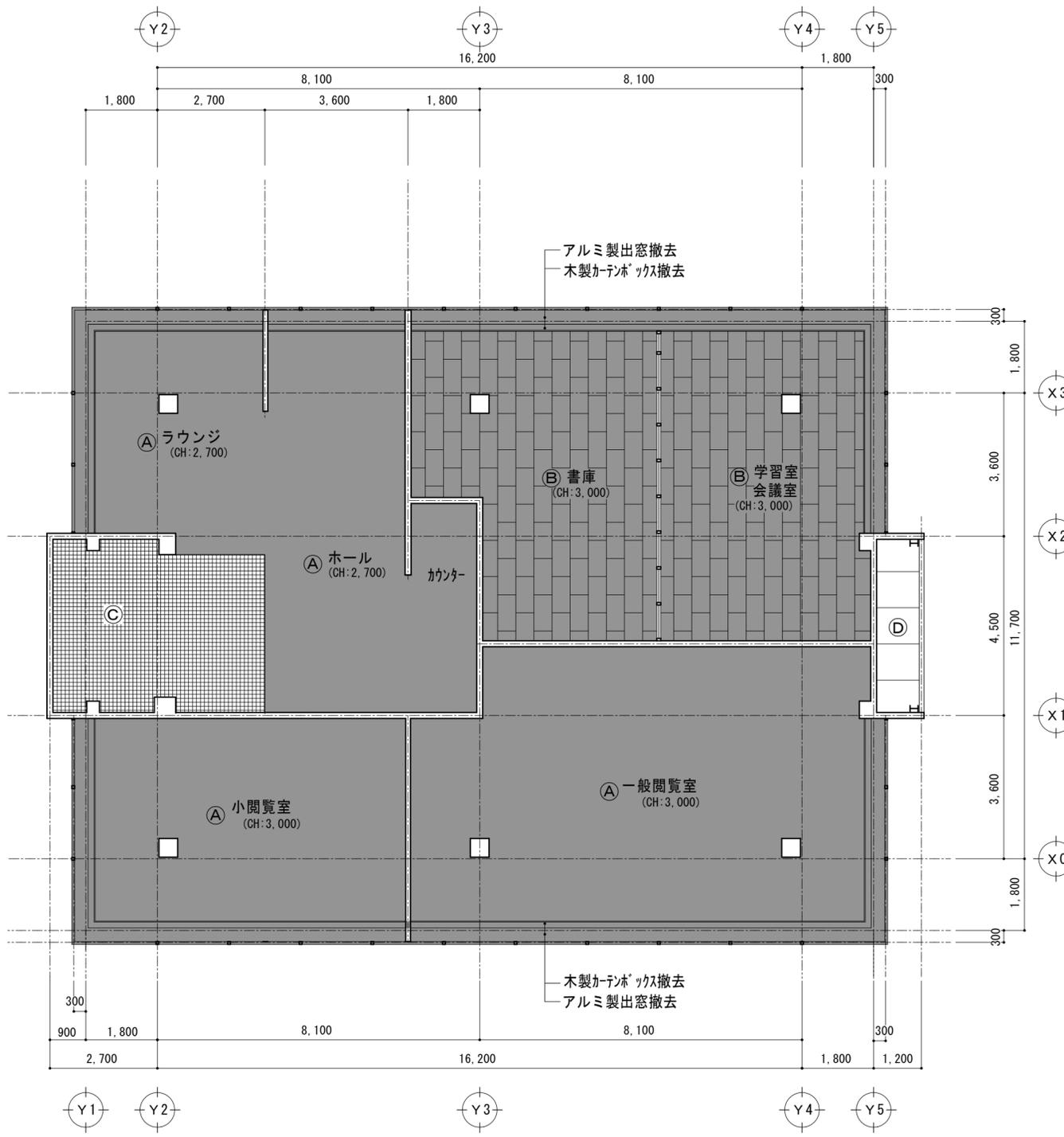
■ ... 既存天井撤去部分 (LGS下地共吊りボルトは残す) を示す。



改修後 1階天井伏図 1/100

【凡例】

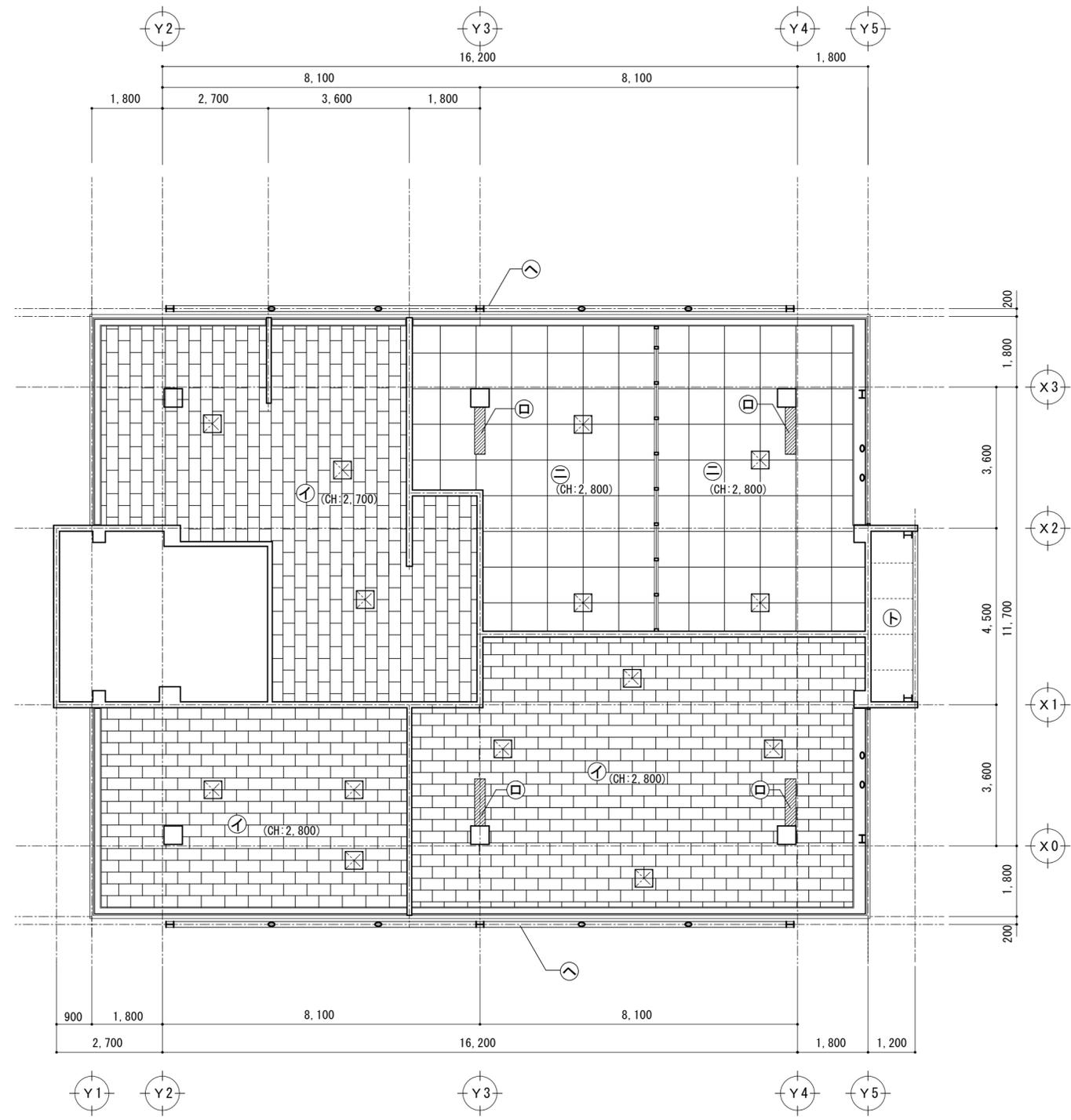
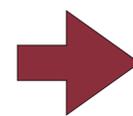
- (1) ... LGS下地 (19形)@364 GB-R 厚9.5mm捨て張り DR厚9mm張り
- (2) ... LGS下地 (19形)@303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 内部用塗材 吹付
- (3) ... LGS下地 (19形)@303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 ビニールクロス貼り
- (4) ... LGS下地 (19形)@303 GB-D (T) 910×910 厚9.5mm張り
- (5) ... LGS下地 (25形)@227 FK 厚6mm 面取突付張り EP-G (斜線部は、有孔FKを示す。)
- (6) ... 新設鉄部 DP塗装
- (7) ... 既存FK 厚5mm 目すかし張り 下地調整の上 EP-G
- (8) ... アルミ枠製天井点検口 450×450



現状・撤去 2階天井伏図 1/100

【凡例】

- (A) ... LGS下地 GB-R 厚9mm ヒル石吹付
 - (B) ... LGS下地 GB-R 厚9mm下張り GB-D (T) 厚9mm 張り
 - (C) ... LGS下地 GB-D (T) 厚9mm ヒル石吹付 アクリル製ルーバー天井
 - (D) ... LGS下地 FK 厚5mm 目すかし張り アクリルリシン吹付
- ... 既存天井撤去部分 (LGS下地共吊りボルトは残す) を示す。



改修後 2階天井伏図 1/100

【凡例】

- (1) ... LGS下地 (19形)@364 GB-R 厚9.5mm捨て張り DR厚9mm張り
- (2) ... LGS下地 (19形)@303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 内部用塗材 吹付
- (3) ... LGS下地 (19形)@303 GB-R 厚9.5mm張り 目地処理の上 ビニールクロス貼り
- (4) ... LGS下地 (19形)@303 GB-D (T) 910×910 厚9.5mm張り
- (5) ... LGS下地 (25形)@227 FK 厚6mm 面取突付張り EP-G (斜線部は、有孔FKを示す。)
- (6) ... 新設鉄部 DP塗装
- (7) ... 既存FK 厚5mm 目すかし張り 下地調整の上 EP-G
- (8) ... アルミ枠製天井点検口 450×450

記号	形式・数量	AW 1	A L C納まり はめ殺し1ヶ所・コーナ-はめ殺し(90°)2ヶ所・下:はめ殺し+上:引違い12段窓2ヶ所計 15連窓	1ヶ所	記号	形式・数量	AW 3	A L C納まり 引違い	1ヶ所
	取付場所	AW 1	2階小閲覧室・一般閲覧室・学習室/会議室・書庫・階段・ラウンジ			取付場所	AW 3	1階 物置スペース	
記号	形式・数量	AW 2	A L C納まり はめ殺し3ヶ所・コーナ-はめ殺し(90°)2ヶ所・下:はめ殺し+上:引違い2段窓10ヶ所計 15連窓 オペレーター付1ヶ所	1ヶ所	記号	形式・数量	AW 3	A L C納まり 引違い	1ヶ所
	取付場所	AW 2	学習室/会議室・書庫・階段・ラウンジ			取付場所	AW 3	1階 物置スペース	
姿 図					姿 図				
						姿 図			
材質・見込み	アルミ製 70			材質・見込み	アルミ製 70				
仕 上	無着色陽極酸化塗装 複合被膜 B-1種			仕 上	無着色陽極酸化塗装 複合被膜 B-1種				
ガ ラ ス	強化ガラス厚5mm			ガ ラ ス	型板ガラス厚4mm				
金 物	アルミアングル、方立・下アルミ水切り加工H=100			金 物	付属金物一式				
備 考	ガラス留めシーリング・ステンレス網戸付			備 考	ガラス留めシーリング				

耐震補強工事特記仕様書

- 特記事項は下記によるが、その他の事項は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書」（平成25年版）※¹ による。
- 本工事の基本となる指針は日本建築防災協会発行「2001年 改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針・同解説」※² である。施工業者はその内容について十分精通した上で、施工計画を立てること。
- ※¹ ※² は現場常備とする。

1) 工事計画 ・本工事は、既存の構造体に対して部材を増設することによって耐震性の向上及び構造の改善を図るもので、既存躯体との接合が極めて重要である。また、この方法は限られた場所で行われるもので、一般の建築工事とは施工方法等相当異なる面がある。

特に次の点に十分注意すること。

- 躯体寸法、階高寸法その他は実測による。
- 既存コンクリートとの一体化を図る。
- 施工に先立ち全工程の施工計画書を作成し、承諾を得ること。

2) 使用材料

- コンクリート 設計基準強度 $F_c=21\text{N/mm}^2$
- 水セメント比 60%以下、単位セメント量 300kg/m^3 以上
- レディミクストコンクリート使用とする。
- 粗骨材の最大寸法 20mm程度以下
- スランプ 18cm以下
- 所用空気量 4.5%
- 使用材料等
 - 鉄筋 SD345 (D19以上)、SD295A (D16以下) 規格品
 - 無収縮モルタル 設計基準強度 $F_c=30\text{N/mm}^2$ 以上
 - 樹脂アンカー カプセル型接着系アンカー
 - 鉄骨 鋼板は、SN400B その他鋼材・・・SS400、及びSSG400 高力ボルト・・・S10T アンカーボルト・・・ABR400

・コンクリート圧縮強度試験は公的機関で行う。試験は1日施工する毎に、JIS A1132に従って圧縮試験体を3本(材令28日)作成する。

・コンクリート品質は下記の表による。

スランプ(cm)	空気量(%)	塩化物イオン量(kg/m ³)
18±2.5	4.5±1.5	0.3以下

3) 材料試験

- 下記の材料は、共通仕様書に従い材料試験を行う。但しコンクリート・モルタル以外は監督員の承諾を受けた場合に限り、メーカーが保証する検査証明書を提出して、これを省略することができる。
- 1)セメント 2)コンクリート 3)モルタル 4)鉄筋 5)アンカー
- 樹脂アンカーについては、引張試験を行う。
- 普通コンクリートについては、JIS A 1132「コンクリートの強度試験用供試体の作り方」及びJIS A 1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」に従って圧縮試験を行う。
- 無収縮モルタルについては、「コンクリート標準示方書(土木学会)」J14ロート試験(「PCグラウトの流動性試験方法」 JSCE-F531-1994)及び圧縮試験を行う。

4) 解体・はつり

- 騒音・粉塵・落下危険防止等、十分考慮して施工すること。
- 補強工事に先立ち、必要に応じて増設部材が設置される面内の既存仕上げ・躯体の一部を撤去する。
- コンクリート及び塗り壁を部分的に撤去する場合はカッター等で切り込みを付け、既存部分の仕上げに損傷を与えないように十分注意する。
- 増設部分と既存コンクリート躯体との接触面は、仕上げモルタル等を除去した後に既存躯体面を目荒しし、コンクリートやモルタル打設前に十分な水湿しを行う。なお、目荒しは深さ 6mm程度の凸凹で全体を荒すようにする。
- はつり工事は構造躯体に悪影響を与えない方法で丁寧に行うこと。

8) 樹脂アンカー工事

- 施工ピッチは図示による。
- 樹脂アンカーの作業員は、(社)JCAAの認定者とし、認定証明書を予め監理員に提出すること。
- コンクリートドリルの径は樹脂アンカー及び定着孔の径に適合したものとす。穴開けを行う前に部材幅方向に溝はつりを行い、既存鉄骨や埋設管の位置を確認し、その位置を避けてドリリングする。ただし、鉄筋探知機などの方法により既存鉄筋や埋設管の位置が的確に把握できる場合には、これらの方法を用いても良い。また樹脂アンカーの見上げの施工では、必要ポリワッシャー等を使用する。
- 穴開けに失敗した場合は、アンカー芯よりも内側に再度穴開けを行うこと。
- 既存鉄筋に当たり、アンカー穴が開けられない場合は、既存鉄筋をはつり出して、それにアンカーを溶接する。
- 失敗穴の処理は、躯体と同等以上の強度のモルタル等で補修すること。

・アンカー試験

樹脂アンカー(全数打音確認)

これらの方法を用いても良い。また樹脂アンカーの見上げの施工では、必要ポリワッシャー等

- 接着系あと施工アンカーは、公的機関(試験所、大学等)において実施した試験データを提出すること
- 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は墨皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。
- ただしショットブラスト、グリップブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは、発生しないままでよい。

9) 鉄骨工事

- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は、部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。
- 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする
- 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。又、既存鋼材に現場溶接を行うヶ所は、錆止塗装等は研磨し落す。
- 鉄骨製作工場は、Mグレード以上とする。

10) 公的機関

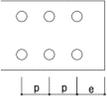
- コンクリート及びモルタルの試験は公的機関で行うものとするが監督員の承諾によりその他の方法によってもよい。

構造関係共通図(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

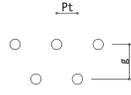
(a) 縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70



(b) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt			
	ねじの呼び			M24
	M12, M16, M20, M22			
35	50			65
40	45			60
45	40			55
50	35			50
55	25			45
60	-			40



(c) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位mm)

A又はB	g1	g2	最大軸径	B		最大軸径	B		最大軸径
				g1	g2		g1	g2	
45	25	12	100	56	16	50	30	12	
50	28	16	125	75	16	65	35	20	
60	35	16	150	90	22	70	40	20	
65	35	20	175	105	22	75	40	22	
70	40	20	200	120	24	80	45	22	
75	40	22	250	150	24	90	50	24	
80	45	22	300	150	40	100	55	24	
90	50	24	350	140	70	24			
100	55	24	400	140	90	24			
125	50	35	24						
130	50	40	24						
150	55	55	24						
175	60	70	24						
200	60	90	24						

※1 千鳥打ちとした場合

1-2 普通ボルト接合

もや、鋼線類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

1-3 溶接継手の種類別開先標準

突合わせ継手(B)の開先標準 (単位: mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

T型継手(T)の開先標準 (単位: mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

部材が直交しない場合の開先標準 (単位: mm)		
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		4 (軽量形鋼V形溶接)
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	
6 < t ≤ 40	6 < t ≤ 19	19 < t ≤ 40

かど継手(L)の開先標準 (単位: mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 19	
19 < t ≤ 40		19 < t ≤ 40	

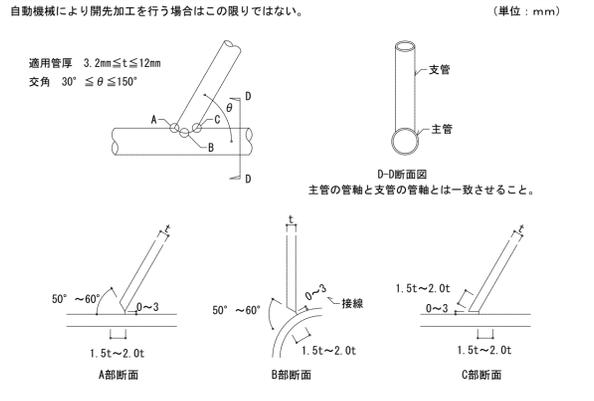
隅肉溶接(F)の開先標準 (単位: mm)		
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	
t ≤ 16	t ≤ 16	16 < t ≤ 40

隅肉溶接のサイズ (単位: mm)	
t	S
4	3
5	4
6	5
7	6
8	7
9	8
10	8
11	9
12	10
13	10
14	11
15	11
16	12
19	11
22	13
25	15
28	17
32	19
36	21
40	24

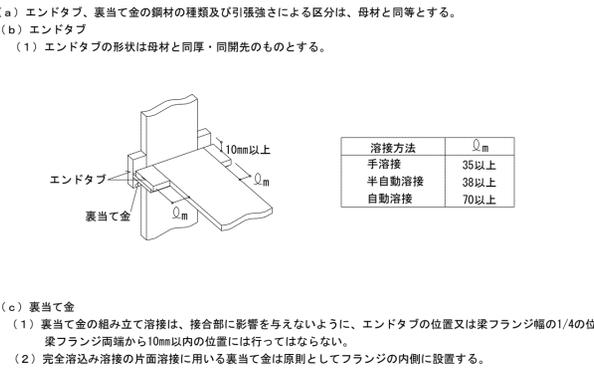
部分溶込み溶接(P)の開先標準 (単位: mm)	
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
12 ≤ t ≤ 40	16 ≤ t ≤ 40

フレア溶接(FL)の開先標準 (単位: mm)			
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)			
1 (丸鋼等片面溶接)	2 (丸鋼等両面溶接)	3 (軽量形鋼V形溶接)	4 (軽量形鋼レ形溶接)
4/2 4/2	4/2 4/2	t ≥ 3のとき S = t t < 3のとき S = 3	t ≥ 3のとき S = t t < 3のとき S = 3

1-4 鋼管分岐継手詳細



1-5 鉄骨溶接施工



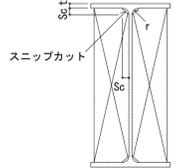
(d) スクラップ
改良型スクラップ
(1) スクラップ半径Srは35mmとする。Srは10mmとする。
(2) スクラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



従来型スクラップ
(1) スクラップ半径Srは35mmとする。



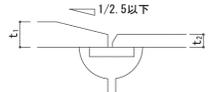
(e) スニップカット
(1) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



スニップカットの寸法
(2) スニップカットの寸法は下表による。
ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+2tにより求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

(f) 溶接部分の段差
完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合



(g) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGM-18, 19	40以下 30以下	350以下 450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下 30以下	350以下 450以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm ² 以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50N, 50P	40以下	250以下
	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
490N級鋼	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGM-18, 19	30以下 40以下	250以下 350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm ² 以上のものを除く	40以下	350以下
520N級鋼	JIS Z 3312	YGM-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	250以下
400N級STKR、BCR及びBCP	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGM-18, 19	30以下 40以下	250以下 350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	250以下
490N級STKR、及びBCP	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	250以下

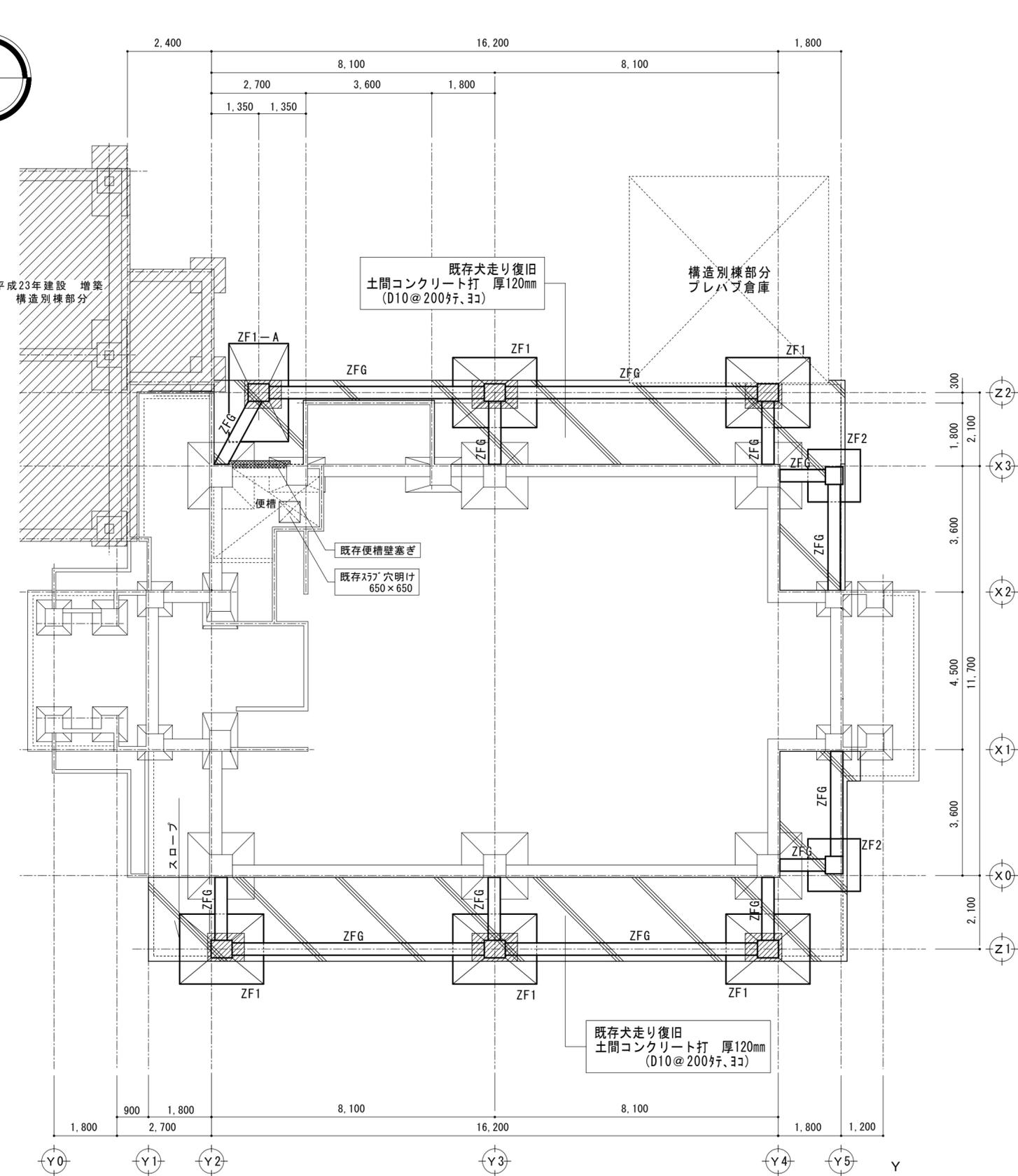
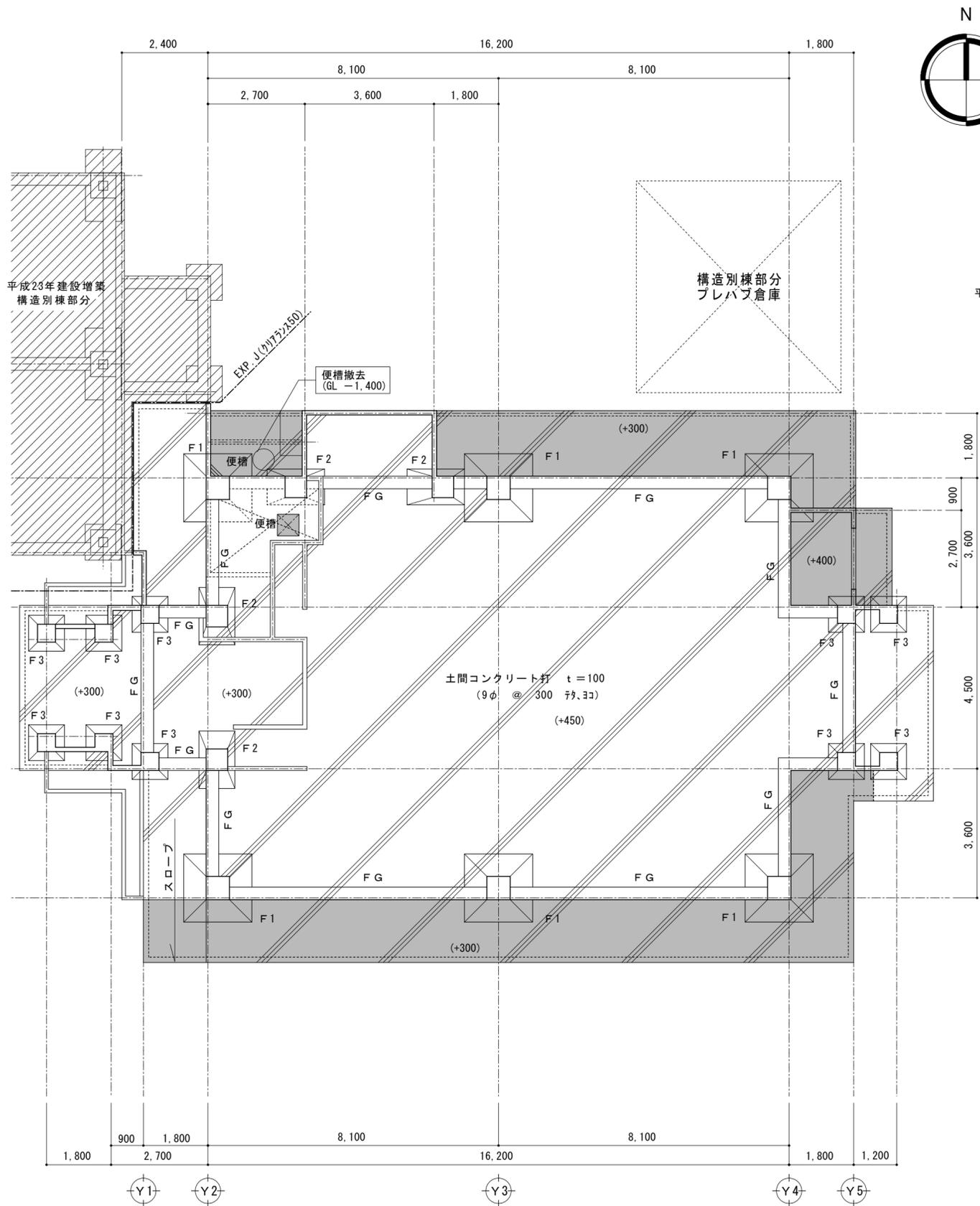
1-6 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合の溶接長さ(L)は、ビードの始点(La)及びクレーター(Lb)を除いた部分の長さとする。

L: 片面フレア溶接の場合 10d
両面フレア溶接の場合 5d

La及びLbは1d (軽量形鋼については1S) 以上

d: 異形鉄筋の呼び名に用いた数値
S: 溶接のサイズ



- 【既存使用材料】
- ・ コンクリート $F_c=240\text{Kg}/\text{cm}^2$
 - ・ 鉄筋 SD-295・SR-235

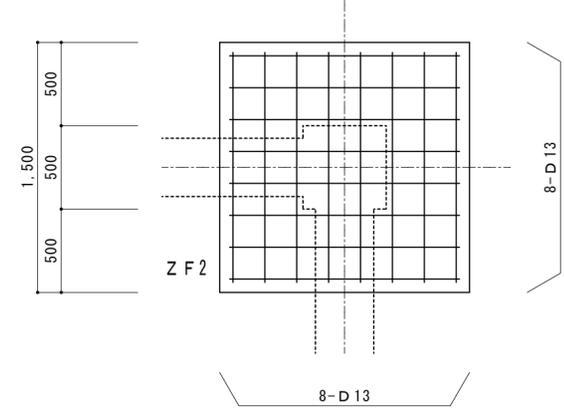
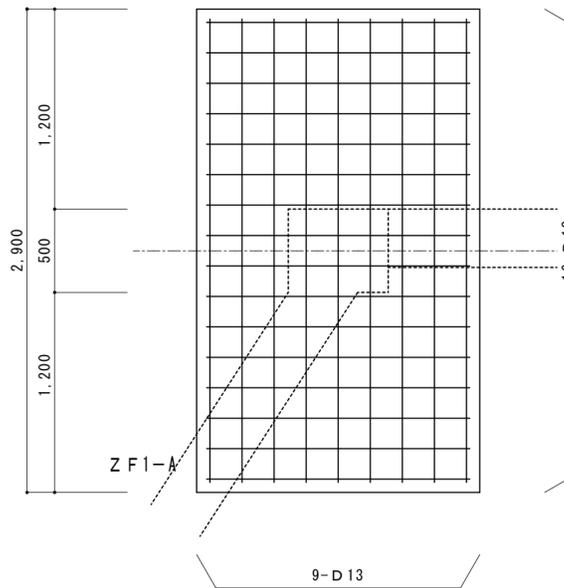
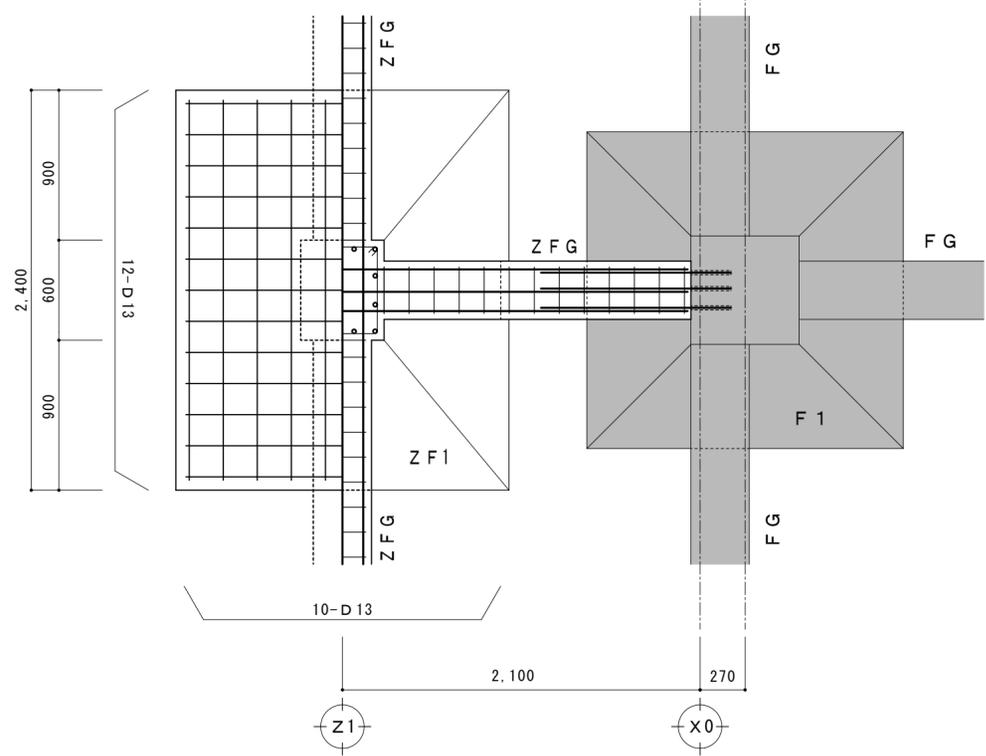
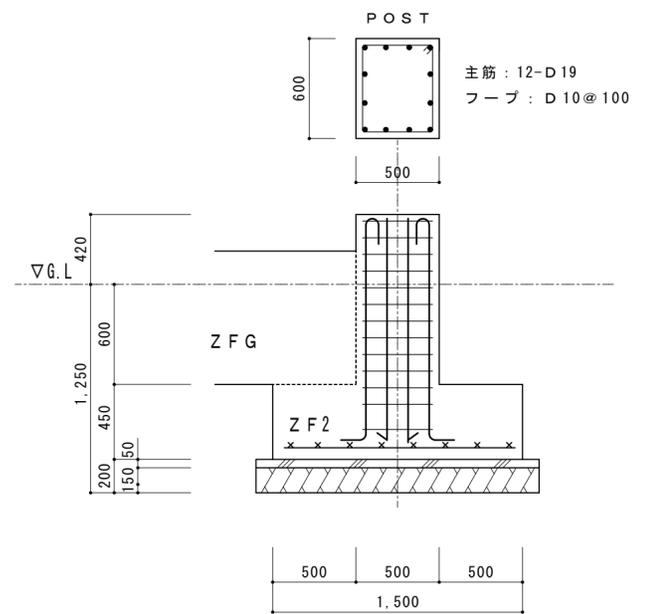
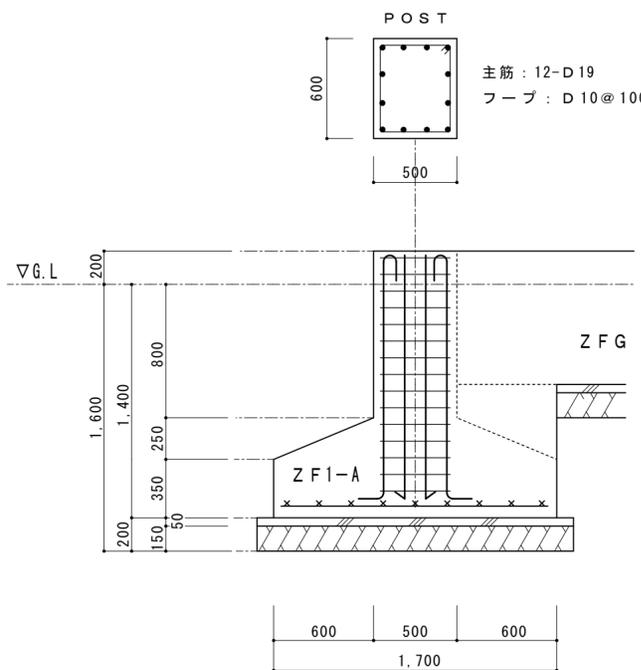
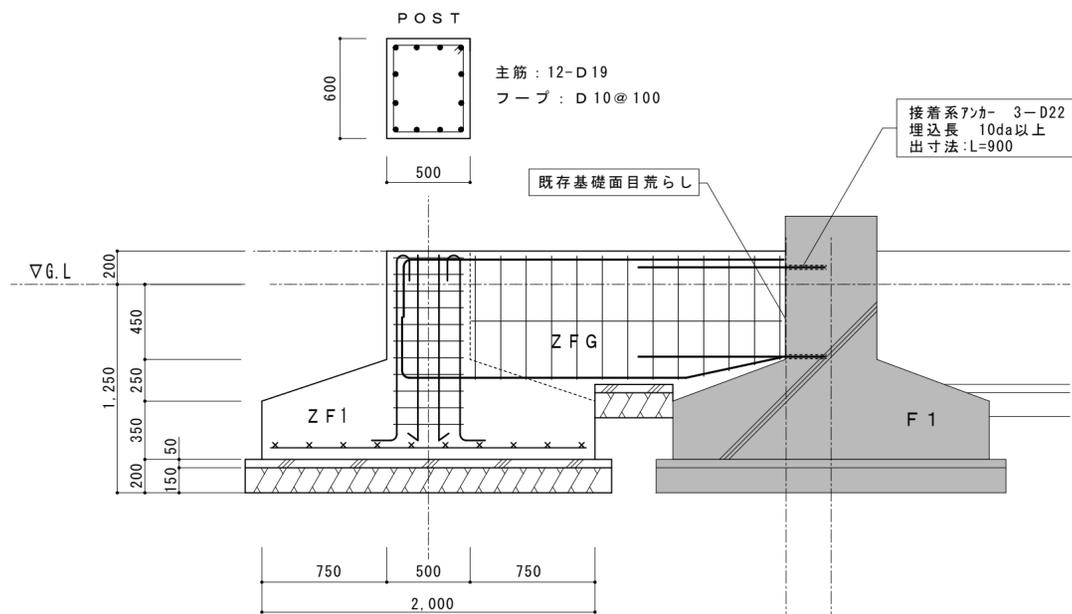
■■■■ 既存撤去部分を示す。

現状・撤去 基礎伏図 1/100



改修後 基礎伏図 1/100

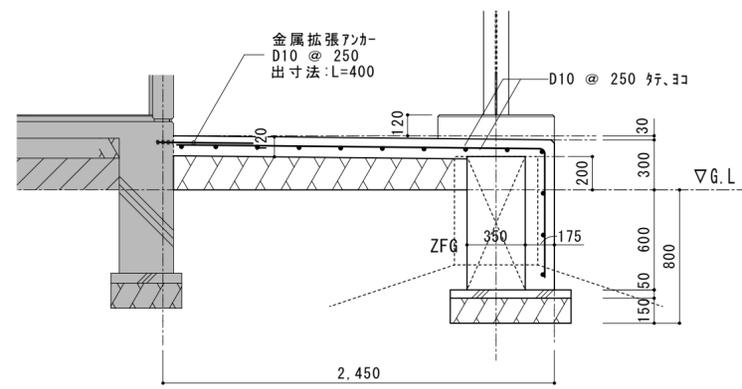
MEMORANDUM	TITLE 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	ITEM 基礎伏図	SCALE A2:1/100	DATE H28.7	CHECK-DRAWING 設計士 一級建築士 第13507号 一級建築士 第33433号 小川 崇 一級建築士 第23929号 伊東 紀典	 株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小川 崇	SHEET NO. S-04 / 63
------------	------------------------------	--------------	-------------------	---------------	---	---	------------------------



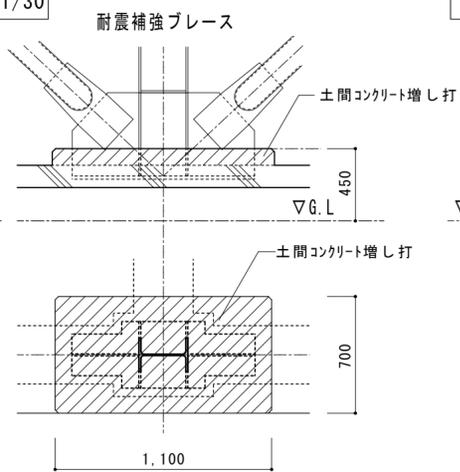
Z F 1 詳細図 1/30

Z F 1-A 詳細図 1/30

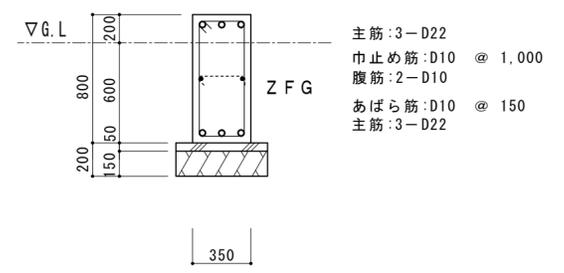
Z F 2 詳細図 1/30

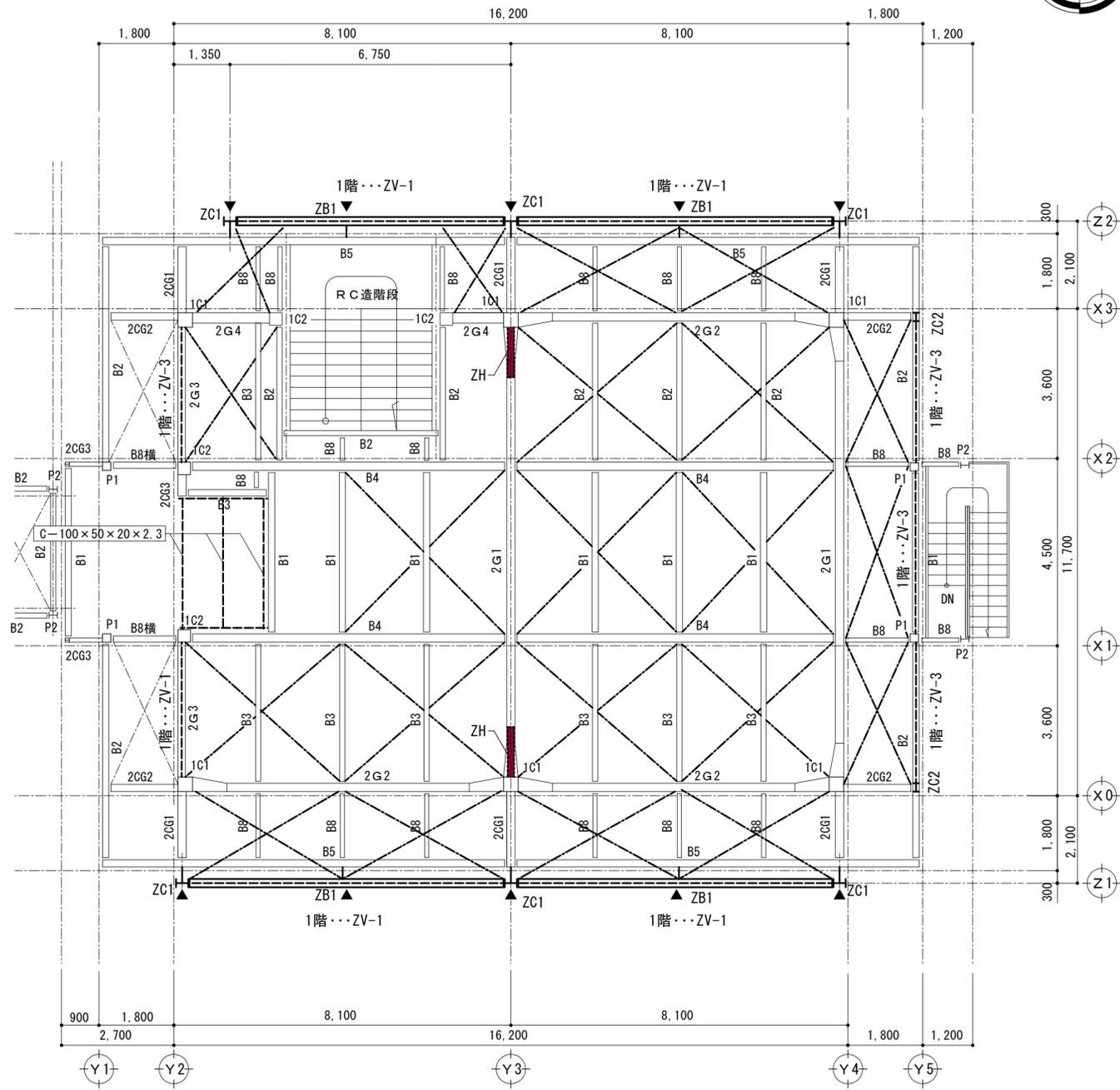


土間 詳細図 1/30

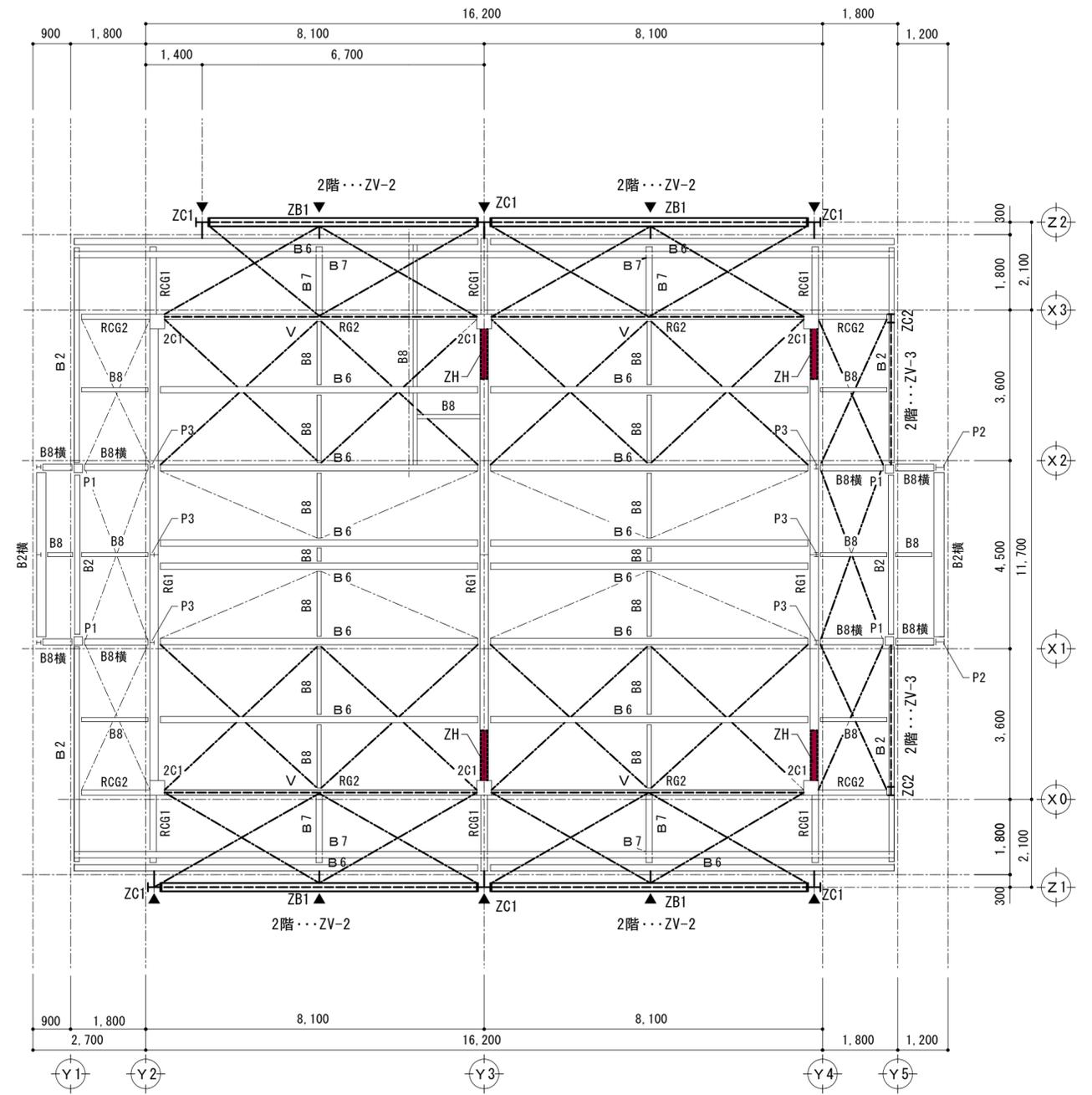


Z F G 詳細図 1/30

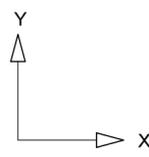


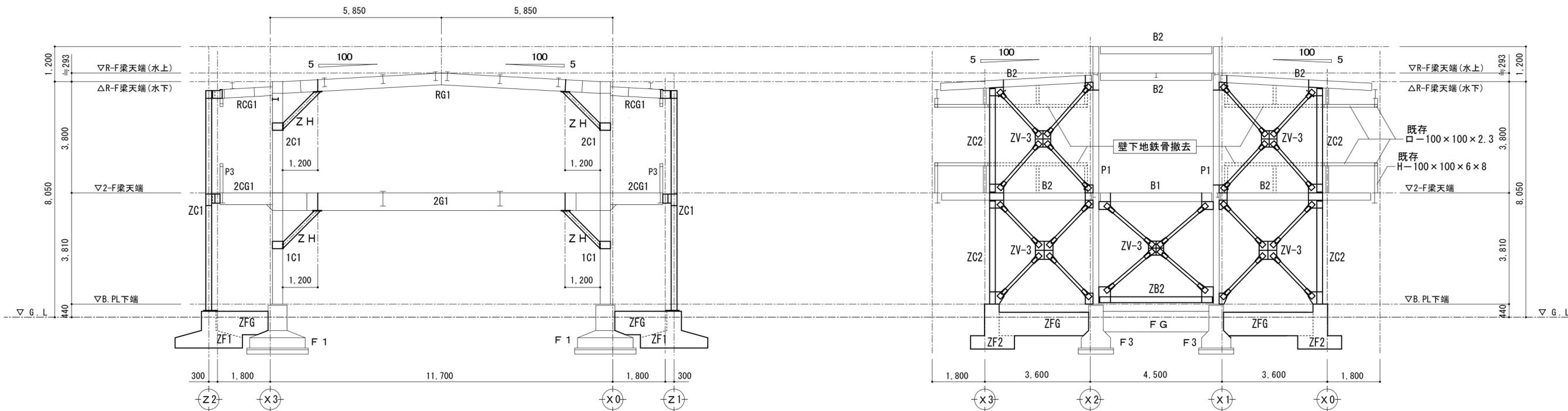


2階補強 梁伏図 1/100



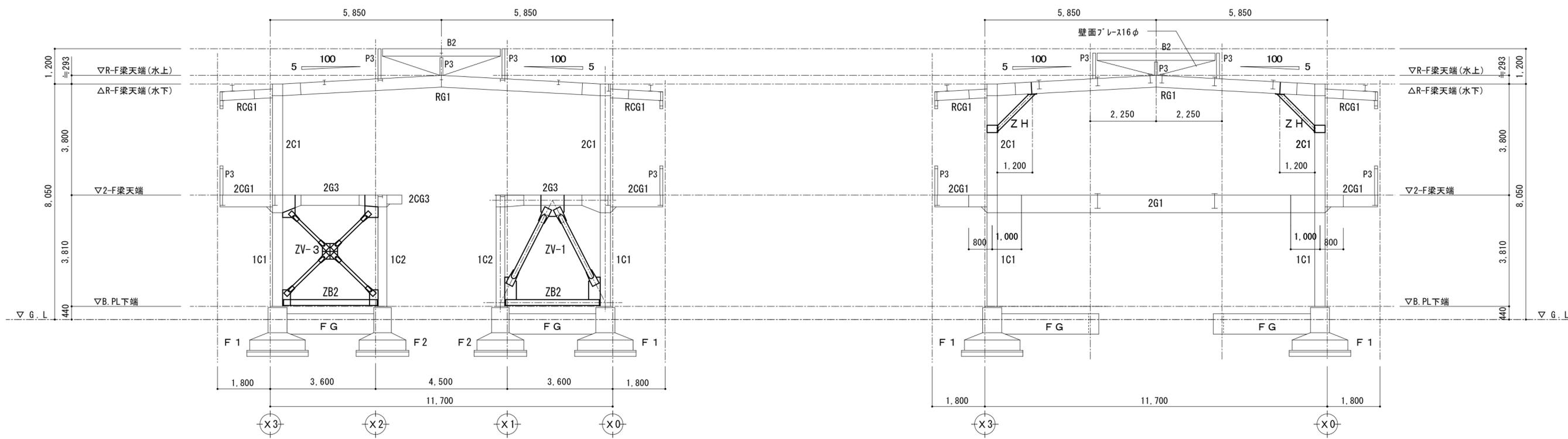
R階補強 梁伏図 1/100





Y3通り 軸組図 1/100

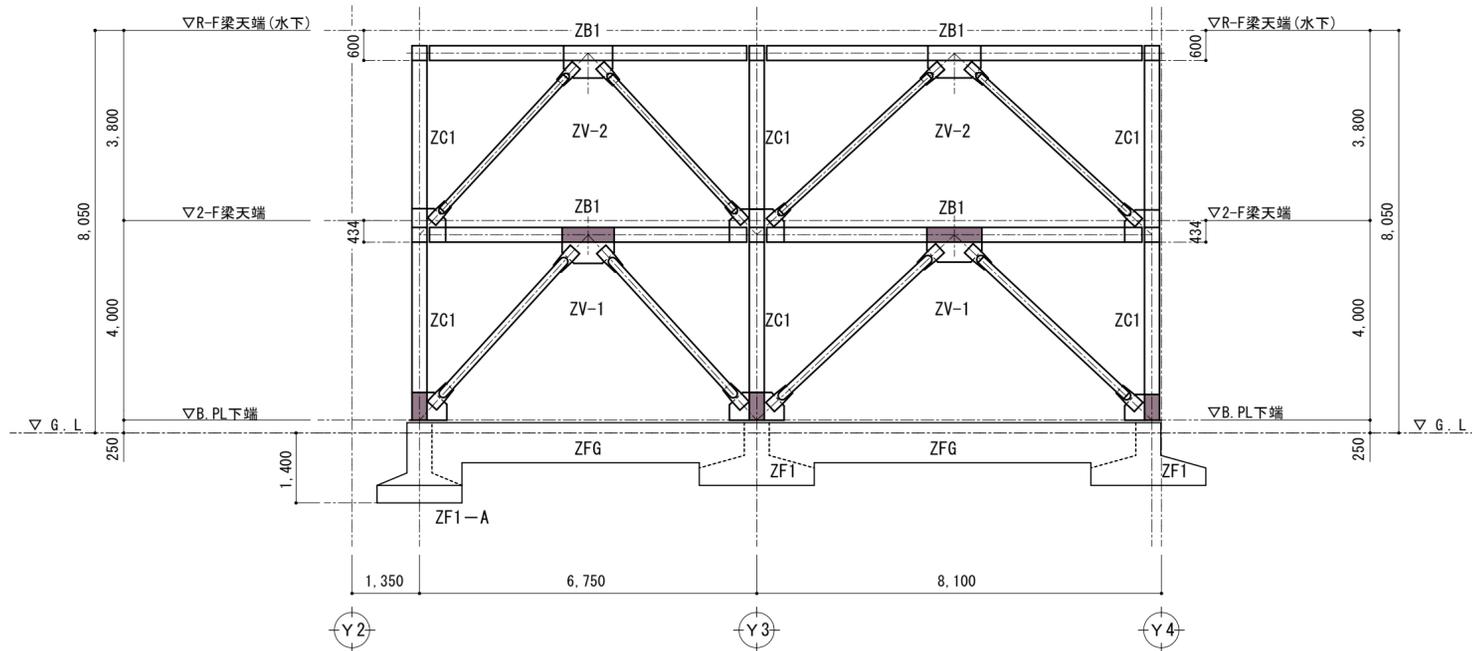
Y5通り 軸組図 1/100



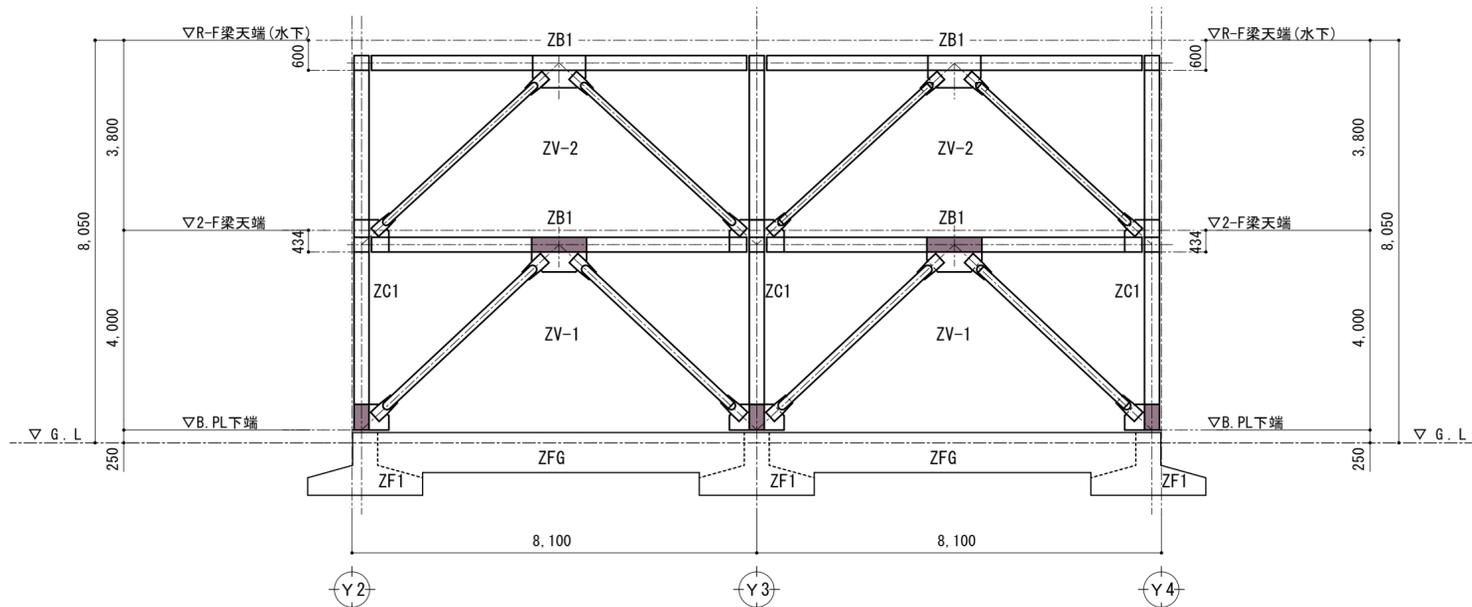
Y2通り 軸組図 1/100

Y4通り 軸組図 1/100

※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。



Z2通り 軸組図 1/100

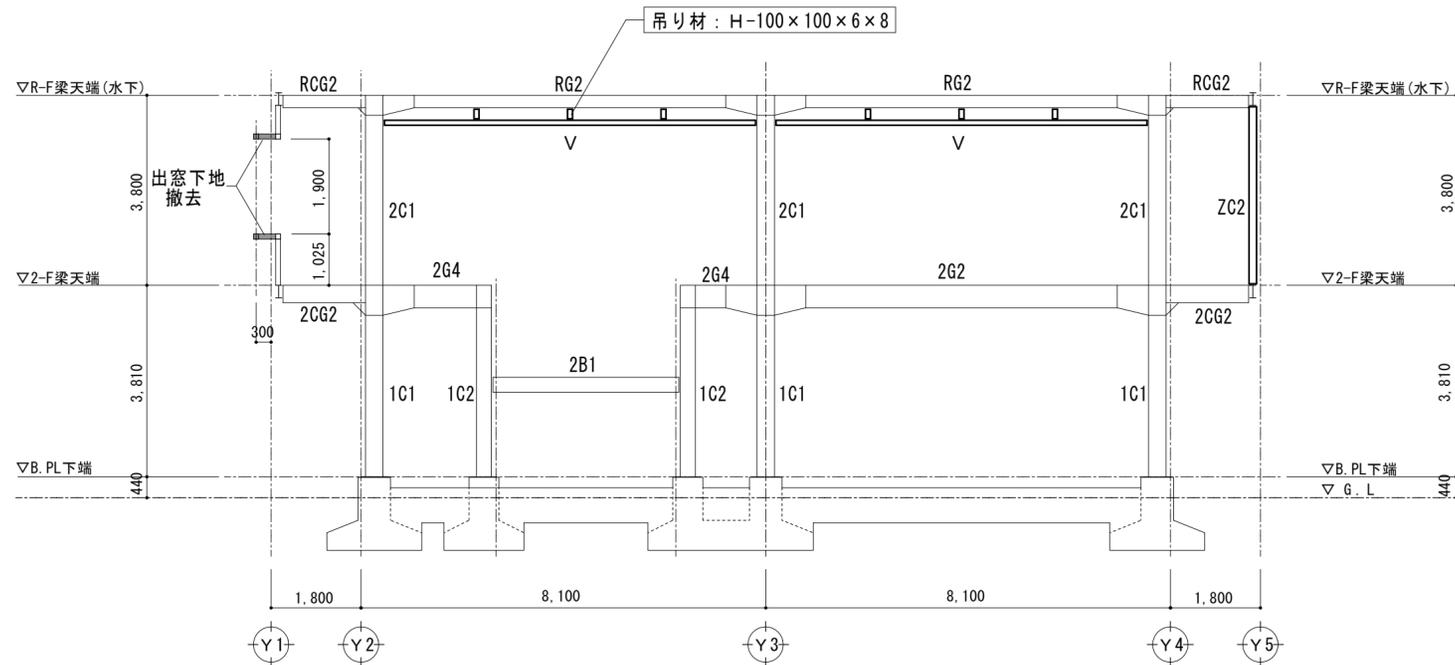


Z1通り 軸組図 1/100

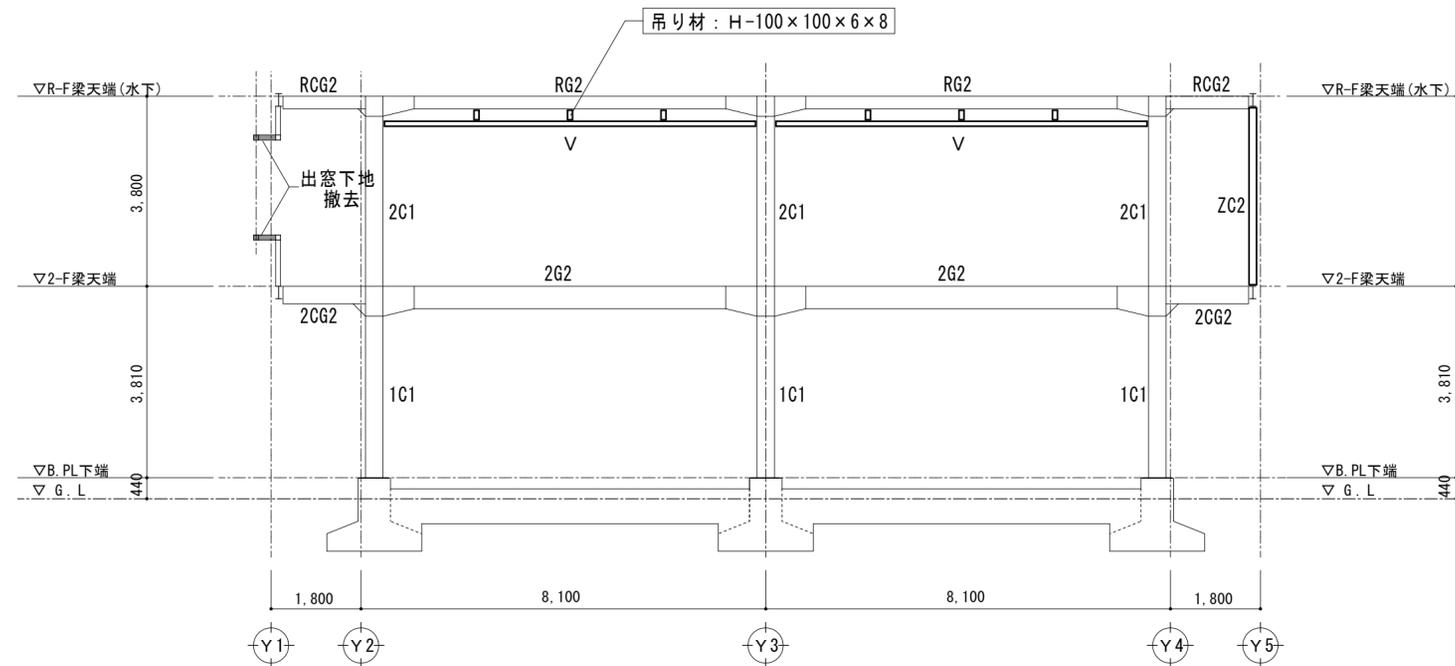
■■■■ BH-294×200×12×12を示す。
※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。

記号	部材断面	継手・仕口
Z C 1	H-294×200×8×12	ABT 12-M24 L=750 B.PL-19 ^t ×400×500
Z C 2	H-194×150×6×9	ABT 12-M24 L=750 B.PL-19 ^t ×400×400 HTB 4-M16 G.PL-9
Z B 1	一部BH-294×200×12×12 H-294×200×8×12	HTB 6-M20・G.PL-12
Z B 2	[-200×80×7.5×11	HTB 4-M16・G.PL-9
Z H	H-150×150×7×10	PL-19
Z V-1	165.2φ×6	HTB 6-M20・G.PL-12
Z V-2	139.8φ×6	HTB 6-M16・G.PL-9
Z V-3	101.6φ×5	HTB 4-M16・G.PL-9
増設水平 ブレース	2 F...L-65×65×6 R F...M 19	HTB 5-M16・G.PL-9 HTB 1-M20・G.PL-9
V	H-200×100×5.5×8 横	HTB 2-M16・G.PL-6

符号	部材断面	材質	継手・仕口・その他
1C1	□-350×350×16	SM490	B.PL-500×500×19 ^t A.B.T 4-22φ L=650
2C1	□-350×350×9	"	"
1C2	□-300×300×9	SS400	B.PL-440×440×16 ^t A.B.T 4-19φ L=550
P1	□-200×200×6	"	B.PL-340×340×12 ^t A.B.T 4-16φ L=500
P2	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	B.PL-110×240×6 ^t A.B.T 2-13φ L=400
P3	H-100×100×6×8	SS400	HTB2-M16 G.PL-9
2G1	H-600×200×11×17 (端部)H-600×350×12×16 (PL加工)	SS400	F...HTB6-M22 外PL-16・内PL-12 W...HTB6-M20 2PL-9
2G2	H-446×199×8×12 (端部)H-600×350×9×12 (PL加工)	"	F...HTB6-M20 2PL-12 W...HTB5-M20 2PL-6
2G3	H-350×175×7×11 (端部)H-400×300×6×12 (600) (PL加工)	"	F...HTB4-M20 2PL-9 W...HTB3-M20 2PL-6
2G4	H-350×250×6×12 (PL加工) (端部)H-350×250×6×12 (600) (PL加工)	"	F...HTB4-M20 2PL-9 W...HTB3-M20 2PL-6
2CG1	H-400×200×8×13	"	F...突き合せ溶接 W...すみ肉溶接
2CG2	H-350×175×7×11	"	"
2CG3	H-300×150×6.5×9	"	"
2CG4	H-200×100×5.5×8	"	"
2CG5	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	"
RG1	H-400×200×8×13	SS400	F...HTB6-M20 外PL-9・内PL-12 W...HTB4-M20 2PL-6
RG2	H-250×125×6×9 (端部)H-400×200×6×9 (PL加工)	"	F...HTB6-M16 PL-12 W...HTB3-M16 2PL-4.5
RCG1	H-300×150×6.5×9	"	F...HTB4-M20 PL-12 W...HTB3-M16 2PL-4.5
RCG2	H-250×125×6×9	"	F...HTB6-M16 PL-12 W...HTB3-M16 2PL-4.5
RCG3	H-200×100×5.5×8	"	"
B1	H-300×150×6.5×9	SS400	HTB3-M16 G.PL-6
B2	LH-250×125×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G.PL-6
B3	LH-200×150×3.2×6	"	HTB2-M16 G.PL-6
B4	H-496×199×9×14	"	HTB5-M20 G.PL-12
B5	H-350×175×7×11	"	HTB3-M20 G.PL-9
B6	LH-300×150×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G.PL-6
B7	LH-200×150×3.2×4.5	"	HTB2-M16 G.PL-6
B8	LH-150×100×3.2×4.5	"	HTB2-M16 G.PL-6



×3通り 軸組図 1/100

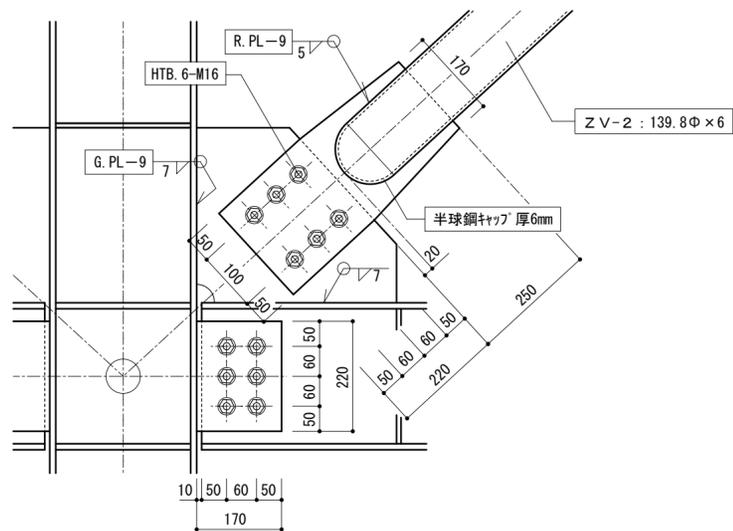


×0通り 軸組図 1/100

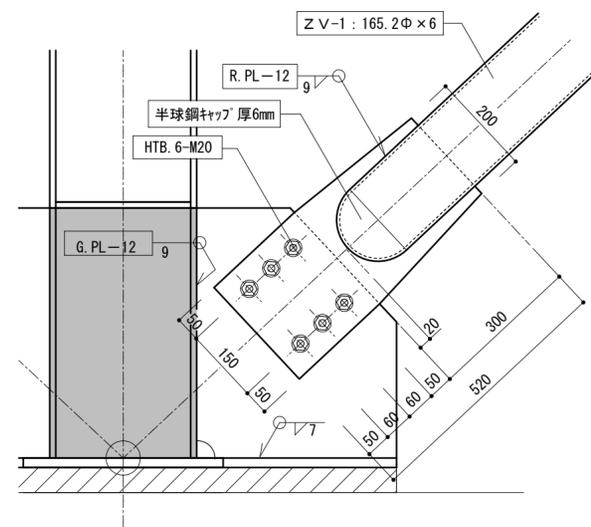
※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。

既存部材リスト			
符号	部材断面	材質	継手・仕口・その他
1C1	□-350×350×16	SM490	B.PL-500×500×19 ^t A.B.T 4-22φ L=650
2C1	□-350×350×9	"	
1C2	□-300×300×9	SS400	B.PL-440×440×16 ^t A.B.T 4-19φ L=550
P1	□-200×200×6	"	B.PL-340×340×12 ^t A.B.T 4-16φ L=500
P2	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	B.PL-110×240×6 ^t A.B.T 2-13φ L=400
P3	H-100×100×6×8	SS400	HTB2-M16 G.PL-9
2G1	H-600×200×11×17 (端部)H-600×350×12×16 (PL加工)	SS400	F...HTB6-M22 外PL-16・内PL-12 W...HTB6-M20 2PL-9
2G2	H-446×199×8×12 (端部)H-600×350×9×12 (PL加工)	"	F...HTB6-M20 2PL-12 W...HTB5-M20 2PL-6
2G3	H-350×175×7×11 (端部)H-400×300×6×12 (600) (9) (PL加工)	"	F...HTB4-M20 2PL-9 W...HTB3-M20 2PL-6
2G4	H-350×250×6×12 (PL加工) (端部)H-350×250×6×12 (600) (PL加工)	"	F...HTB4-M20 2PL-9 W...HTB3-M20 2PL-6
2CG1	H-400×200×8×13	"	F...突き合せ溶接 W...すみ肉溶接
2CG2	H-350×175×7×11	"	"
2CG3	H-300×150×6.5×9	"	"
2CG4	H-200×100×5.5×8	"	"
2CG5	LH-200×150×3.2×4.5	SSC400	"
RG1	H-400×200×8×13	SS400	F...HTB6-M20 外PL-9・内PL-12 W...HTB4-M20 2PL-6
RG2	H-250×125×6×9 (端部)H-400×200×6×9 (PL加工)	"	F...HTB6-M16 PL-12 W...HTB3-M16 2PL-4.5
RCG1	H-300×150×6.5×9	"	F...HTB4-M20 PL-12 W...HTB3-M16 2PL-4.5
RCG2	H-250×125×6×9	"	F...HTB6-M16 PL-12 W...HTB3-M16 2PL-4.5
RCG3	H-200×100×5.5×8	"	"
B1	H-300×150×6.5×9	SS400	HTB3-M16 G.PL-6
B2	LH-250×125×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G.PL-6
B3	LH-200×150×3.2×6	"	HTB2-M16 G.PL-6
B4	H-496×199×9×14	"	HTB5-M20 G.PL-12
B5	H-350×175×7×11	"	HTB3-M20 G.PL-9
B6	LH-300×150×4.5×6	SSC400	HTB3-M16 G.PL-6
B7	LH-200×150×3.2×4.5	"	HTB2-M16 G.PL-6
B8	LH-150×100×3.2×4.5	"	HTB2-M16 G.PL-6

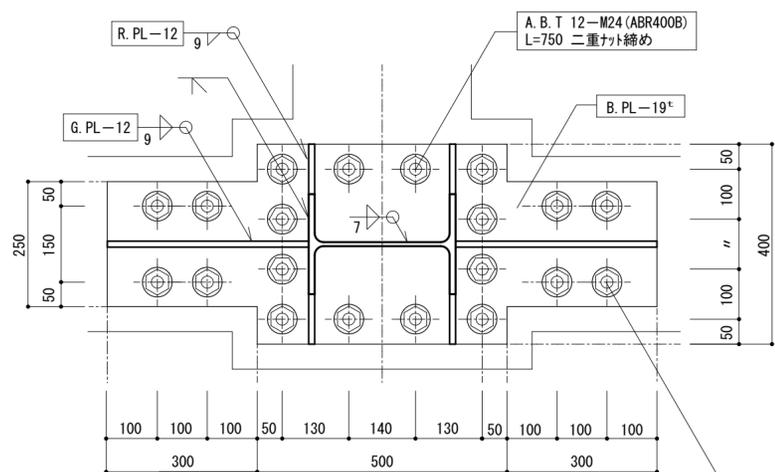
補強部材リスト		
記号	部材断面	継手・仕口
ZC1	H-294×200×8×12	ABT 12-M24 L=750 B.PL-19 ^t ×400×500
ZC2	H-194×150×6×9	ABT 12-M24 L=750 B.PL-19 ^t ×400×400 HTB 4-M16 G.PL-9
ZB1	一部BH-294×200×12×12 H-294×200×8×12	HTB 6-M20・G.PL-12
ZB2	[-200×80×7.5×11	HTB 4-M16・G.PL-9
ZH	H-150×150×7×10	PL-19
ZV-1	165.2φ×6	HTB 6-M20・G.PL-12
ZV-2	139.8φ×6	HTB 6-M16・G.PL-9
ZV-3	101.6φ×5	HTB 4-M16・G.PL-9
増設水平 ブレース	2 F...L-65×65×6	HTB 5-M16・G.PL-9
V	H-200×100×5.5×8 横	HTB 2-M16・G.PL-6



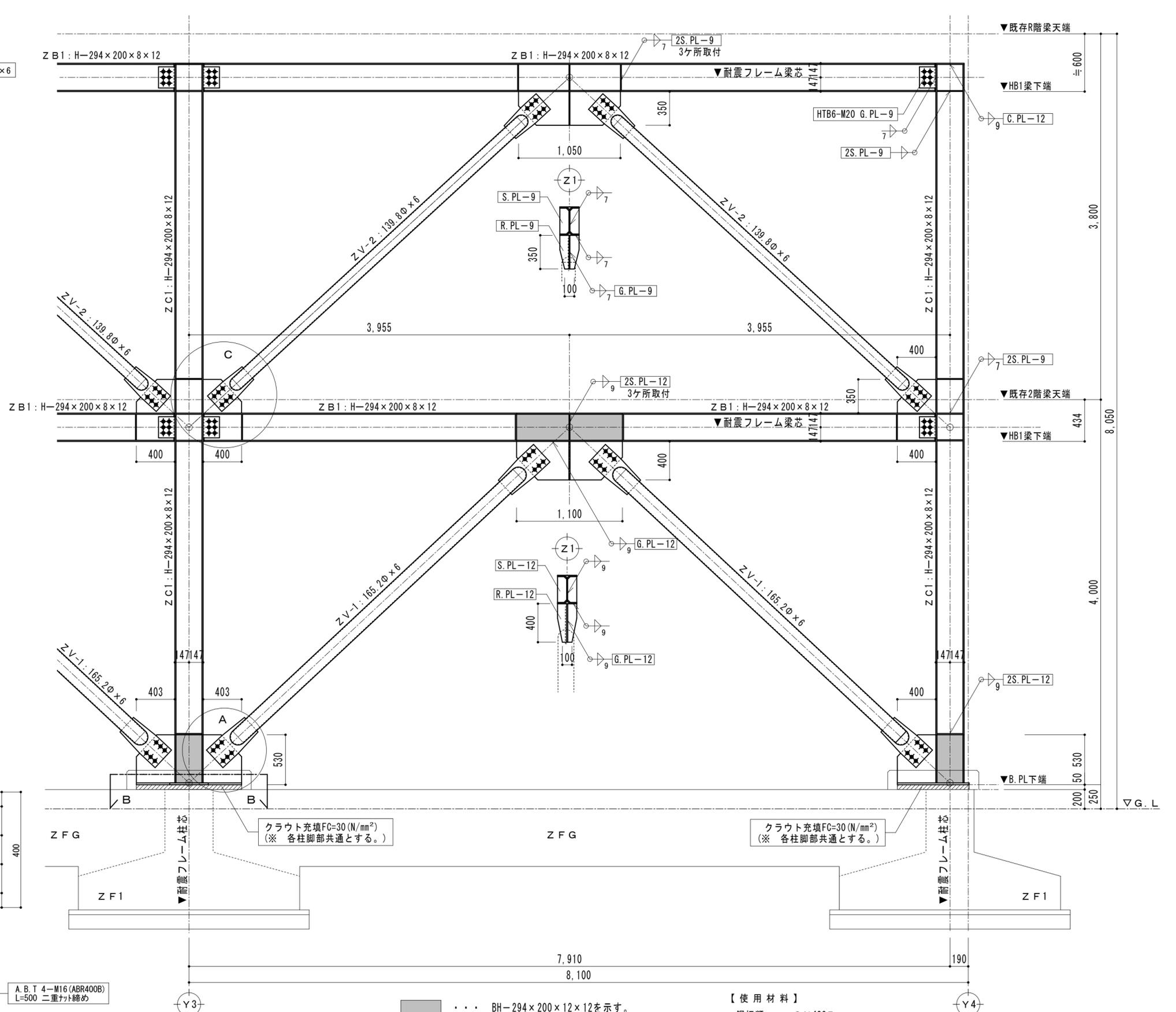
C 詳細図 1/10



A 詳細図 1/10



B-B 詳細図 1/10



※ 【外部 錆止塗装仕様】
 下塗り (1回目) : ジンクリックプライマー 2種 (JIS K 5552)
 下塗り (2回目) : 構造物用さび止めペイントA種 (JIS K 5551)
 下塗り (3回目) : 構造物用さび止めペイントA種 (JIS K 5551)

■ . . . BH-294×200×12×12を示す。

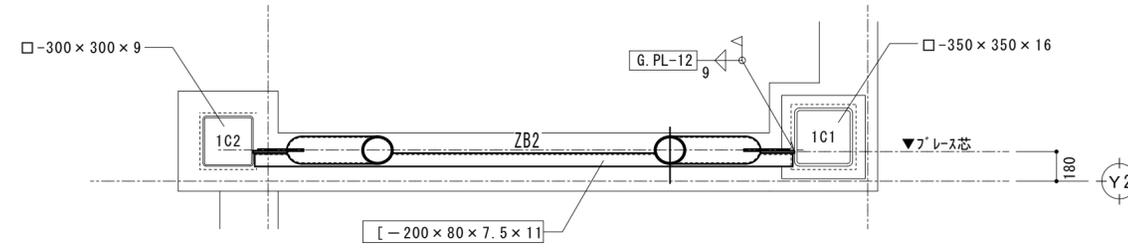
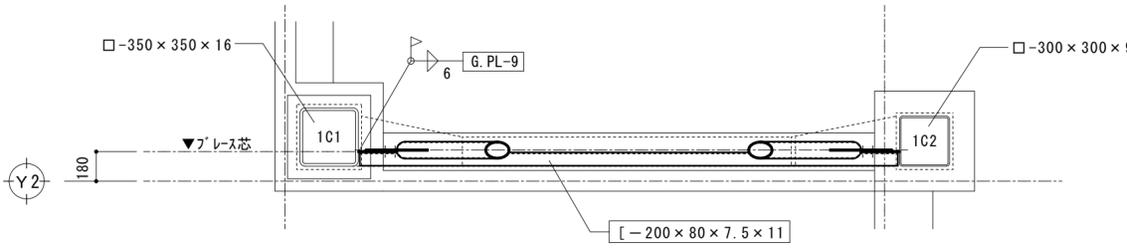
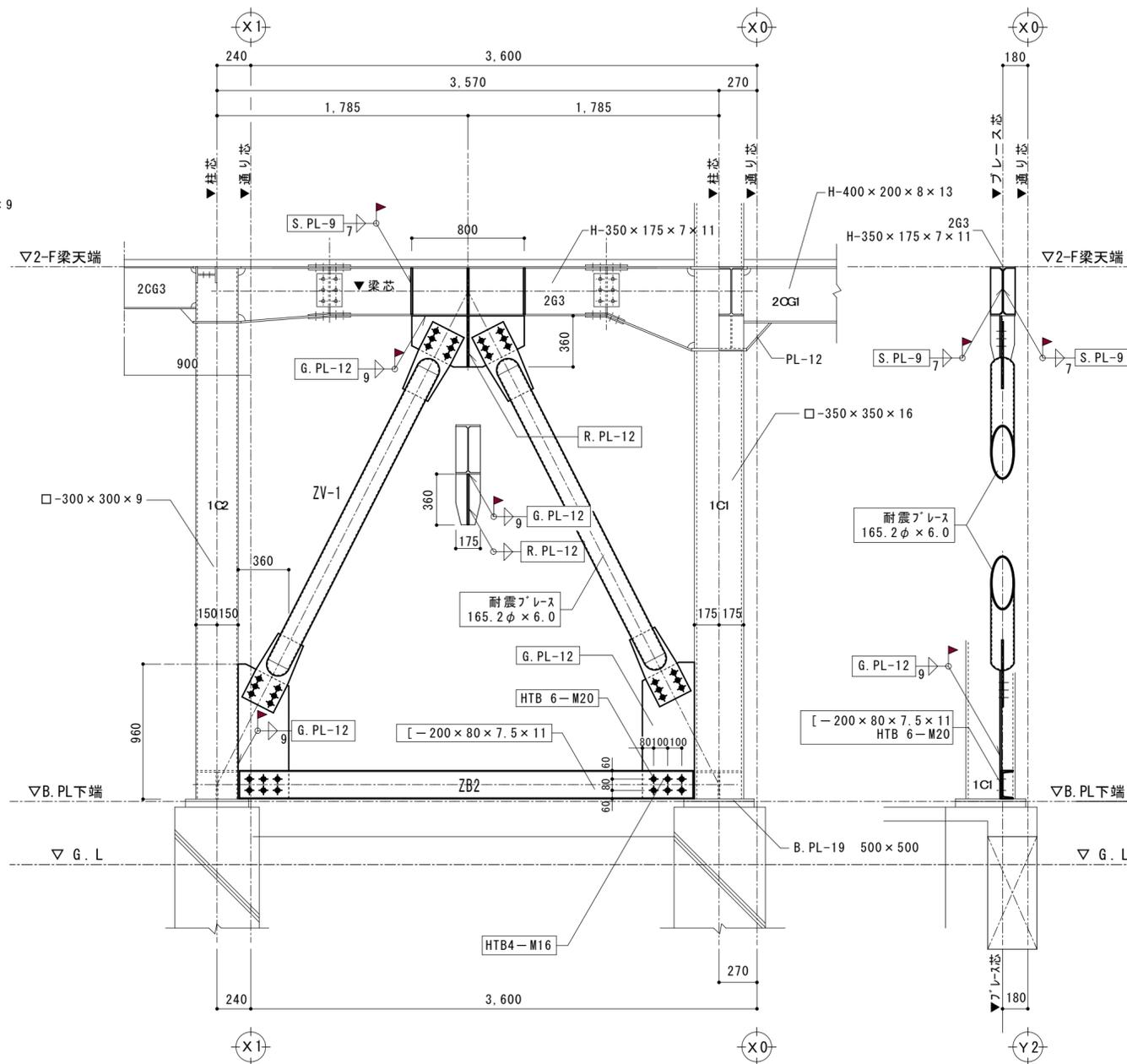
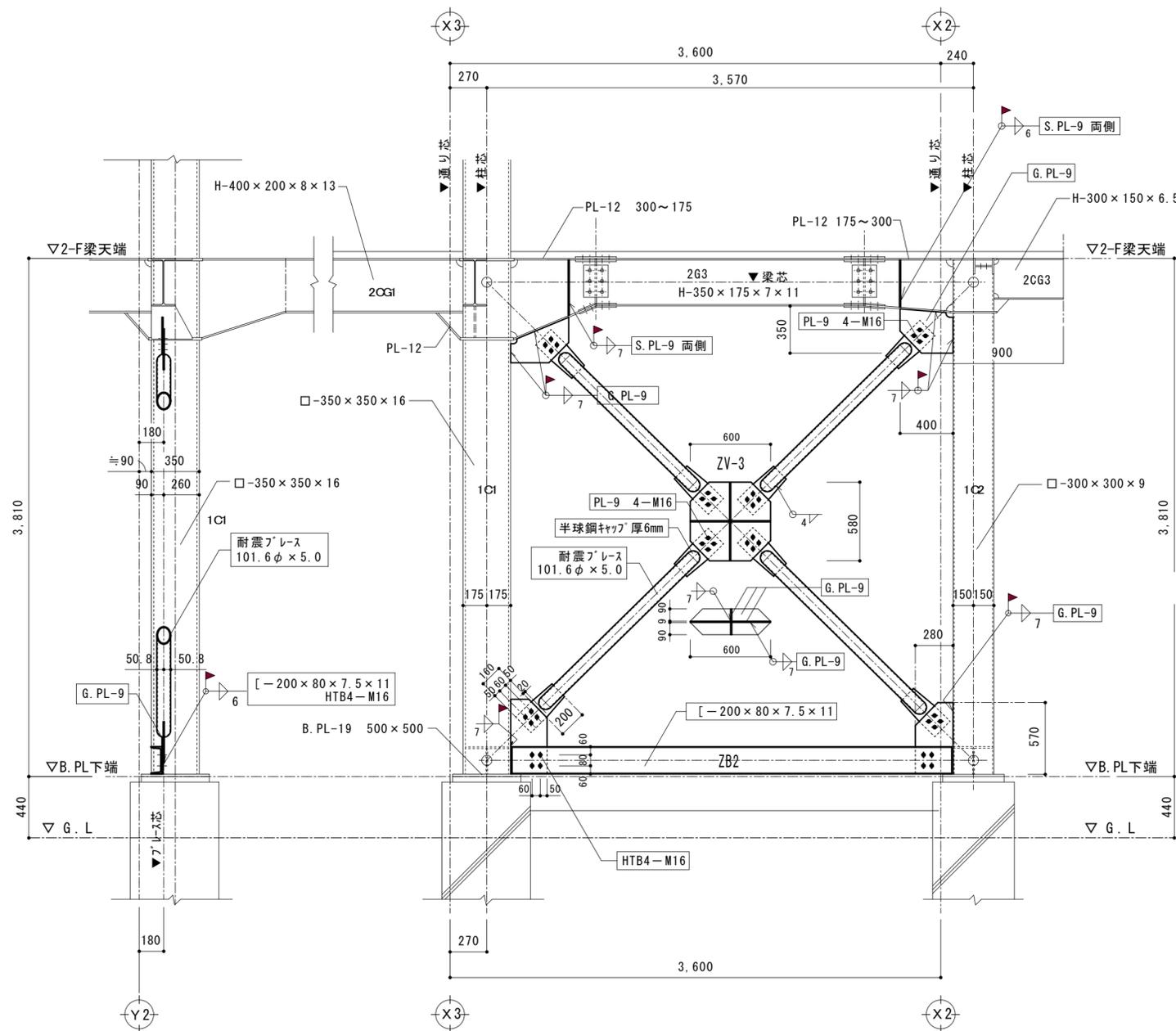
※ 各寸法は、現場採寸の上行うこと。

Z1通り 鉄骨詳細図 1/30

【使用材料】

- ・鋼板類 . . . SN400B
- ・その他鋼材 . . . SS400及びSSC400
- ・高力ボルト . . . S10T
- ・アンカボルト . . . ABR400B

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡御代田町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大内町 500 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大塚 隆雄 事務所 352433号 一級建築士 事務所 長野県 (上伊) F-87121号 小川 豪	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	Z1通り 鉄骨詳細図	A2:1/30・1/10	H28.7	設計 一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小川 豪 一級建築士 第23423号 小川 豪 一級建築士 第23929号 伊東 紀典		6/3



Y2通り X2・X3間 補強詳細図 1/30

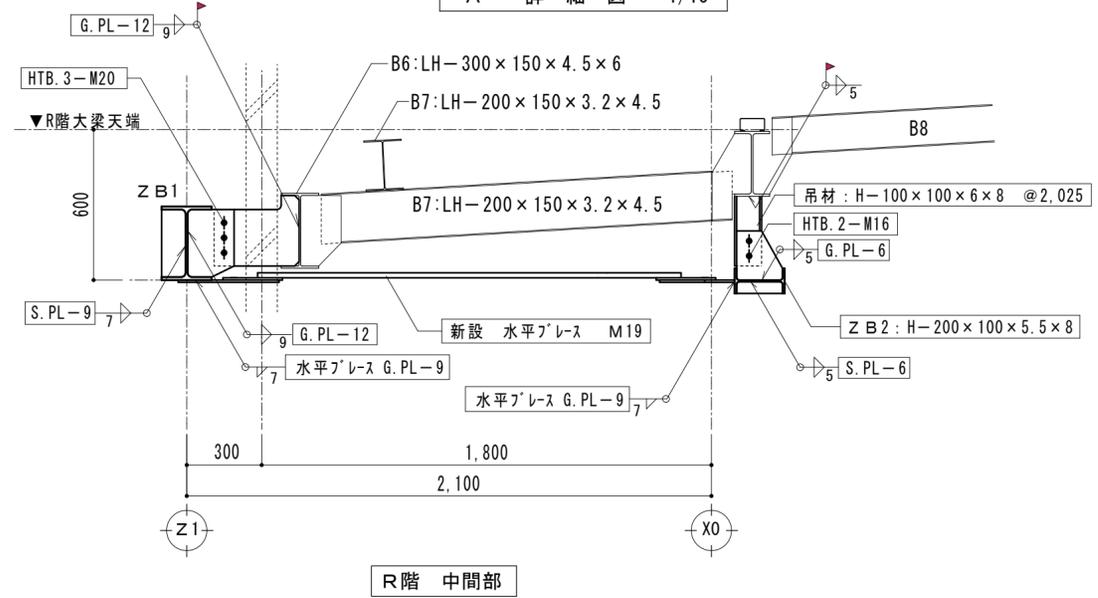
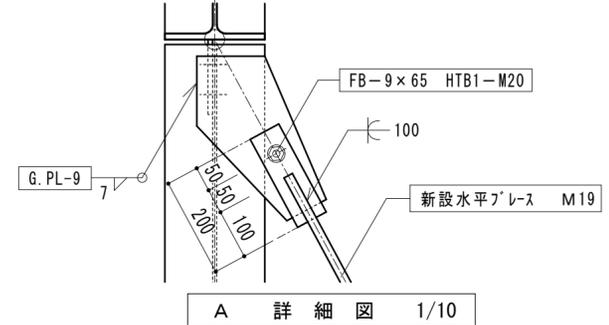
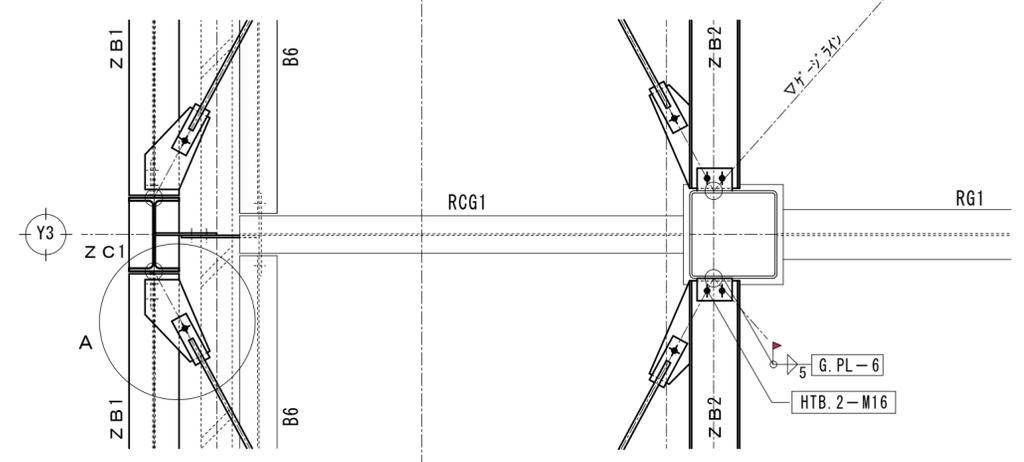
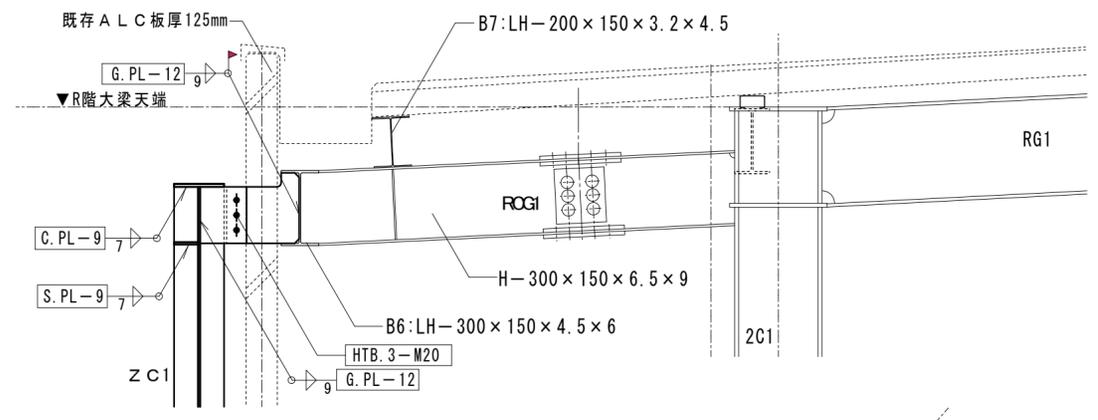
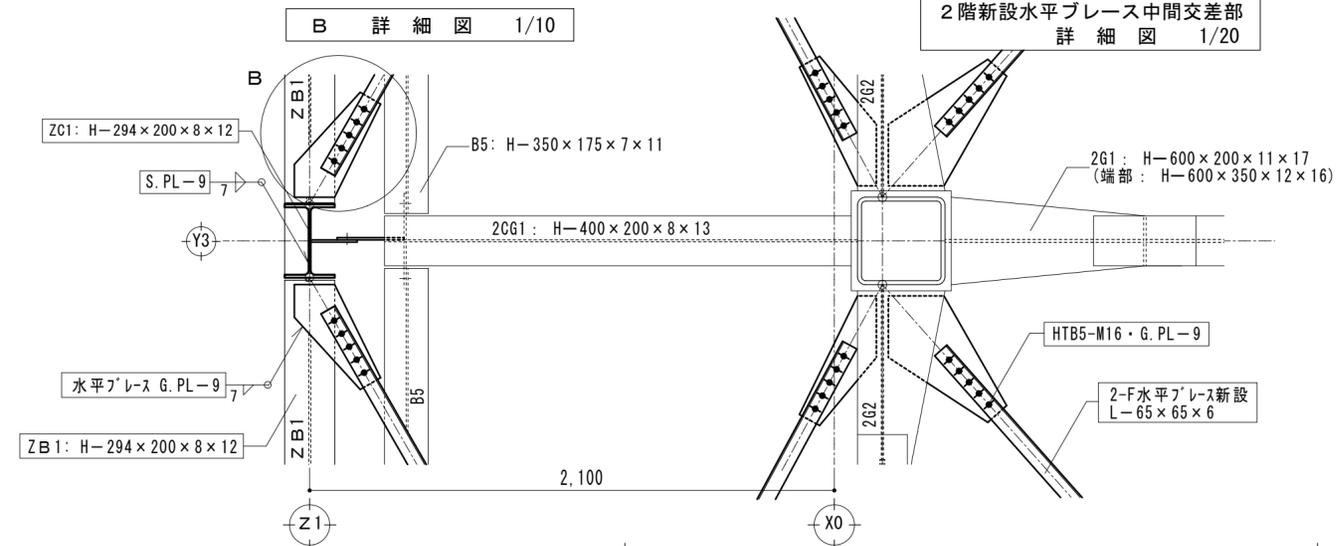
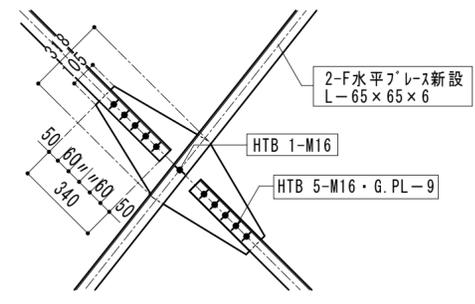
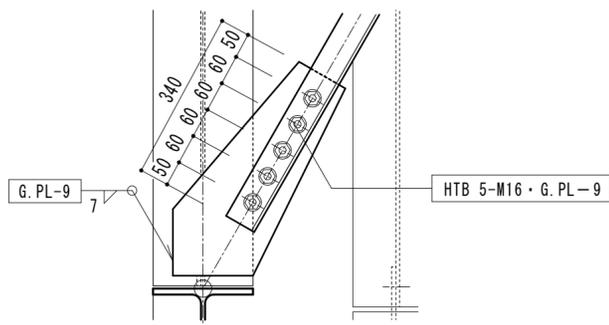
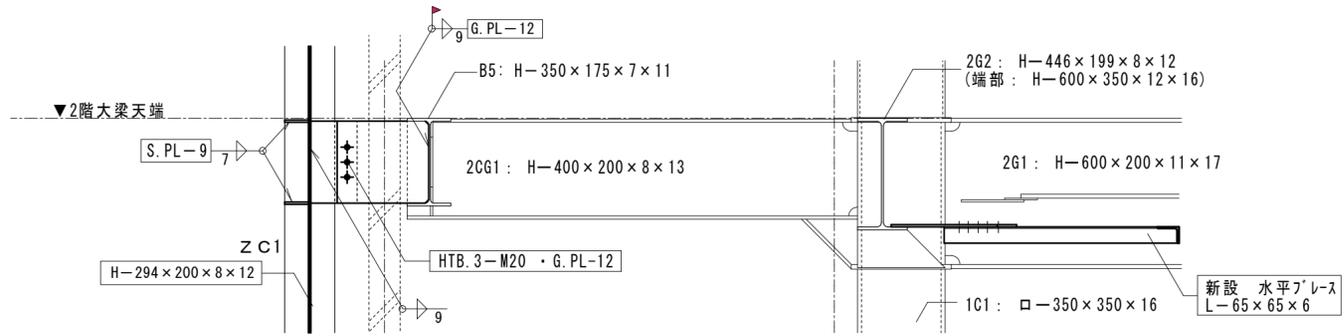
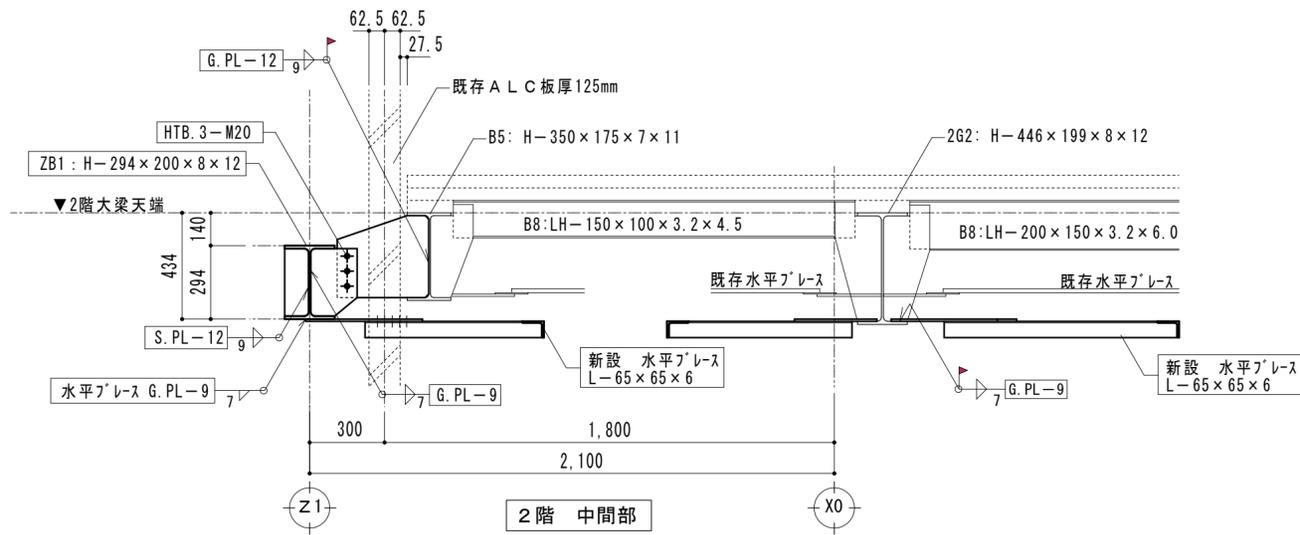
Y2通り X0・X1間 補強詳細図 1/30

【内部 錆止塗装仕様】
鉛・クロムフリーさび取止ペイント1種 (JIS K 5674)

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	Y2通り X0-X1、X2-X3間 詳細図	A2:1/30	H28.8	設計者 一級建築士 第13507号 一級建築士 第35307号 小河 節郎 一級建築士 第29299号 伊東 紀典 一級建築士 第352433号 小河 豪 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	S-11 / 63



株式会社 創和設計
 長野県上伊那郡箕輪町 2874-1 TEL0285-79-1222 (代)
 長野県塩尻市大内原町 500 TEL0263-52-8972 (代)
 一級建築士 大田 登志 第352433号
 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪



工事名称：平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事 電気設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪10295-1

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分(8)項	備考
図書館	S	2			

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外			
		図書館			
電灯設備		○			
動力設備	幹線、分岐				
電熱設備	幹線、分岐				
雷保護設備					
受変電設備					
電力貯蔵設備					
静止形電源設備	直流電源装置				
発電設備					
構内情報通信網設備	LAN用配管				
構内交換設備	電話設備				
情報表示設備	時計設備				
映像・音響設備					
拡声設備		○			
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備				
テレビ共同受信設備					
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備	予備配管				
自動火災報知設備		○			
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
撤去工事		○			

4 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	電気設備工事 特記仕様書	21	
2	分電盤図・照明器具委図	22	
3	改修後 1階・弱電設備図	23	
4	改修後 2階弱電設備図	24	
5	改修後 1階電灯コンセント設備図	25	
6	改修後 2階電灯コンセント設備図	26	
7	改修後 1階自動火災報知設備図	27	
8	改修後 2階自動火災報知設備図	28	
9	現状・撤去 1階弱電設備図	29	
10	現状・撤去 2階弱電設備図	30	
11	現状・撤去 1階電灯コンセント設備図	31	
12	現状・撤去 2階電灯コンセント設備図	32	
13	現状・撤去 1階自動火災報知設備図	33	
14	現状・撤去 2階自動火災報知設備図	34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

II 工事仕様

1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁管理課の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)&及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれその工事仕様書を用いる。
(参考図書：長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成22年版)長野県建設部施設課監修

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項																				
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。 <table border="1"><thead><tr><th>材料・機材名</th><th>材料・機材名</th></tr></thead><tbody><tr><td>LED照明器具</td><td>電気錠</td></tr><tr><td></td><td>○その他、監督員の指示によるもの</td></tr><tr><td colspan="2">○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td></tr></tbody></table> <ol style="list-style-type: none">品質及び性能に関する試験データが整備されていること。生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。安定的な供給が可能であること。法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。製造または施工の実績があり、その信頼性があること。販売、保守等の営業体制が整えられていること。	材料・機材名	材料・機材名	LED照明器具	電気錠		○その他、監督員の指示によるもの	○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材													
材料・機材名	材料・機材名																				
LED照明器具	電気錠																				
	○その他、監督員の指示によるもの																				
○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材																					
② 機材の品質・性能証明																					
③ 化学物質を発散する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び紙張は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びビスフェノールを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 (5)上記(1)~(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 <table border="1"><thead><tr><th>ホルムアルデヒドの放散量</th><th>該当する建築材料</th></tr></thead><tbody><tr><td>①JIS及びJASのF☆☆☆規格品</td><td></td></tr><tr><td>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</td><td></td></tr><tr><td>③下記表示のあるJAS規格品</td><td></td></tr><tr><td>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</td><td></td></tr><tr><td>b 接着剤等不使用</td><td></td></tr><tr><td>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用</td><td></td></tr><tr><td>d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td><td></td></tr><tr><td>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用</td><td></td></tr><tr><td>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用</td><td></td></tr></tbody></table> 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE〇規格品 ④旧JASのF〇〇規格品	ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品		②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品		③下記表示のあるJAS規格品		a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用		b 接着剤等不使用		c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用		d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用		e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用		f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用	
ホルムアルデヒドの放散量	該当する建築材料																				
①JIS及びJASのF☆☆☆規格品																					
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品																					
③下記表示のあるJAS規格品																					
a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用																					
b 接着剤等不使用																					
c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用																					
d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																					
e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用																					
f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用																					

4 施工条件明示項目	公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」
⑤ 電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。 (1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。 使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの ○無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理を要する。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 (有(POB使用機器・関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。)) (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ○有(○廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類) ○設けない ・設ける(規模：) ・備品() ⑩ 監督員事務所 ⑪ 工所用仮設物 ⑫ 足場・さん橋類 ⑬ 工用電力・水・その他

項目	特記事項																																																										
⑭ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																										
⑮ しゅん工事提出物	標準仕様書及び別表による。																																																										
⑯ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																										
⑰ 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(監修：独)建築研究所)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">○一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">上層階、屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> (※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ◎上層階の定義は次による。 2~9階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章2節8.2.4及び11節による。 確認試験は、・性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度[kN]にて行う。 ・施工上の適用(第1種・第2種)あと施工アンカー施工上による。 <small>(注)日本建築業と施工アンカー協会認定製品</small> 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通個所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。 (1)EM-EFF は紫外線による劣化を抑止する性能を持たせ、「Eeff」EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで上げる。 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆電線挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋外 ○屋内(機械室) ・A種(山砂の類：水締め、機器による縛固め) ○B種[掘切り土の中の良質土：機器による縛固め] ・C種(地現場の建設発生土の中の良質土：機器による縛固め) ・D種(再生コンクリート砂：水締め、機器による縛固め) ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し (1)地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ○鉄製 ・コンクリート製 (2)低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3)配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。 (1)露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2)露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略標をつける。 タンブラスイッチは運用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ○各室(測定箇所数 5箇所) ・廊下 ・階段 用途： ・非常用照明 ○一般照明 ・学校施設における室内照度測定(測定教室： 個所、測定黒板面： 個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1)分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2)端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・ () <建設機器> ・排ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書) ・施工約条件 ○工事に伴う停電等が発生する場合は、施設側と十分に事前協議を行うこと。	設置場所	機器種別	特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		○一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階、屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地下・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
21 予備配管																																																											
⑳ 呼び線																																																											
㉑ 金属製電線管の塗装																																																											
24 埋め戻し土																																																											
25 建設発生土の処理																																																											
26 ケーブル埋設票																																																											
㉒ プルボックス																																																											
㉓ フラッシュプレート																																																											
㉔ プレートの用途表示																																																											
㉕ 配線器具																																																											
31 機器への接続																																																											
㉖ 照度測定																																																											
㉗ 盤類																																																											
㉘ グリーン購入の推進																																																											
㉙ 他工事又は他工程との取り合い																																																											
㉚ その他																																																											

(別表) しゅん工事提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

番別提出物	一括提出物
1 完成図 ・原図(A2版 ケース入り) ・隅圖(A2版 2つ折り製本 3部) ・CADデータ(jww及びpdf形式)	⑤ 機器完成図 ⑥ 工事写真 ⑦ 完成写真 ⑧ 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) ⑨ 機材の試験成績書 ⑩ 施工の試験成績書 ⑪ 社内試験成績書 ⑫ 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー圖)
2 設計図 ・CADデータ	⑬ 納入品一覧表 ⑭ 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) ⑮ 保全に関する資料(取扱説明書も含む)
3 引渡書 ・予備品 ・盤類の鍵	
4 納入品 ・ハンドホールフック、ジャッキ	
※ 提出書類は、建築工事による。	

3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)ブロックハンドホール(寸法は内法を示す。底部はハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様にするものとする。
・ハンドホールにメッシュアウト部分を設置してはならない。
・配管貫通部は、原則として根巻きコナリ(F=18mm/mm以上)とし、差し筋D10タテコ#200で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にHNT&A製作圖を提出して承諾を受けて施工する。

ハンドホール No.-	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
ハンドホール No.-	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
ハンドホール No.-	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (既製足場付)
ハンドホール No.-	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
ハンドホール No.-	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
ハンドホール No.-	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※補給帯等車両の通行の恐れがない場所、 収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

A種接地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
B種接地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 堀削埋戻中心深さ 2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
C種接地	銅板1.5t×300×300 リード端子付 堀削埋戻中心深さ1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
D種接地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式 埋設標(黄銅製又はステンレス製)

5 機器取付高

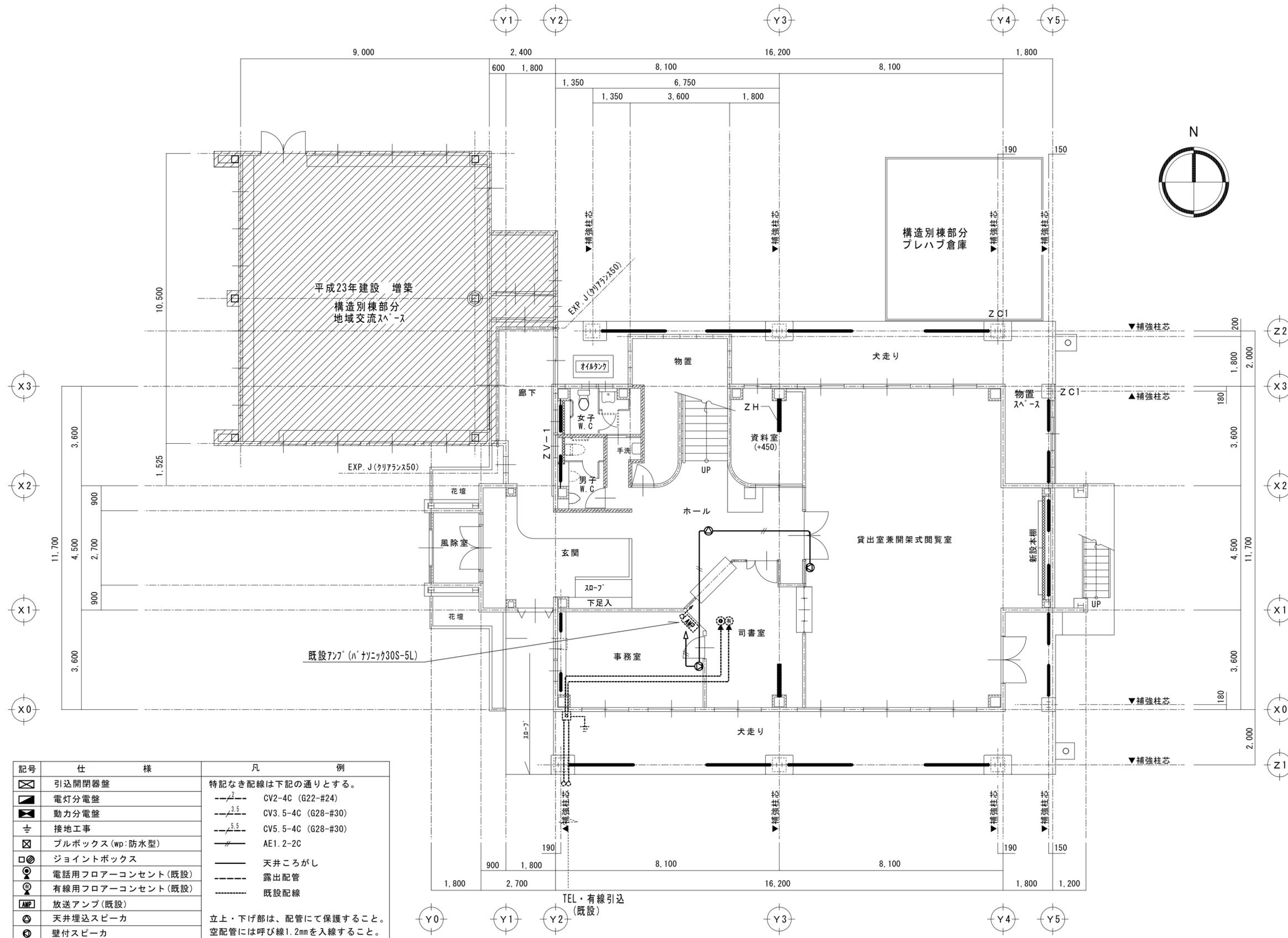
図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名称	測点	取付高(mm)		名称	測点	取付高(mm)		
共通	引込用計器架	地上~上端	2,000	時計	壁掛形時計	床~中心	1,500		
		床上~上端	1,800			(上端1,900以下)			
電	分電盤	床上~中心	1,500	表	表示発信器	床上~中心	(天井高)×0.9		
		(上端1,900以下)					1,300		
		タンブラスイッチ	〃			1,300	ベ(身障者用)	〃	1,300
		コンセント(一般)	〃			1,100	プザ	〃	(天井高)×0.9
		〃(和室)	〃			300	押ボタン	〃	(天井高)×0.9
		〃(便所等)	〃			150	〃(身障者用押印)	〃	1,300
		〃(台上)	〃			500	身障者用表示灯	〃	900
		ブラケット(一般)	〃			150	復帰ボタン	〃	2,000
		〃(踊場)	〃			2,100			1,800
		〃(廊上)	〃			2,500			
灯	遊樂口誘導灯	床上~上端	1,500以上	イン	壁付インターホン	床上~中心	1,500		
		廊下通路誘導灯	1,000以下			1,100			
動力	手元開閉器	床上~中心	1,500	タ	壁付位置ボックス	〃	300		
		(上端1,900以下)							
		〃	1,500			〃(一般)	〃	150	
		〃	1,300			〃(和室)	〃		
力	操作スイッチ	〃	1,500	ホ	機器収容箱	床上~中心	(天井高)×0.9		
		〃	1,300						
電	室内端子盤	床上~下端	300	火	受信機	床~操作部	800~1,500		
		(廊下・室内)						800~1,500	
		中間端子盤	床上~中心			1,500	機器収容箱	床上~中心	800~1,500
		(EPC・電気室)						800~1,500	
話	集合保安器箱	〃	(天井高)×0.9	災	発信器	〃	800~1,500		
		〃	300			報	〃	(天井高)×0.9	
		〃	150			別	〃		
		〃(和室)	〃			150	報	〃	

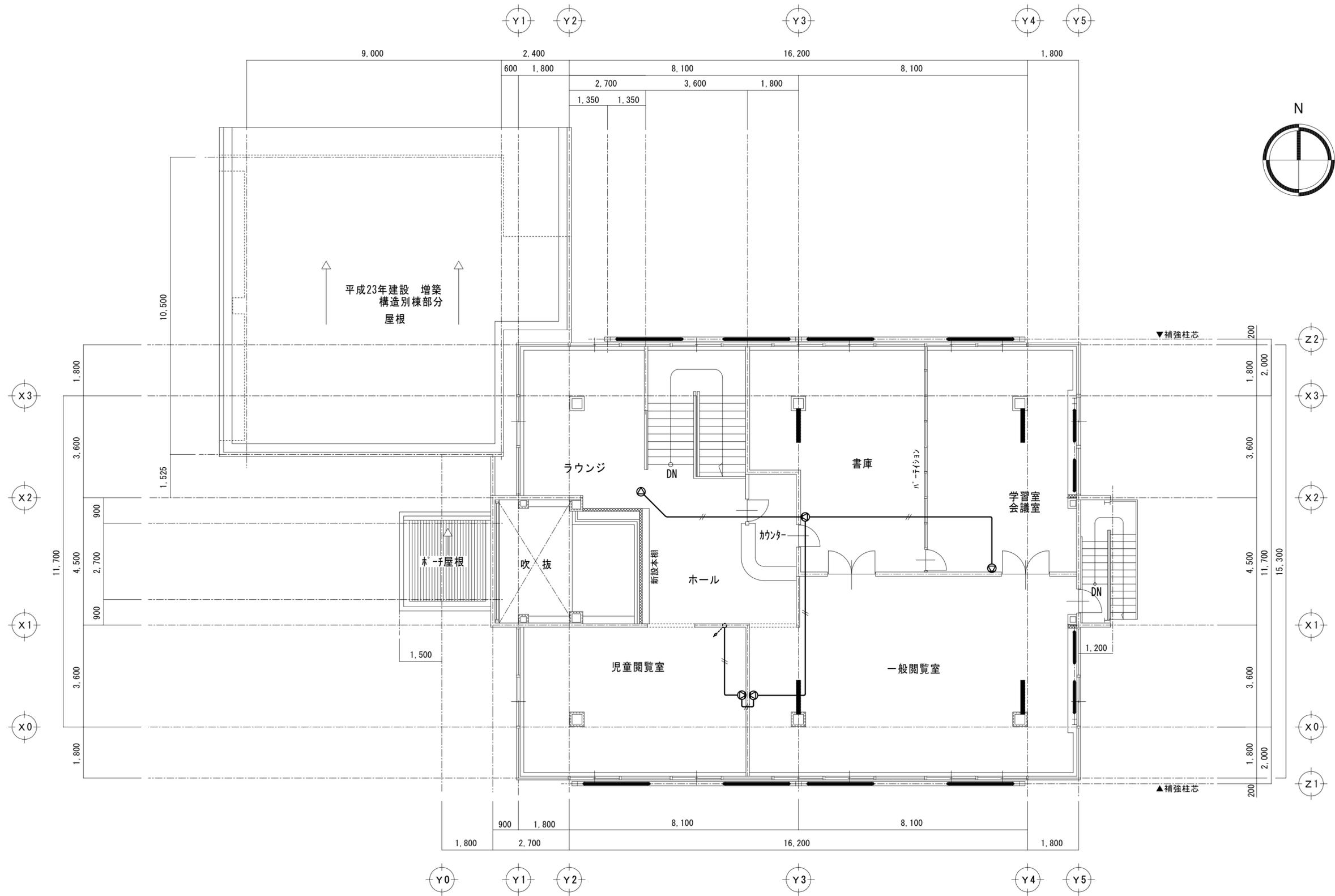
TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK DRAWING		SHEET NO.
平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	電気設備工事 特記仕様書	N.S	H28.7	設計者 監理設計-一般建築士 設計者 一級建築士 第1530号 小河 節郎	監理設計-一般建築士 一級建築士 第3423号 小河 豪 有賀 修司	E-1 63



株式会社 創和設計
長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222(代)
長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972(代)
一級建築士 大臣登録 第352433号
一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪

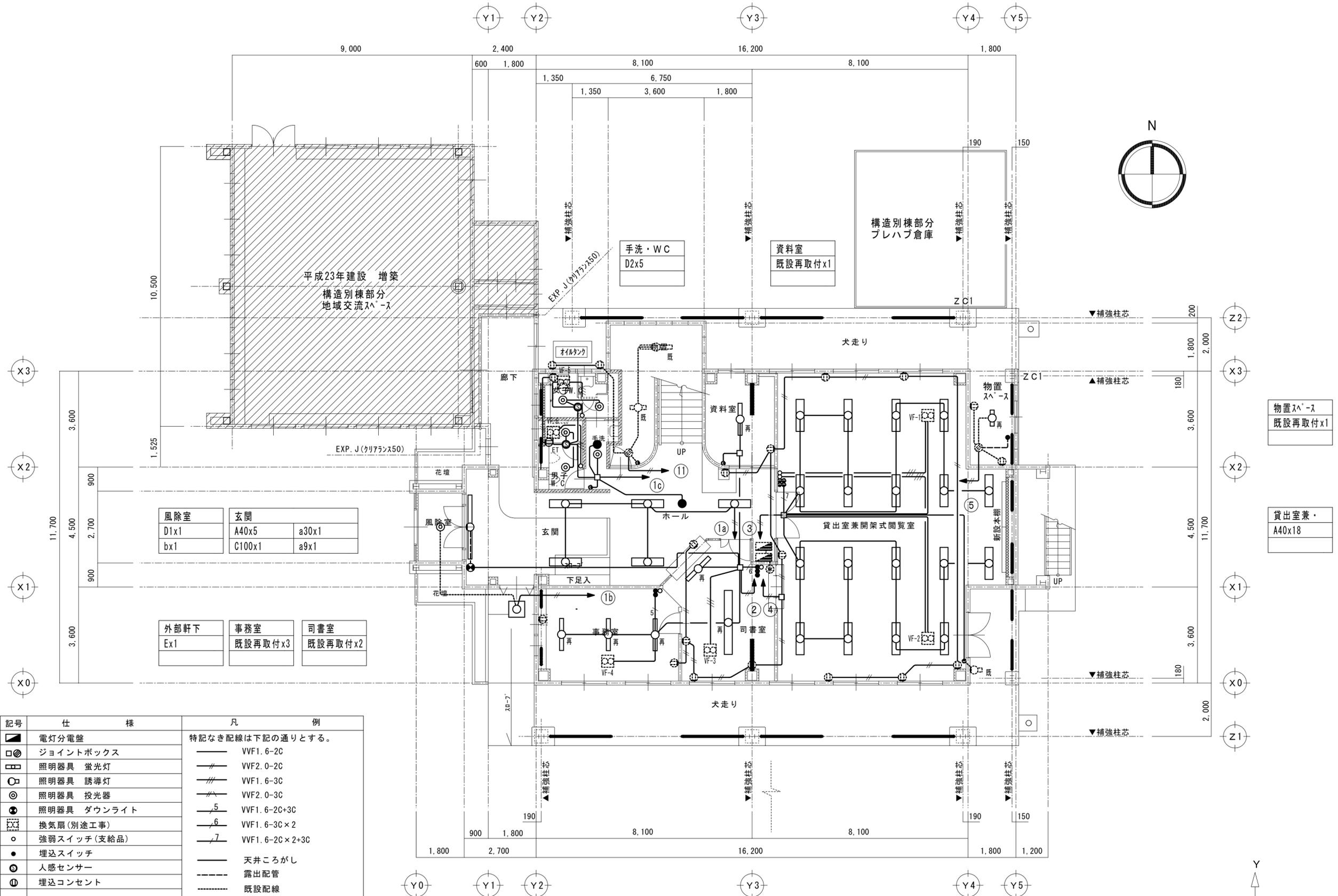


1階 改修後 平面図 1/100



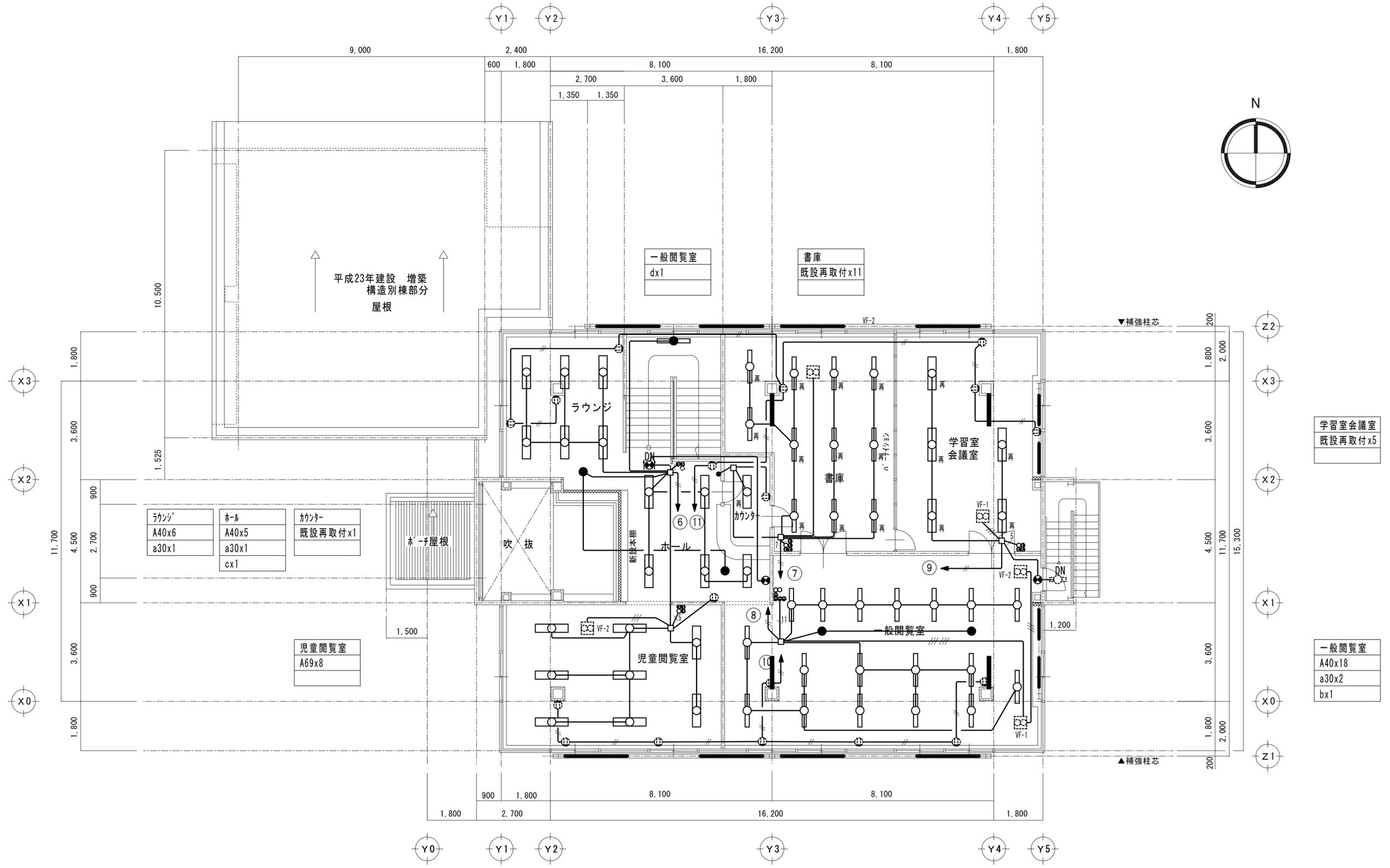
改修後 2階平面図 1/100

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後 2階 弱電設備図	A2:1/100 A3:1/141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 節郎 一級建築士 第33423号 小河 豪 一級建築士 第22929号 伊東 紀典	長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	E-4/63



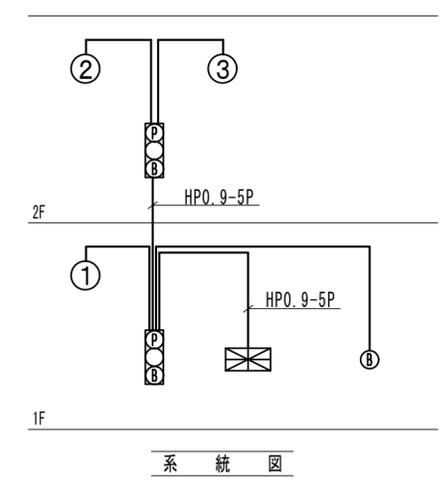
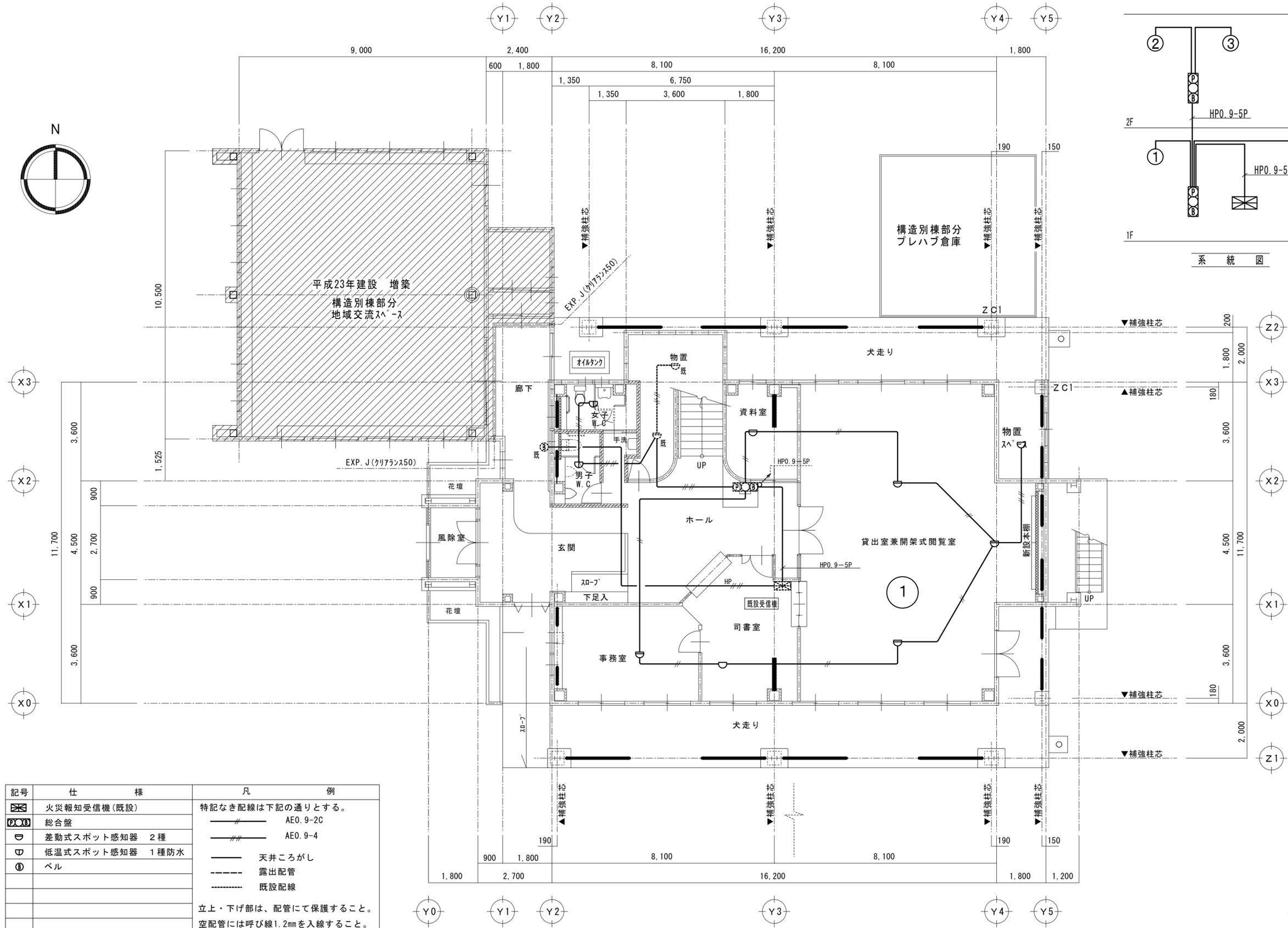
記号	仕様	凡例
■	電灯分電盤	特記なき配線は下記の通りとする。
□	ジョイントボックス	— VVF1.6-2C
□	照明器具 蛍光灯	— VVF2.0-2C
□	照明器具 誘導灯	— VVF1.6-3C
□	照明器具 投光器	— VVF2.0-3C
□	照明器具 ダウンライト	— 5 VVF1.6-2C+3C
□	換気扇 (別途工事)	— 6 VVF1.6-3C×2
○	強弱スイッチ (支給品)	— 7 VVF1.6-2C×2+3C
●	埋込スイッチ	天井ころがし
◎	人感センサー	露出配管
①	埋込コンセント	既設配線
立上・下げ部は、配管にて保護すること。 空配管には呼び線1.2mmを入線すること。		

1階 改修後 平面図 1/100



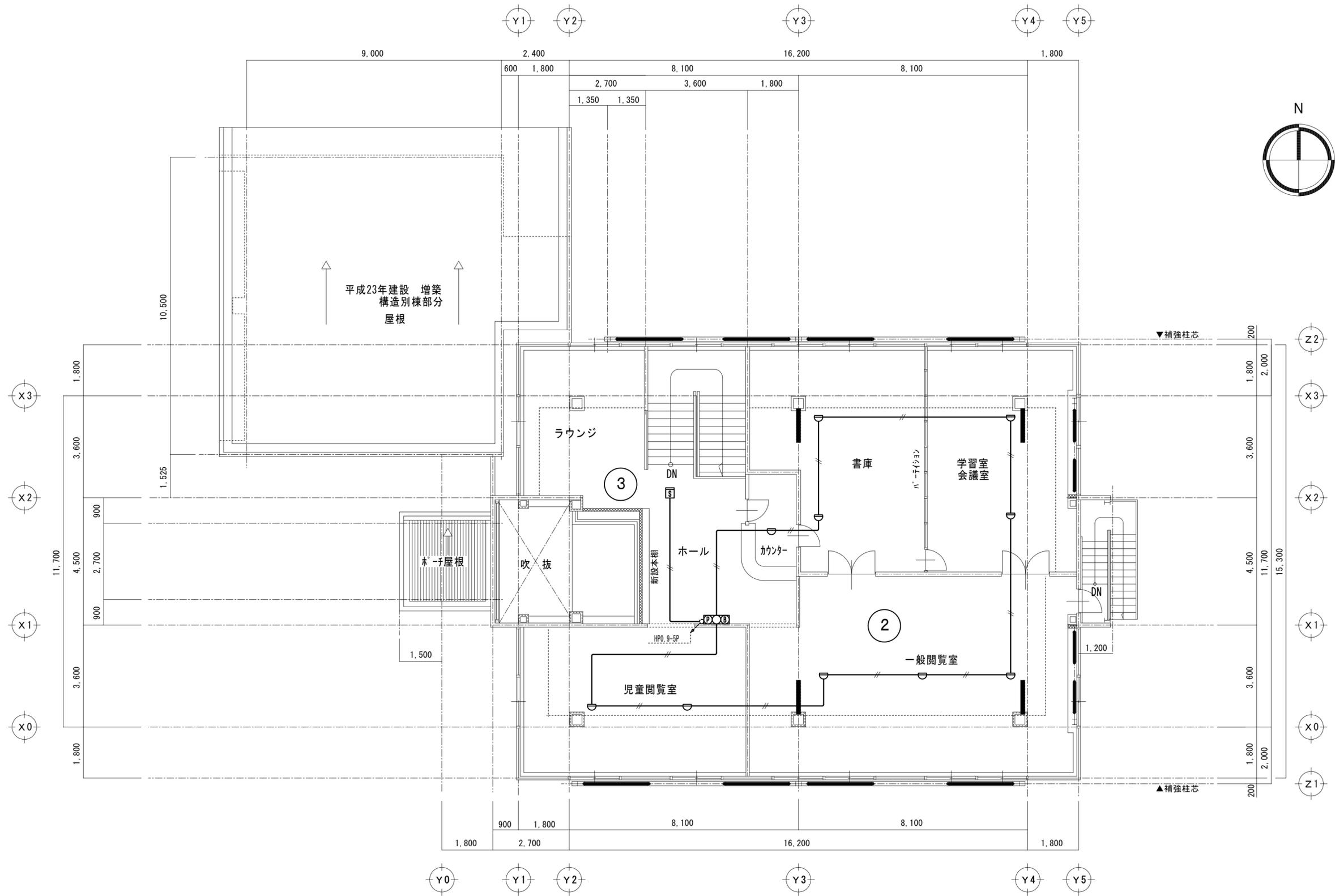
改修後 2階平面図 1/100

<p>MEMORANDUM</p>	<p>TITLE 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事</p>	<p>ITEM 改修後 2階 電灯コンセント設備図</p>	<p>SCALE A2:1/100 A3:1/141</p>	<p>DATE H28.8</p>	<p>CHECK-DRAWING 設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 節郎 一級建築士 第33433号 小河 豪 一級建築士 第32929号 伊東 紀典</p>	<p>株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大田登輝 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪</p>	<p>SHEET NO. E-6/14</p>
-------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--	-----------------------	---	--	-----------------------------



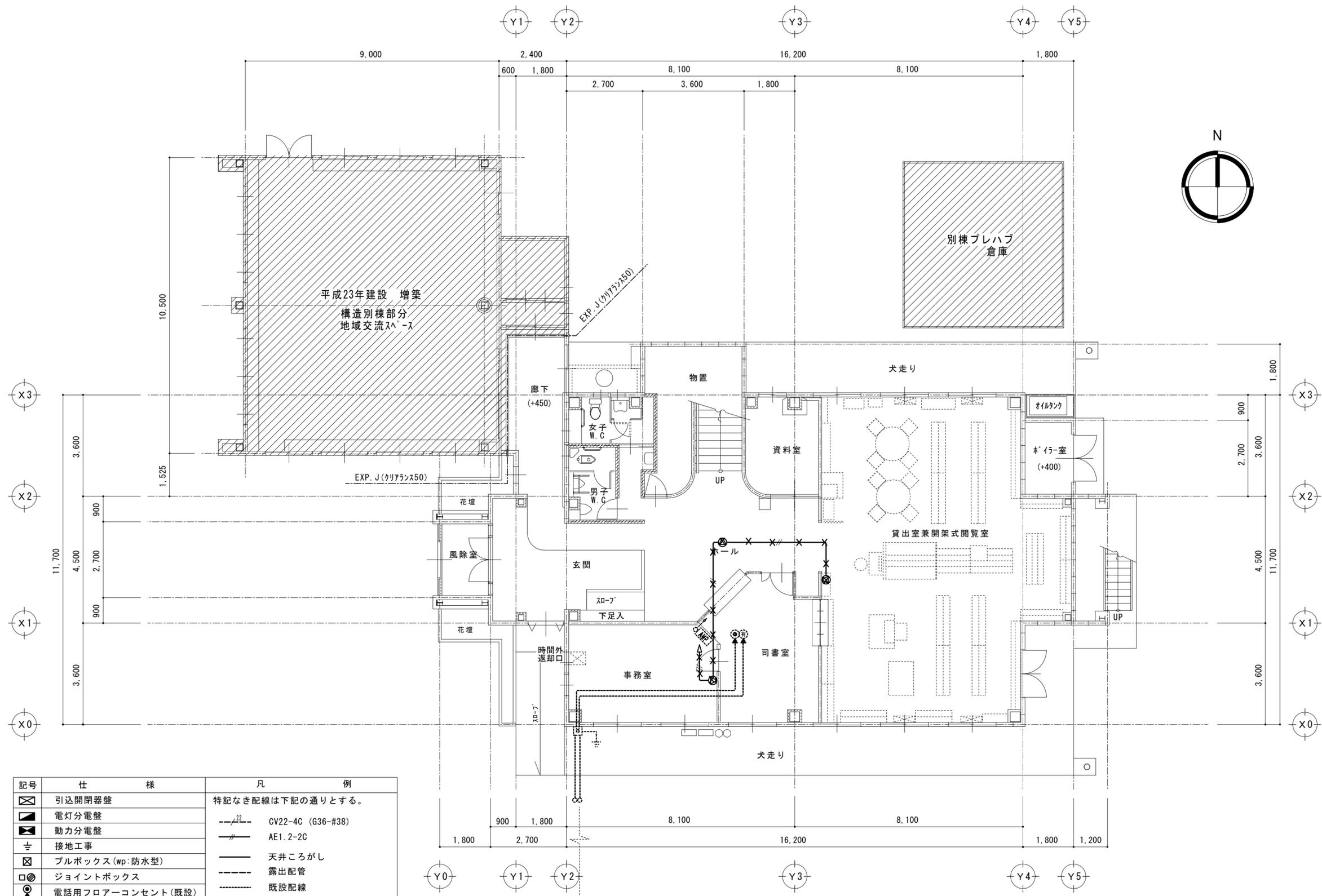
記号	仕様	凡例
	火災報知受信機 (既設)	特記なき配線は下記の通りとする。
	総合盤	— AE0.9-2C
	差動式スポット感知器 2種	— AE0.9-4
	低温式スポット感知器 1種 防水	— 天井こがし
	ベル	- - - 露出配管
	 既設配線
		立上・下げ部は、配管にて保護すること。
		空配管には呼び線1.2mmを入線すること。

1階 改修後 平面図 1/100



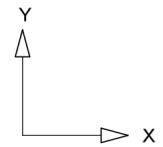
改修後 2階平面図 1/100

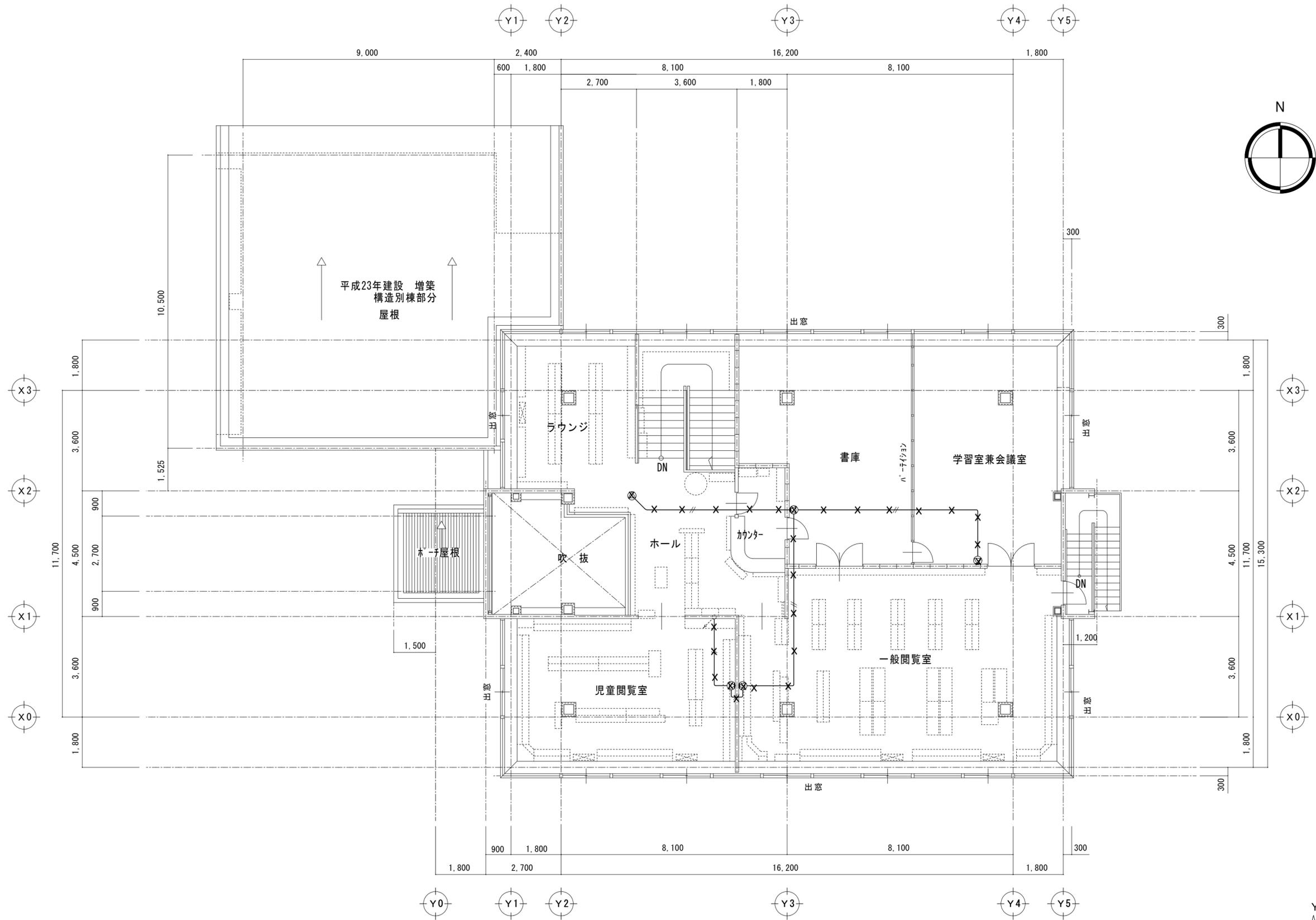
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後 2階 自動火災報知設備図	A2:1/100 A3:1/141	H28.8	設備設計一級建築士 第135007号 一級建築士 第33423号 小河 龍郎 一級建築士 第229229号 伊東 紀典	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩尻市大門東町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 龍	E-8/63



記号	仕様	凡例
	引込開閉器盤	特記なき配線は下記の通りとする。
	電灯分電盤	CV22-4C (G36-#38)
	動力分電盤	AE1.2-2C
	接地工事	天井ころがし
	ブルボックス (wp:防水型)	露出配管
	ジョイントボックス	既設配線
	電話用フロアコンセント (既設)	
	有線用フロアコンセント (既設)	
	放送アンプ (既設)	
	天井埋込スピーカ	
	壁付スピーカ	

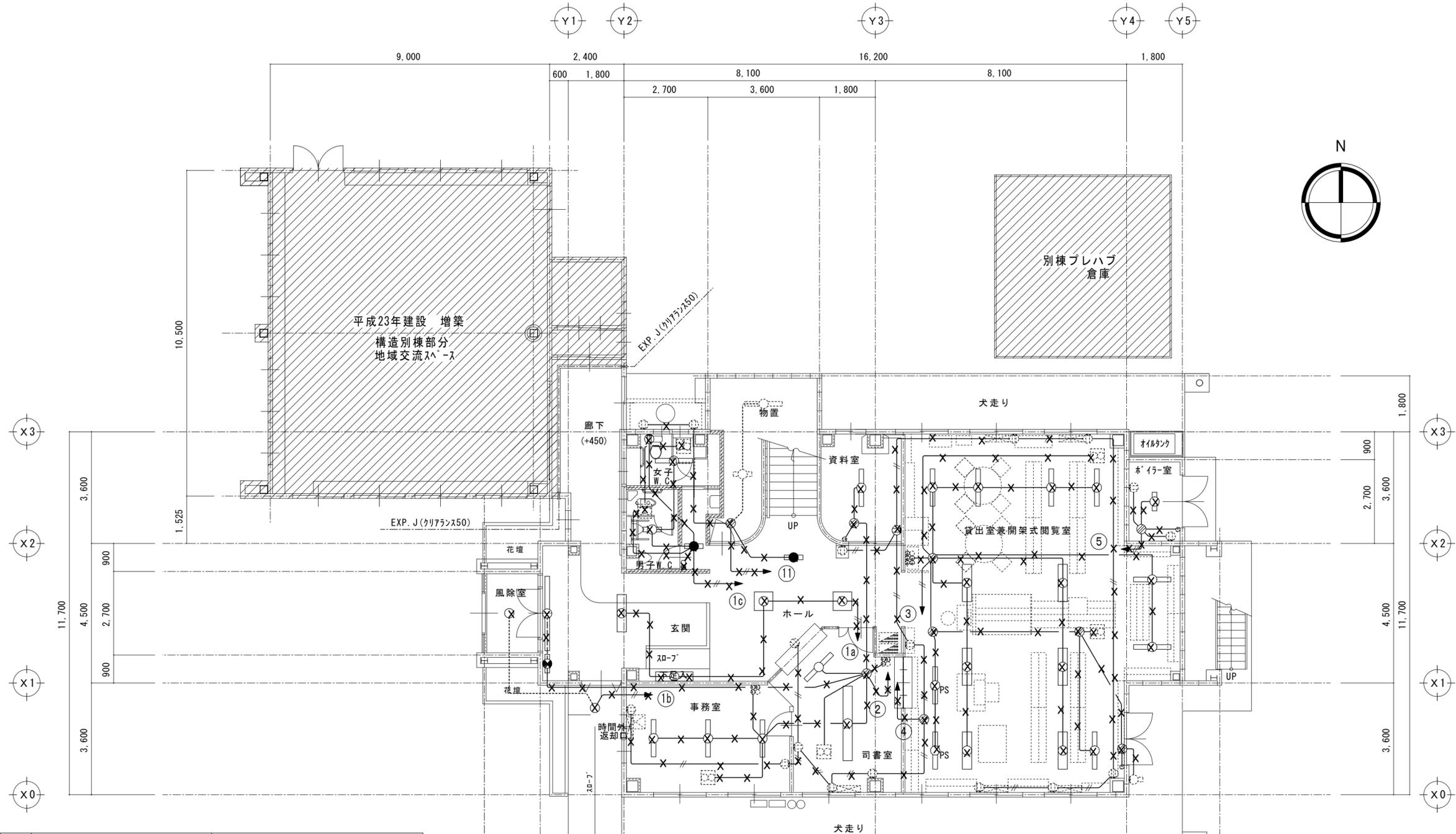
現状・撤去 1階平面図 1/100





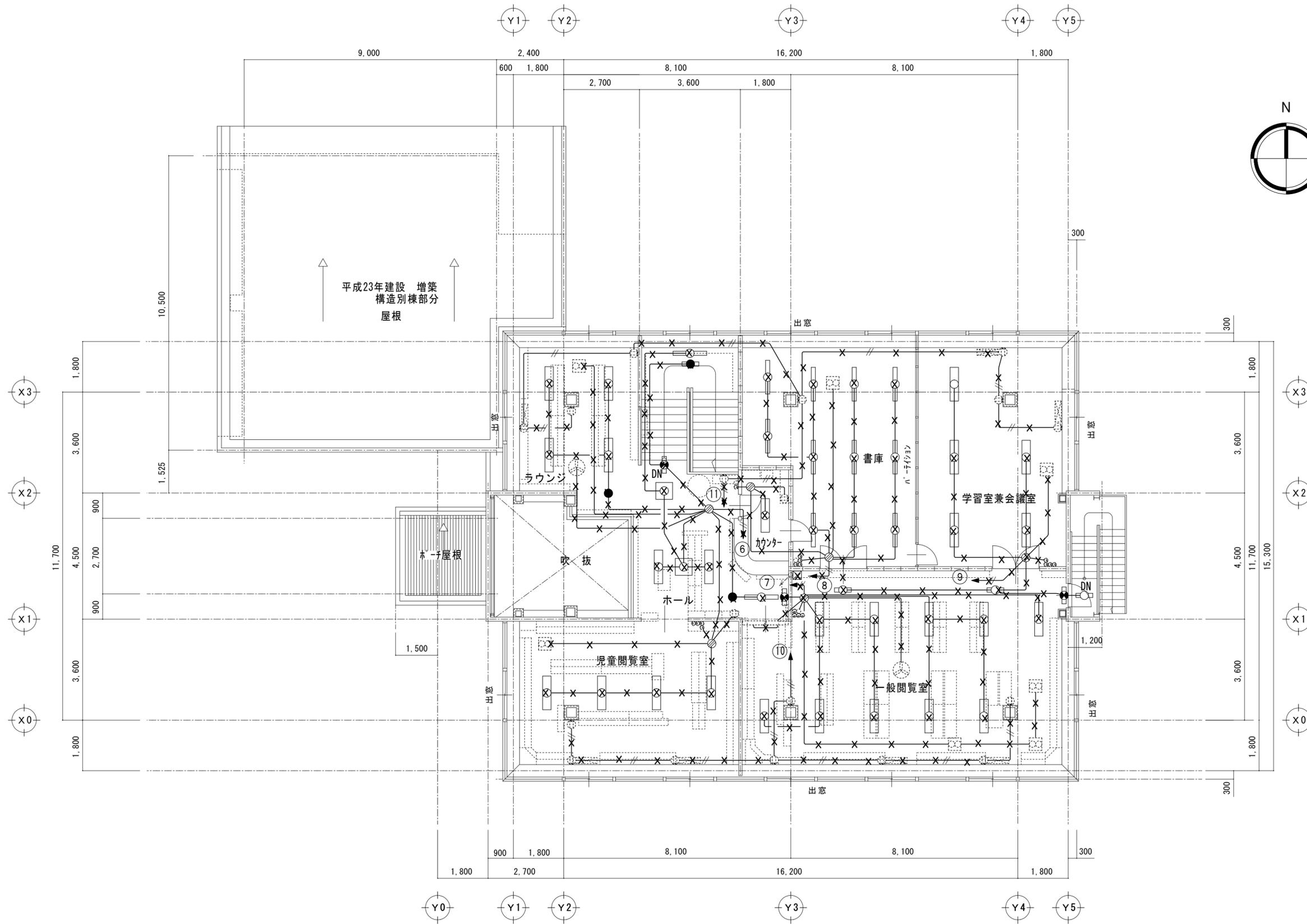
現状・撤去 2階平面図 1/100

MEMORANDUM	TITLE 平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	ITEM 現状・撤去 2階 弱電設備図	SCALE A2:1/100	DATE H28.7	CHECK-DRAWING 設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 龍郎 一級建築士 第32432号 小河 豪 一級建築士 第22929号 伊東 紀典	 株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222(代) 長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972(代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	SHEET NO. E-10 / 63
------------	------------------------------	------------------------	-------------------	---------------	---	---	------------------------



記号	仕様	凡例
■	電灯分電盤	特記なき配線は下記の通りとする。
□	ジョイントボックス	— VVF1.6-2C
○	照明器具 蛍光灯	— VVF2.0-2C
○	照明器具 誘導灯	— VVF1.6-3C
○	照明器具 投光器	— VVF2.0-3C
●	照明器具 ダウンライト	— 5 VVF1.6-2C+3C
□	換気扇 (別途工事)	— 6 VVF1.6-3C×2
○	強弱スイッチ (支給品)	— 7 VVF1.6-2C×2+3C
●	埋込スイッチ	— 天井ころがし
○	人感センサー	— 露出配管
Ⓜ	埋込コンセント	— 既設配線

現状・撤去 1階平面図 1/100



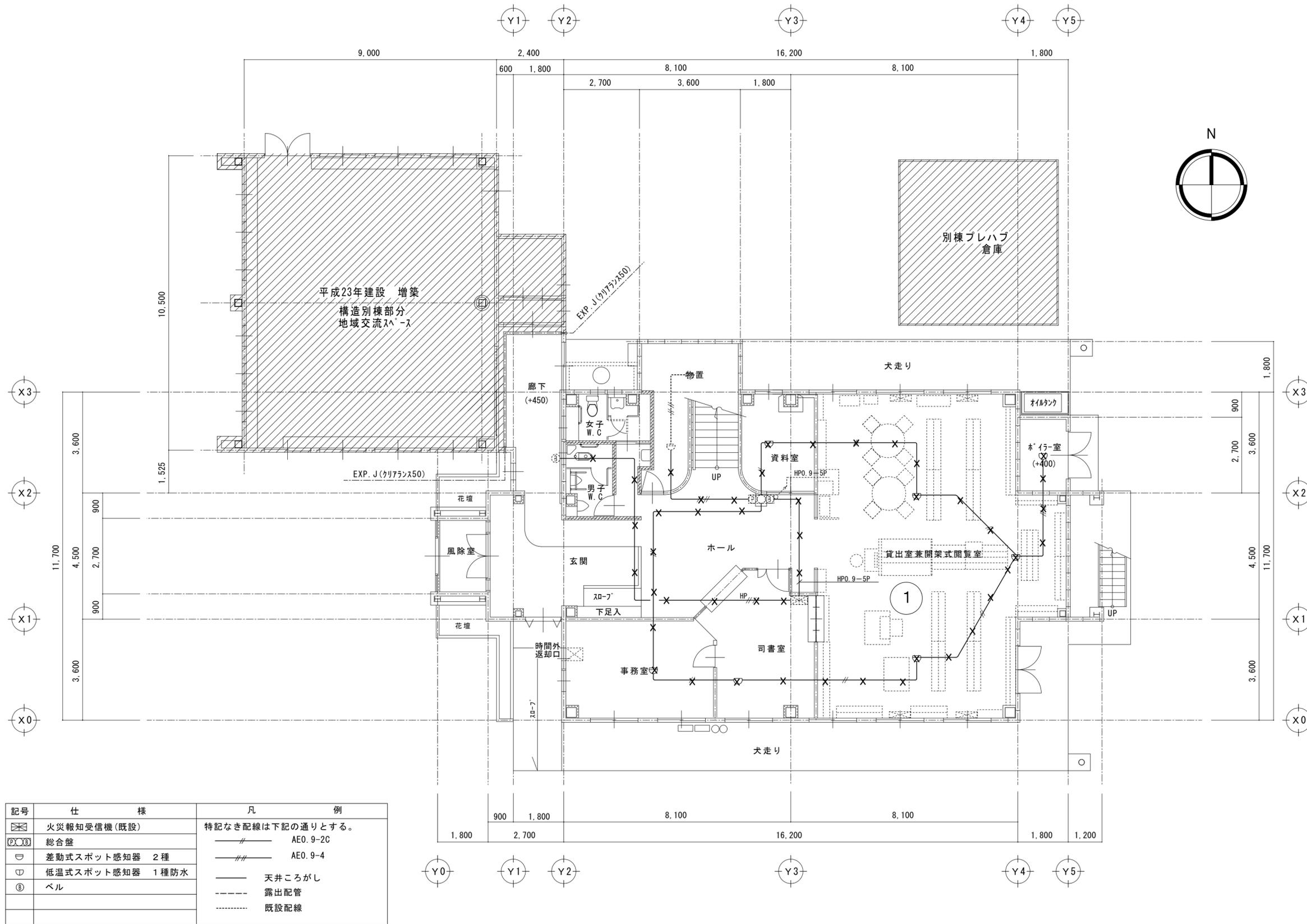
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去 2階平面図 1/100

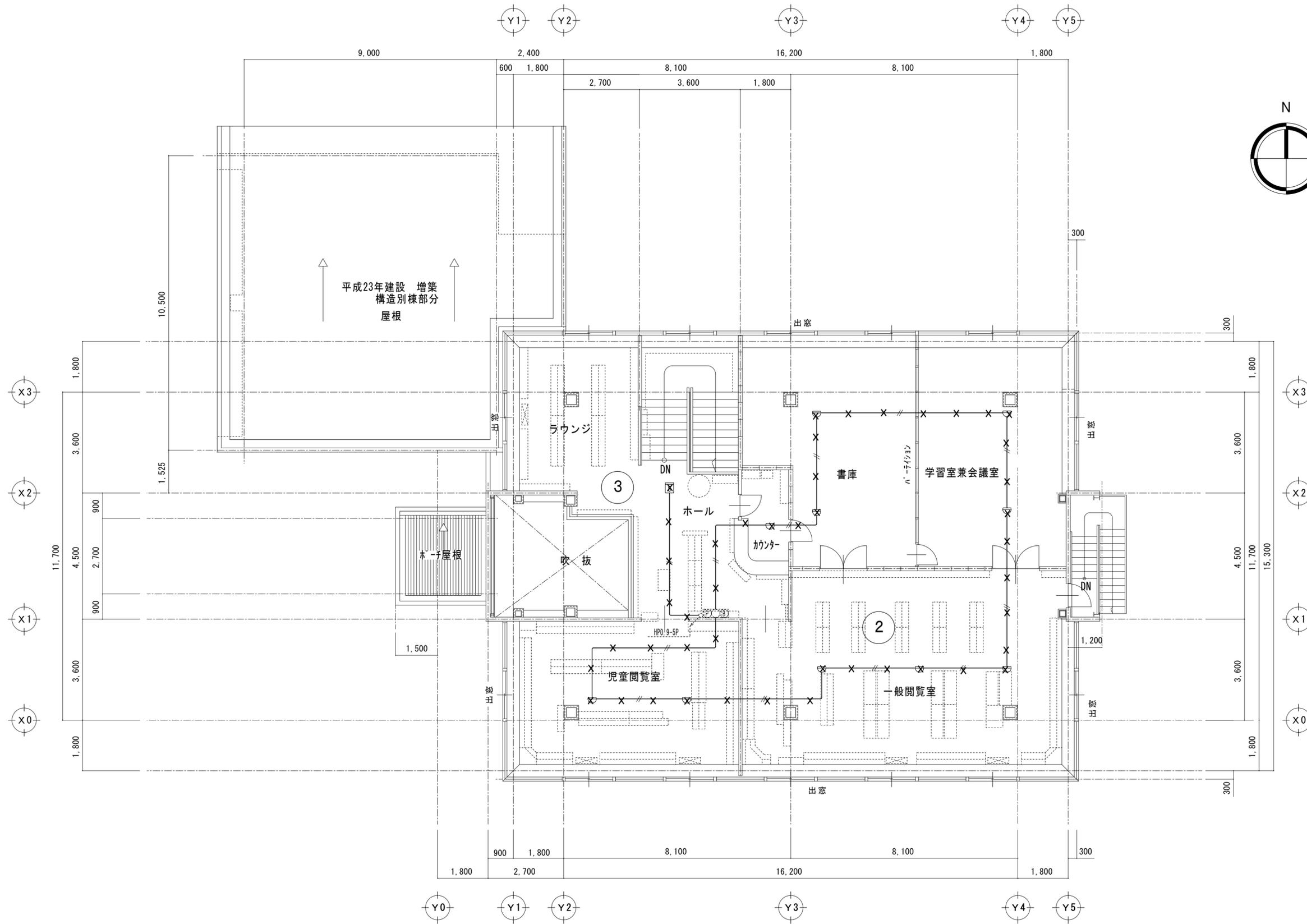
[既存仕上仕様]

床: U型デッキレートを厚1.6mm+コンクリート打厚100mm+モルタル金ゴテ厚40 かへつ敷き
 壁: マルラス下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大塚登録 第352433号 一般建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 薫	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階電灯コンセント設備図	A2:1/100 A3:1/141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 薫 一級建築士 第33433号 小河 薫 一級建築士 第22929号 伊東 紀典		E-12 / 63



現状・撤去 1階平面図 1/100



()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去 2階平面図 1/100

[既存仕上仕様]

床：U型デッキプレート厚1.6mm+コンクリート打厚100mm+モルタル金ゴテ厚40 カベ付敷き
 壁：タイル下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING		株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大塚 登録 第352433号 一般建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 薫	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階自動火災報知設備図	A2:1/100 A3:1/141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 登部 一級建築士 第33433号 小河 薫 一級建築士 第29229号 伊東 紀典			E-14/63

平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事 機械設備工事

I. 工事概要

1. 工事場所	箕輪町大字箕輪10295-1				
2. 建物概要	建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(m ²)
	図書館	耐震改修	S	2	547.00
					消防法施行令別表第一(8)
					耐震分類
					乙類
					備考

3. 工事種目	●印を付けたものを適用する				
工事種目	建物別	工 事 内 容			屋 外
○空気調和設備	○一	○一	○一	○一	○一
○冷暖房設備	○一	○一	○一	○一	○一
○暖房設備	○一	○一	○一	○一	○一
○換気設備	●一	○一	○一	○一	○一
○排煙設備	○一	○一	○一	○一	○一
○自動制御設備	○一	○一	○一	○一	○一
○衛生器具設備	●一	○一	○一	○一	○一
○給水設備	●一	○一	○一	○一	○一
○排水設備	●一	○一	○一	○一	○一
○給湯設備	○一	○一	○一	○一	○一
○消火設備	○一	○一	○一	○一	○一
○ガス設備	○一	○一	○一	○一	○一
○給油設備	●一	○一	○一	○一	○一
○厨房機器設備	○一	○一	○一	○一	○一
○実験器具設備	○一	○一	○一	○一	○一
○浄化槽設備	○一	○一	○一	○一	○一
○給水設備	○一	○一	○一	○一	○一

4. 設備概要	○印を付けたものを適用する				
方法及び種別	設 備 概 要				
空調方式	.				
冷暖房方式	.				
暖房方式	・温風暖房 ・温水暖房 ・FF暖房				
換気方式	●局所換気				
給水方式	●水道直結式 ・加圧式 ・高置タンク式(・上水 ・井水)				
排水方式	●建物内汚水、雑排水(●分流 ・合流) ・建物外汚水、雑排水(・分流 ●合流) 浄化槽(・合併 ・単独) ・公共下水				
消火設備の種別	・屋内消火栓設備 ・消火器				
ガスの種別	●液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/Nm ³) ・都市ガス(発熱量 KJ/Nm ³ 供給事業者名:)				

5. 指定部分・無対象部分
指定部分: 無
対象部分: 有 (指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)

II. 図面目録

No.	図面名称	No.	図面名称
1	機械設備工事 特記仕様書		
2	機器表・凡例		
3	現状・撤去 1階平面図(暖房設備)		
4	現状・撤去 2階平面図(暖房設備)		
5	現状・撤去 2階平面図(空調・換気設備)		
6	現状・撤去 2階平面図(空調・換気設備)		
7	1階改修後平面図(換気設備)		
8	2階改修後平面図(換気設備)		
9	現状・撤去 1階平面図(衛生設備)		
10	1階改修後平面図(衛生設備)		

III. 工事仕様

- 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁管理課の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事情) (平成25年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事情) (平成25年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事情) (平成25年版)」(以下、「標準図」という。)による。
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
参考図書
●長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成22年版)長野県建設部施設課監修
- 特記仕様
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章	項目	特 記 事 項
1	機 材 等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の1)から6)までの事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものについては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

- 2 使用材料発注申請書
使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- 3 施工条件明示項目
- 4 化学物質を含有する建築材料等
本工事に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
5) 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該 当 す る 建 築 材 料
規 制 対 象 外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない材料使用 d ホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを発生しない塗料等使用
第 三 種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③IBJISのEo規格品 ④IBJASのFco規格品

- 5 ベースシール剤
飲料水水系に使用されているベースシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラヒカチン、クロロピリロス、フェノプロカルフ、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
- 6 電気保安技術者
電気保安技術者を設置する。
・配管(1. 2) ・冷凍空調調和機器(1. 2) ・熱線(1. 2) ・建築板金(1. 2) ・設けない ・設ける
- 7 技能士の適用
- 8 監督員事務所
- 9 工事用電力・用水等
- 10 足場・さん橋類
- 11 資材の保管
監督員が指示する構内の場所に敷ならし、構内指定場所にたい積 ・構外搬出適切処理
・切口中の良質土(ただし管の周囲は山砂、川砂又は再生砂) ・山砂の類
切口中の山留め ・有() ・無
- 12 埋め戻し土・盛土
- 14 山留養生
- 15 養生材処理
工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画を監督職員に提出し、しゅん工期時は廃棄物等処理報告書を作成し提出する。
(1) 引渡しを要するもの ・無 ・有()
(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。
(3) 特別管理産業廃棄物 ・無 ・有()
(4) 再利用又は再生資源化を図るもの(コウジト塊、717#ト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、)標準仕様書第1編1. 7. 4によるほか、バルブ類等が必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線等で取り付ける。
機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約 ㎡とする。
・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温湿度測定 ・騒音測定
・飲料水の水质の測定(・水质基準検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度) ・トルエン)
飲料水の水质の測定は厚生労働大臣登録水质検査機関とする。
(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水櫃その他の貯槽にあっては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準水深震度をもつものとする。地域係数は1.0とする。

設 置 場 所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	特定の施設(甲類・乙類)		一般施設(乙類)	
上層階、屋上及び塔屋	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
	2. 0 (2. 0)	1. 5 (1. 5)	1. 5 (2. 0)	1. 0 (1. 5)
中間階	2. 0 (1. 5)	1. 0 (1. 0)	1. 0 (1. 5)	0. 6 (0. 6)
	1. 0 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)
地下階、一階	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 0)	1. 0 (1. 0)	0. 6 (0. 6)

- 16 文字入名札等
- 17 取扱説明板
機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約 ㎡とする。
・風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温湿度測定 ・騒音測定
・飲料水の水质の測定(・水质基準検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、味、臭気、色度、濁度) ・トルエン)
飲料水の水质の測定は厚生労働大臣登録水质検査機関とする。
(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすえ付け、取付又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水櫃その他の貯槽にあっては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準水深震度をもつものとする。地域係数は1.0とする。

21	あと施工アンカー	確認試験は、性能確認試験(本)を確認試験()にて行う。 ・施工工の適用(第1種、第2種)あと施工アンカー施工士による。[国土]日本建築学会認定施工士(認定資格)
22	吊金物	吊金物は亜鉛メッキ又はステンレス鋼製とする
23	配管勾配	給水、給湯、消火、冷温水、冷却水管は、図示による水抜きが確実にできるよう水抜き位置に向かって下り勾配とする。
24	管の保護	コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重ね1回巻くとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼管等により防止下配管を要する。
25	管の埋設	土中埋設管(排水含む)は、管の上下をサンドクッション100mmで保護する。 給水管、消火管の埋設深さは ㎜とする。又、ガスの埋設深さは ㎜とする。

- 26 管の埋設表示
図示された屋外埋設管の分岐及び曲りの箇所には、コンクリート製積柱を埋め込む。積柱部分は埋設標高とする。また、施工上生じた分岐、曲りの箇所についても同様とする。
排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
- 27 溶接部の非破壊検査
検査対象 ・配管 ・煙道
検査率 ・標準仕様書による
検査の種類 ・RT ・PT又はMT
下記の金属電線管は塗装を行う。
・屋外露出()の屋内露出
下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。
・倉庫
- 28 塗装

機 器	基 礎	振 動 絶 縁 効 率
通 心 送 風 機	・標準基礎 ・防振基礎	・ %以上
空 調 用 ポ ンプ 及 び	・標準基礎 ・防振基礎	・ 80%以上
ボイラー給水用ポンプ		
揚 水 用 ポ ンプ 及 び	・標準基礎 ・防振基礎	・ 80%以上
小形給水ポンプユニット		

- 30 電気種別
- 31 はつり
- 32 保温及び消音内貼り
給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ(グラッド部を含む)、フランチ、可とう継手及び空調ダクトのフランチは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。
各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。
・換気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
・外気取入れダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
・排気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
・通りダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
・膨張タンクよりボイラーへの補給水管の保温は膨張管の項による。
・建物内の空気抜き管の保温は膨張管の項による。
・空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。
・全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
・保温種別は下記による
ダクト ・イ(1号 ・2号) ・ロ
冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・イ ・ロ
機器 ・イ ・ロ
給水管 ・ハ ・ロ(凍結防止帯巻部分)
排水管 ・イ
給湯管 ・イ ・ロ
・排水管でピット内、共同溝内及び最下階の床下の下記部分は保温する。
なお仕様はd(h)とする。
(・排水トラップ ・鉛管 ・銅管類 ・ビニール管 ・ドレーン管) ・
・消火管で下記部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。
(・屋内消火栓 ・水抜きできない管 ・スプリンクラー配管) ・
・圧力タンク、膨張水槽、各種呼吸水槽等鋼板水槽は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。
・大便器は保温する。
・共同溝の保温種別(・ピット内に準ずる) ・
・ダクトの保温外装は下表による。

区 分	保 温 外 装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス
機械室	・アルミガラスクロス
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板

区 分	保 温 外 装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス
機械室	・アルミガラスクロス
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板
屋外露出、多湿箇所	・ステンレス鋼板

- 33 防凍保温
・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以下のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。
・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は32に準ずる。
・各種機器について図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。()
(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。
(2) 新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
配管、ダクト、器具据え付けにともなうスリーブ、挿入れは本工事とし、他は工事区分による。保護等の各種措置については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。
(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)
- 34 試験
- 35 他工事との取合い
- 36 その他

○空気調和設備	1 設計温湿度 外 気 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 温度(DB) 湿度(RH) 夏季 ℃ % ℃ % ℃ % ℃ % 冬季 ℃ % ℃ % ℃ % ℃ % 2 居室騒音限界 (注) 1. () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 2. () 内の数値は水槽類に適用する。 3. 上層階の定義は次による。 2～6階建以下の場合是最上階、7～9階建の場合は上層2階 重要機器とは下記に示すものをいう。 ・給水装置 ・排水装置 ・換気機器 ・空調機器 ・防災設備 ・監視制御設備 ・危険物貯蔵装置 ・火を使用する設備 ・避難経路上に設置する機器 (2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 機械改修工事標準仕様書第2編5章による。 確認試験は、性能確認試験(本)を確認試験()にて行う。 ・施工工の適用(第1種、第2種)あと施工アンカー施工士による。[国土]日本建築学会認定施工士(認定資格)
○冷暖房設備	3 煤煙温度計 4 ばいじん量測定口 5 煙 道 6 ダクト
○暖房設備	7 風量測定口 8 チャンパー
○暖房設備	9 防凍ダンパー

- 10 ピストンダンパー
11 弁 類
12 温 度 計
13 圧 力 計
14 瞬 間 流 量 計
15 油 漏 漏 漏 計 装 置
復得方式(・遠隔 ・)
JIS又はJV(・5K ・10K(図示部分))
取付部は図示による。
取付部は図示による。
コック付とし、形式及び取付部は図示による。
制御室には(・給油ポンプ制御 ・油漏警報 ・遠隔警報 ・電磁弁制御 ・送油ポンプ制御 ・減油警報 ・)の端子を設ける。なお、フロートスイッチ部と制御室間の配管配線は製造者の標準仕様とする。

- 換気設備
1 ダクト
・低圧ダクト ・高圧1ダクト ・高圧2ダクト
・アングルフランチ工法 ・スパイラルダクト
・コーナーボルト工法(・共板フランチ工法 ・スライドオフフランチ工法)
・厨房・浴室系統の排気用ダクトの水抜き(・要 ・不要)
・厨房系統の長方形排気用ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
取付位置は図示による。
2 風量測定口
3 ダンパー
空気調和設備の該当項目による。
4 排気ダクトのシール
空気調和設備の該当項目による。
5 チャンパー
自家発用換気ダクトが自家発用外を通過する場合の耐火措置は図示による。

- 排煙設備
1 ダクト
・亜鉛鉄板
2 排煙口の形式
図示による
3 排煙口手動開放装置(開放及び復得方式)
・ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要)
4 排煙風量測定
「建築設備定期検査業務基準書平成20年度版」(財)日本建築設備昇降センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。
・有り ・無し
図示による
- 自働設備
1 中央監視制御装置
2 中央監視制御装置の構成・機能
3 電気計装工事の記録
使用する電線類はEM電線とし、規格は標準仕様書第4編表1. 5. 1 表4. 1. 11の使用電線類の規格による。(機器、差盤は除く)
屋外・屋内露出の電線は図面に特記のない限り金属管配線とする。
天井内隠蔽の配線は図面に特記のない限りケーブル配線とする。

- 衛生器具設備
1 大便器洗浄弁
・バキュームブローカー ・不凍結装置付 ・低圧フラッシュバルブ()
・水抜き装置付
2 大便器洗浄弁
加熱方式(・貯湯式 ・瞬間式) 給水方式(・給水管直結給水方式 ・ポンプ加圧給水方式)
温風乾燥機能(・有 ・無) 脱臭(・有 ・無)
3 小便器洗浄弁
・不凍結装置付 ・感知小便器一体型フラッシュ方式 ・個別感知フラッシュ方式(・埋込 ・露出)
4 小便器洗浄管
・露出 ・隠ぺい ・水抜き装置付
5 水 栓
・節水コマ ・固定コマ(・寒冷地対応形) ()
6 水 栓
・陶器製(・露出形) ・
7 化粧棚
・陶器製(・露出 ・埋込)
8 洗面器
・止水栓付
9 洗面器
・取付箇所(・大便器 ・小便器 ・)材質(・陶器製 ・)
10 大便器
・設ける(ピット内は除く) ・設けない
11 大便器耐久カバー

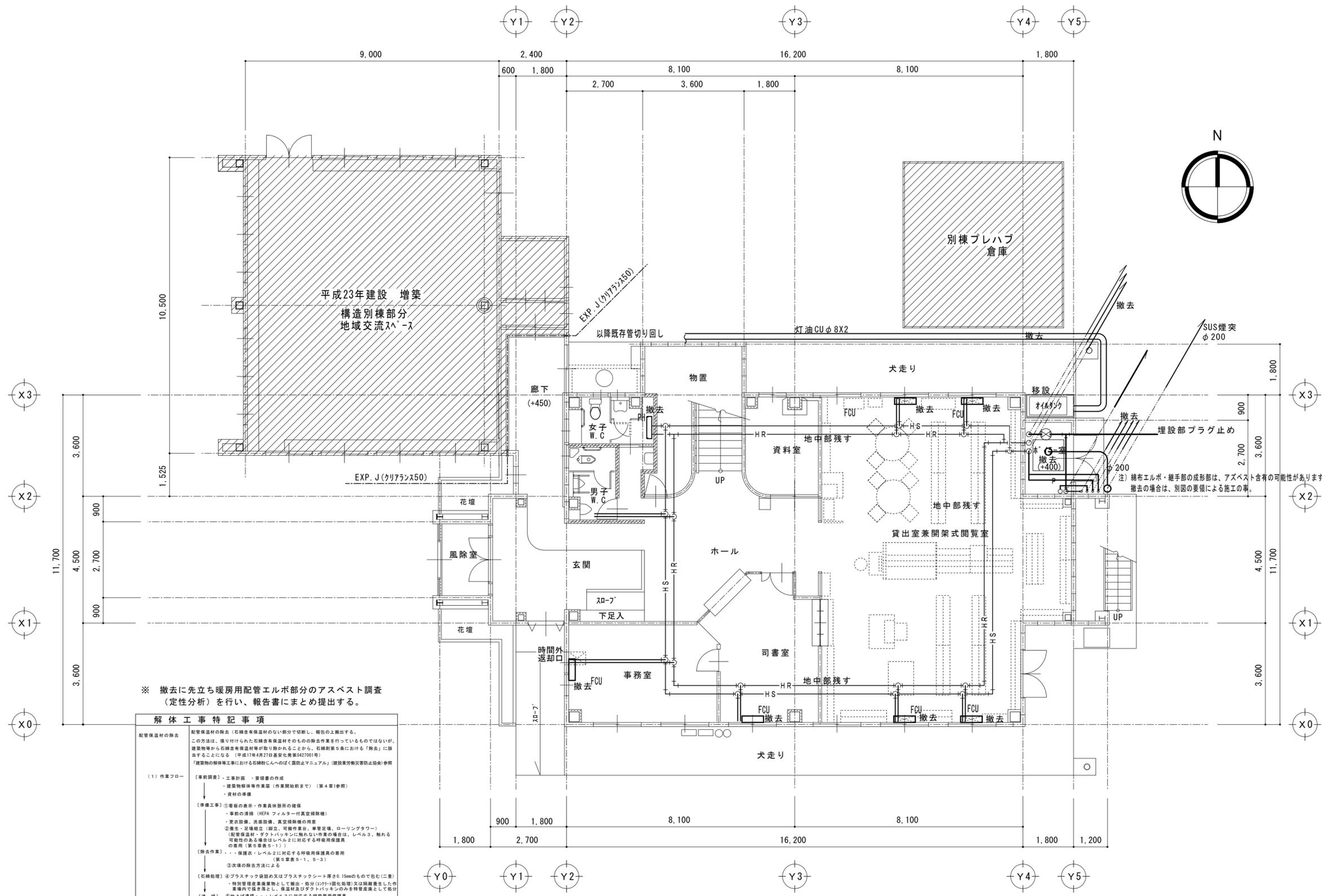
- 給水設備
1 量水器
・メーター(・貸与品 ・) ・子メーター(・買取り ・)
2 量水器
水道事業者指定品(・貸与品 ・買取り) ・標準図MC形
3 弁 類
JIS又はJV 水道直結部分(・10K ・) ・その他の部分(・5K ・)
4 引込納付金等
・要(・本工事 ・別途工事) ・不要
5 給水勾配
・不凍栓の二次側は水抜きが確実にできること。
6 建物導入部配管
・標準図 施工4. 5 (・(a) ・(b) ・(c))による。

- 排煙設備
1 洗面器等の排水管
洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。
2 排水勾配
屋内 ・65A以下は1/50、75A以上は1/100以上 屋外 ・1/100以上
3 排水試験継手
図示の箇所に取付ける。
4 1/2ボルト、ためめ
鋼のコンクリート部は工場製品としてもよい。

- 給湯設備
1 弁 類
JIS又はJV(・5K ・10K(図示部分))
2 燃 焼 機 器
・H B-1 A ・H B-1 B
・標準図 施工4. 5 (・(a) ・(b) ・(c))による。

- 厨房設備
1 充てん容器
・別途(・50kgによる) ・
2 集 合 装 置
・標準図 施工70による 本組)
3 転倒防止等
・標準図 施工71(・(a) ・(b))による
4 メ ー タ ー
・観メーター(・貸与品 ・) ・子メーター(・買取り ・)
5 ガス漏れ警報器
・本工事(図示による) ・別途工事
6 引込負担金
・要(・別途工事 ・本工事) ・不要
7 電気防食
・要 ・不要
8 建物導入部配管
・標準図 施工4. 5 (・(a) ・(b) ・(c))による。

- 1 しゅん工期提出物
標準仕様書によるほか別表-2による。
2 定期報告
工事しゅん工期後3ヶ月、12ヶ月に点検をして、その結果を書面で施設課長あて報告する。
(管理者からの聞き取り調査を含め、調査には必ず管理者の立会いを要する。)
- その他
3 電子納品
別添「建築工事における電子納品特記仕様書(試用用)」による。
(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)
4 特別管理産業廃棄物管理責任者
特別管理産業廃棄物の処理に当たっては、廃棄物処理法に基づき特別管理産業廃棄物管理責任者を
選任する。
(別表-1) 品質及び性能を有することの証明となる資料を提出する機材等
○(社)公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等
・
・
・
・
○その他監督職員の指示によるもの
(別表-2) しゅん工期提出物(○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。)



※ 撤去に先立ち暖房用配管エルボ部分のアスベスト調査
(定性分析)を行い、報告書にまとめ提出する。

解体工事特記事項

配管保温材の除去 (石棉含有保温材の除去)

この方法は、張り付けられた石棉含有保温材そのものの除去作業を行っているものではないが、建築物から石棉含有保温材等を取り除かれることから、石棉対策上における「除去」に該当することとなる (平成17年4月27日厚生労働省0427001号)。
『建築物の解体工事における石棉対策について』(建設業労働災害防止協会)参照

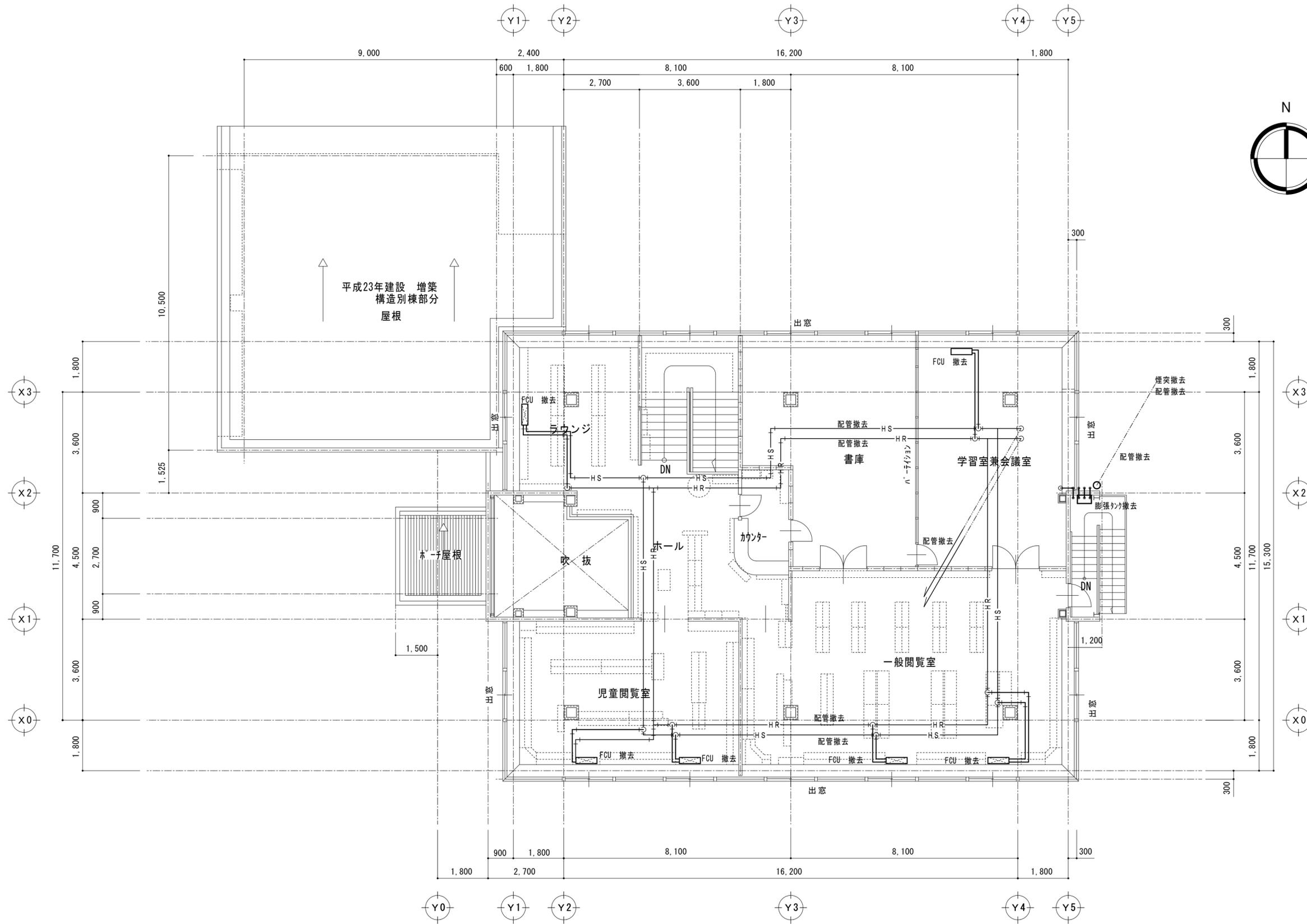
(1) 作業フロー

- 【事前調査】・工事計画・要領書の作成
・建築物解体等作業届 (作業開始前まで) (第4章1参照)
・資材の準備
- 【準備工事】①着目の表示・作業具休置所の確保
・事前の清掃 (HEPA フィルター付真空掃除機)
・更衣設備、洗濯設備、真空掃除機の使用
②養生・足場組立 (養生、可搬作業台、養生壁、ローリングタワー)
(配管保温材・ダクトパッキンに接しない作業の場合は、レベル3、触れる可能性のある場合はレベル2に対応する呼吸用保護具の使用 (第5章表5-1))
- 【除去作業】・・・保護衣・レベル2に対応する呼吸用保護具の着用 (第5章表5-1、5-3)
③次項の除去方法による
- 【石棉処理】④プラスチック袋詰め又はプラスチックシート厚2.0、15mmのもので包む (二重)
・特別管理産業廃棄物として搬出、処分 (20リットル単位処理) 又は隔離養生した作業場で焼却処分し、焼却灰及びダクトパッキンのみを特別管理廃棄物として処分
(注) ⑤仕上げ清掃・・・レベル3に対応する呼吸用保護具、保護衣の着用 (第5章表5-1、5-3)
・ HEPA フィルター付真空掃除機
- 【作業記録】保存期間30年

(2) 除去方法

配管エルボの事例

現状・撤去 1階平面図 1/100



()内は、GLからの床レベルを示す。

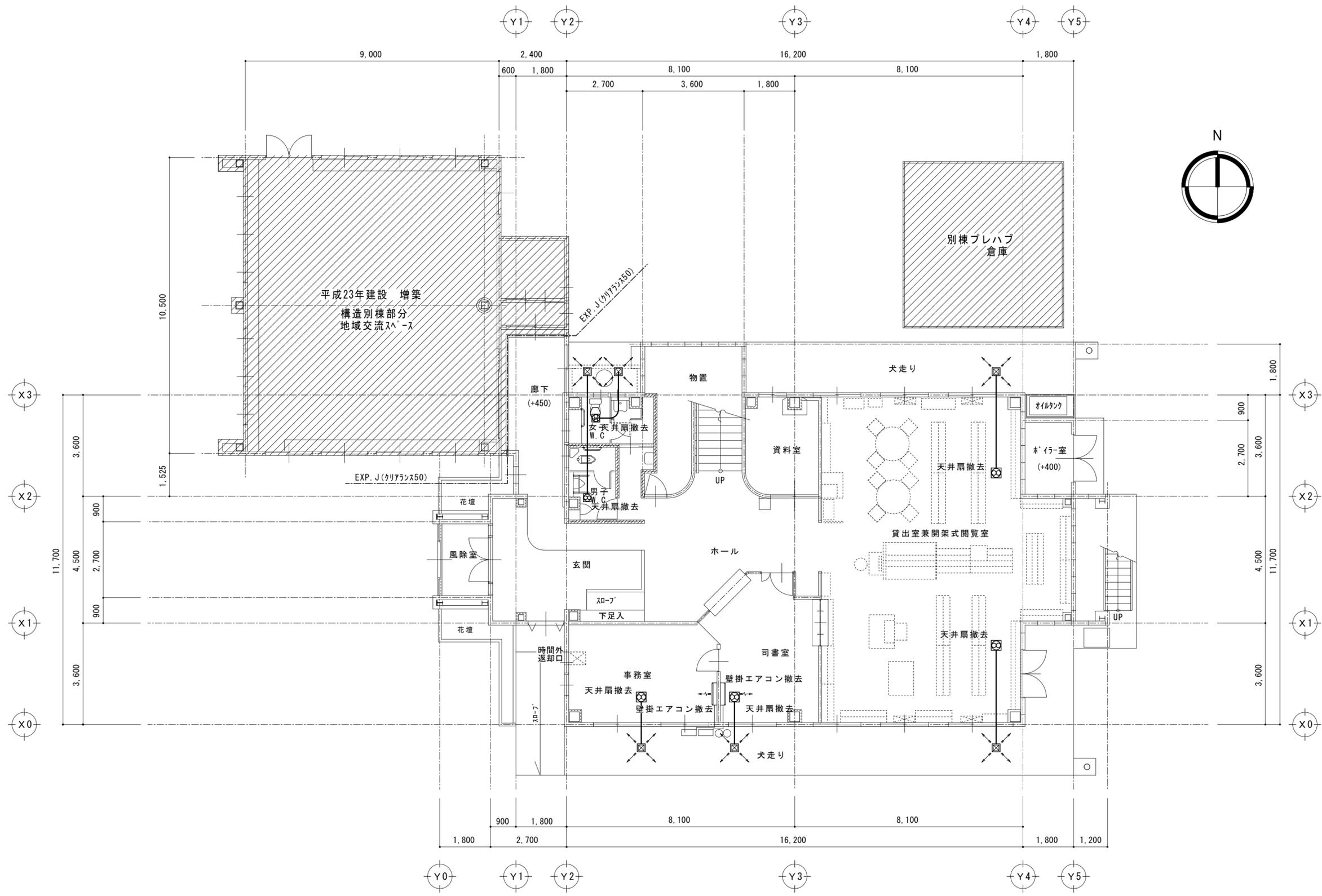
現状・撤去 2階平面図 1/100

[既存仕上仕様]

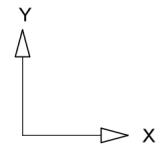
床: U型デッキレートを厚1.6mm+コンクリート打厚100mm+モルタル金ゴテ厚40 かへつ敷き

壁: マルマ下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

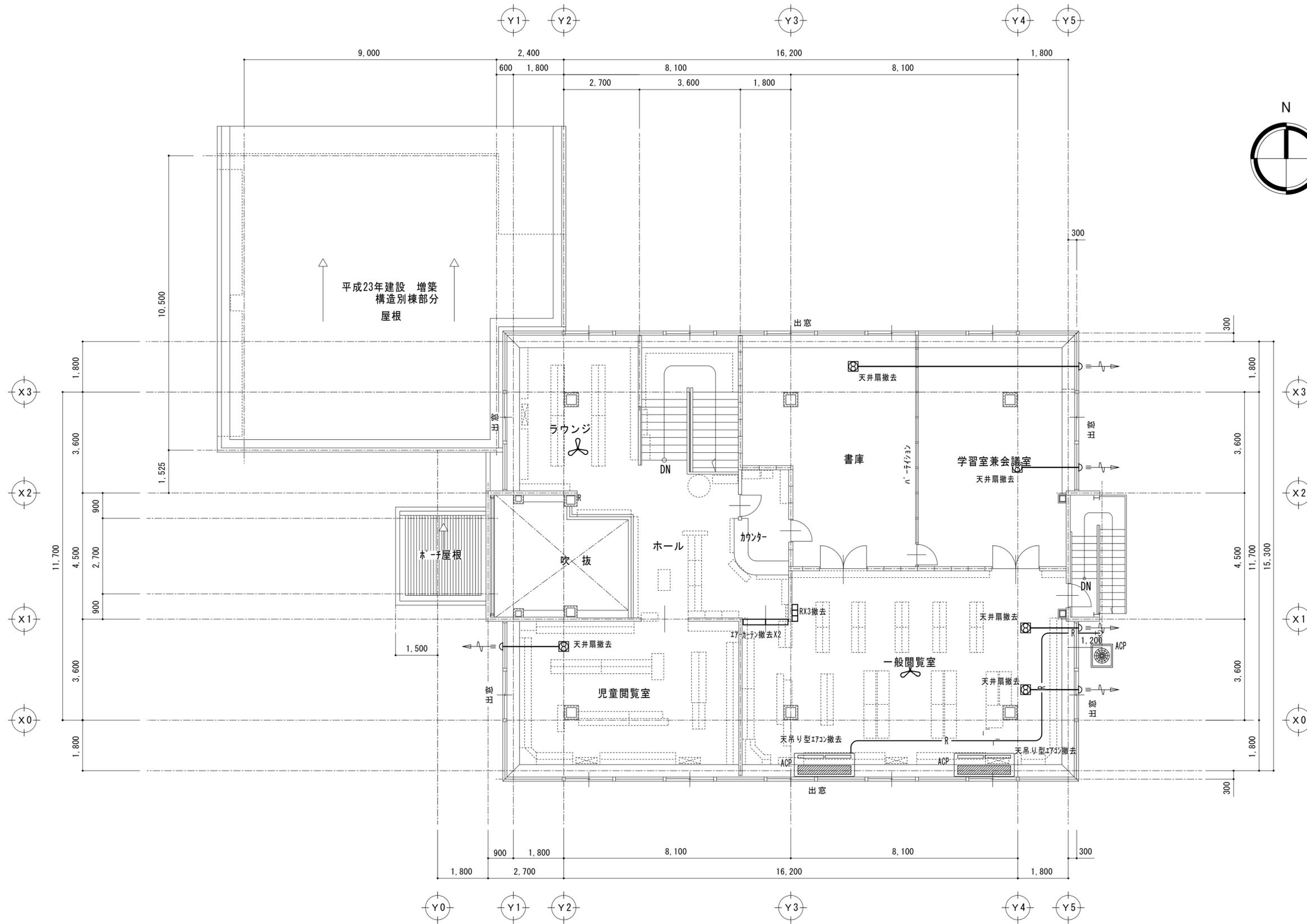
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階平面図 (暖房設備)	A2:1/100 A3:1/≒141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 節郎 一級建築士 第33433号 小河 豪 一級建築士 第22929号 伊東 紀典	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町大内原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	M-04 / 63



現状・撤去 1階平面図 1/100



MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和設計	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 1階平面図 (換気設備)	A2:1/100 A3:1/141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 節郎 一級建築士 第33432号 小河 豪 一級建築士 第32923号 伊東 紀典	創和 株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	M-05 / 63



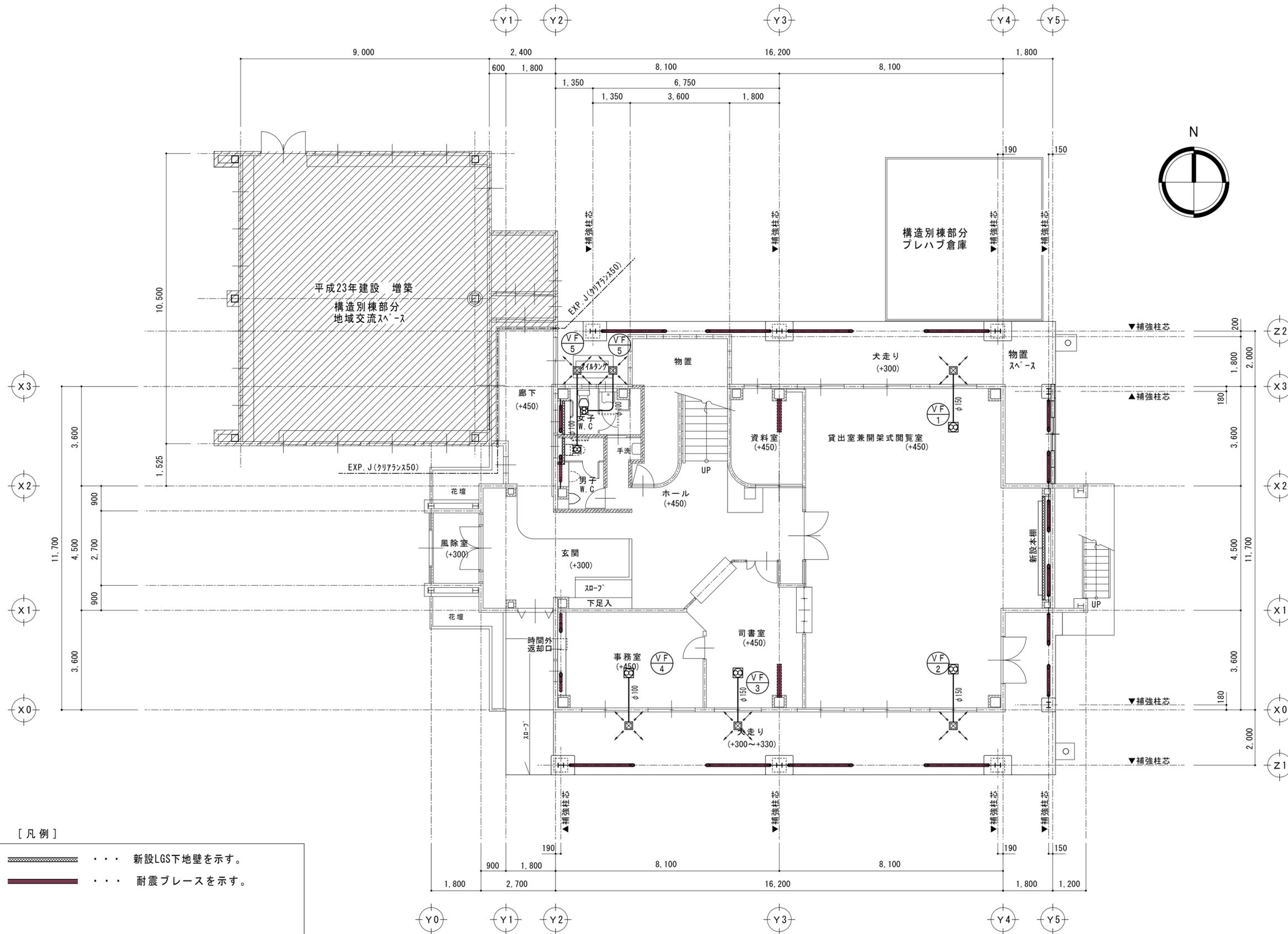
()内は、GLからの床レベルを示す。

現状・撤去 2階平面図 1/100

[既存仕上仕様]

床：U型デッキプレート厚1.6mm+コンクリート打厚100mm+モルタル金ゴテ厚40 カベ^ハ付敷き
 壁：タタリ下地モルタル金ゴテ 内部吹付塗材 吹付

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	現状・撤去 2階平面図 (空調換気設備)	A2:1/100 A3:1/141	H28.8	設備設計一級建築士 第13507号 一級建築士 第13507号 小河 節郎 一級建築士 第33433号 小河 豪 一級建築士 第32929号 伊東 紀典	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田町大内原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	M-06 / 63

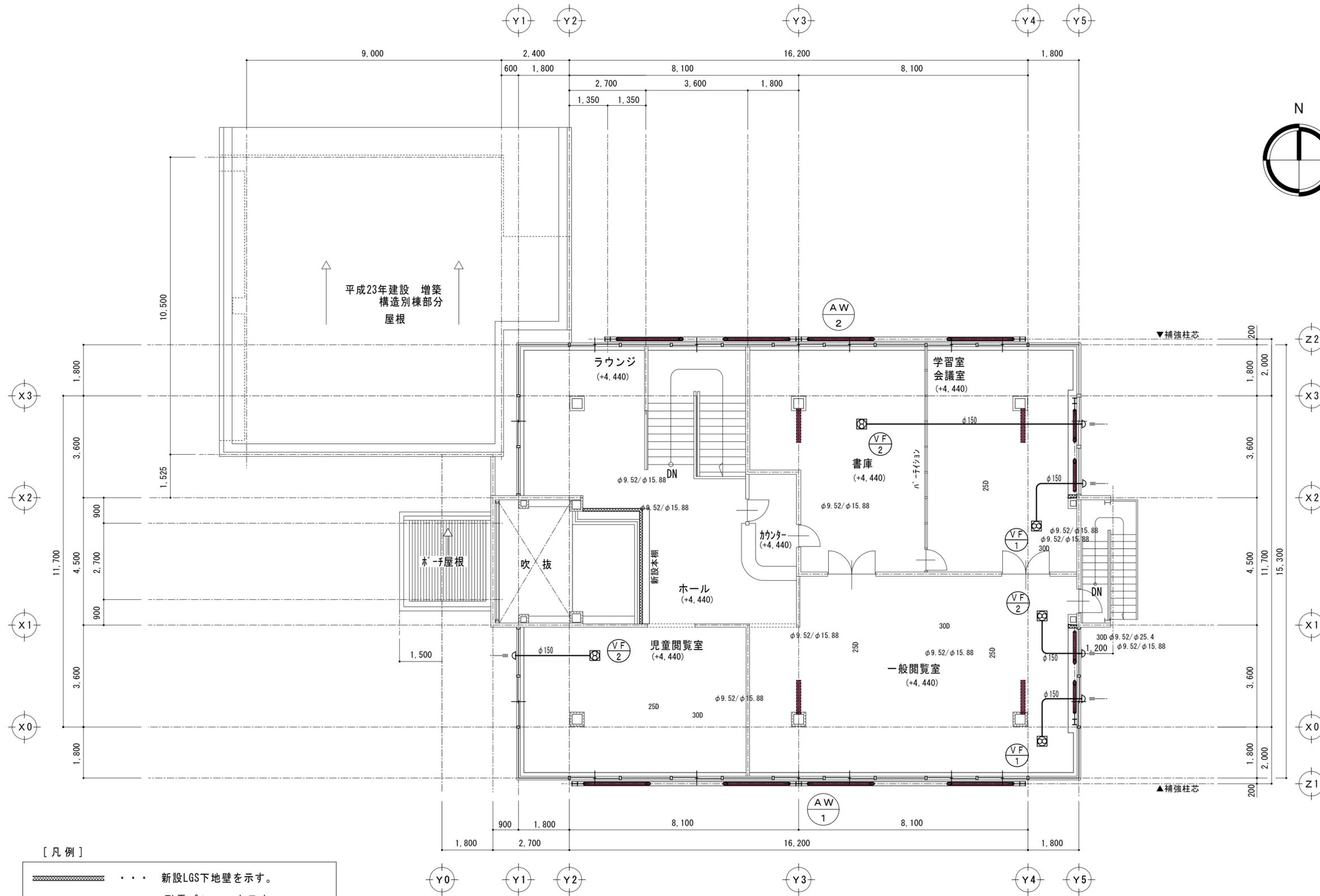


- [凡例]
- ・・・ 新設LGS地下壁を示す。
 - ・・・ 耐震ブレースを示す。

()内は、GLからの床レベルを示す。

1階 改修後 平面図 1/100

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	創和	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	1階 改修後 換気設備 平面図	A2: 1/100	H28. 7	設備設計一級建築士 第135007号 一級建築士 第135007号 小河 節郎 一級建築士 第33432号 小河 豪 一級建築士 第22929号 伊東 紀典	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡箕輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一級建築士 大臣登録 第352433号 一級建築士事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 豪	M-07 / 63



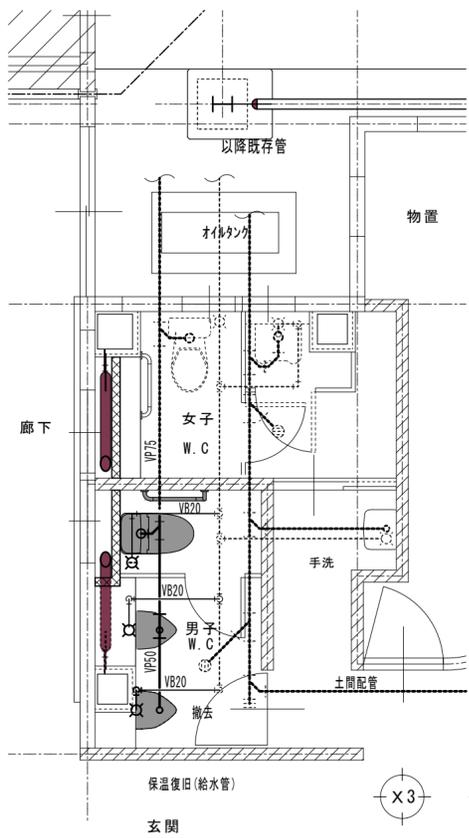
[凡例]

- ・・・ 新設LGS下地壁を示す。
- ・・・ 耐震ブレースを示す。

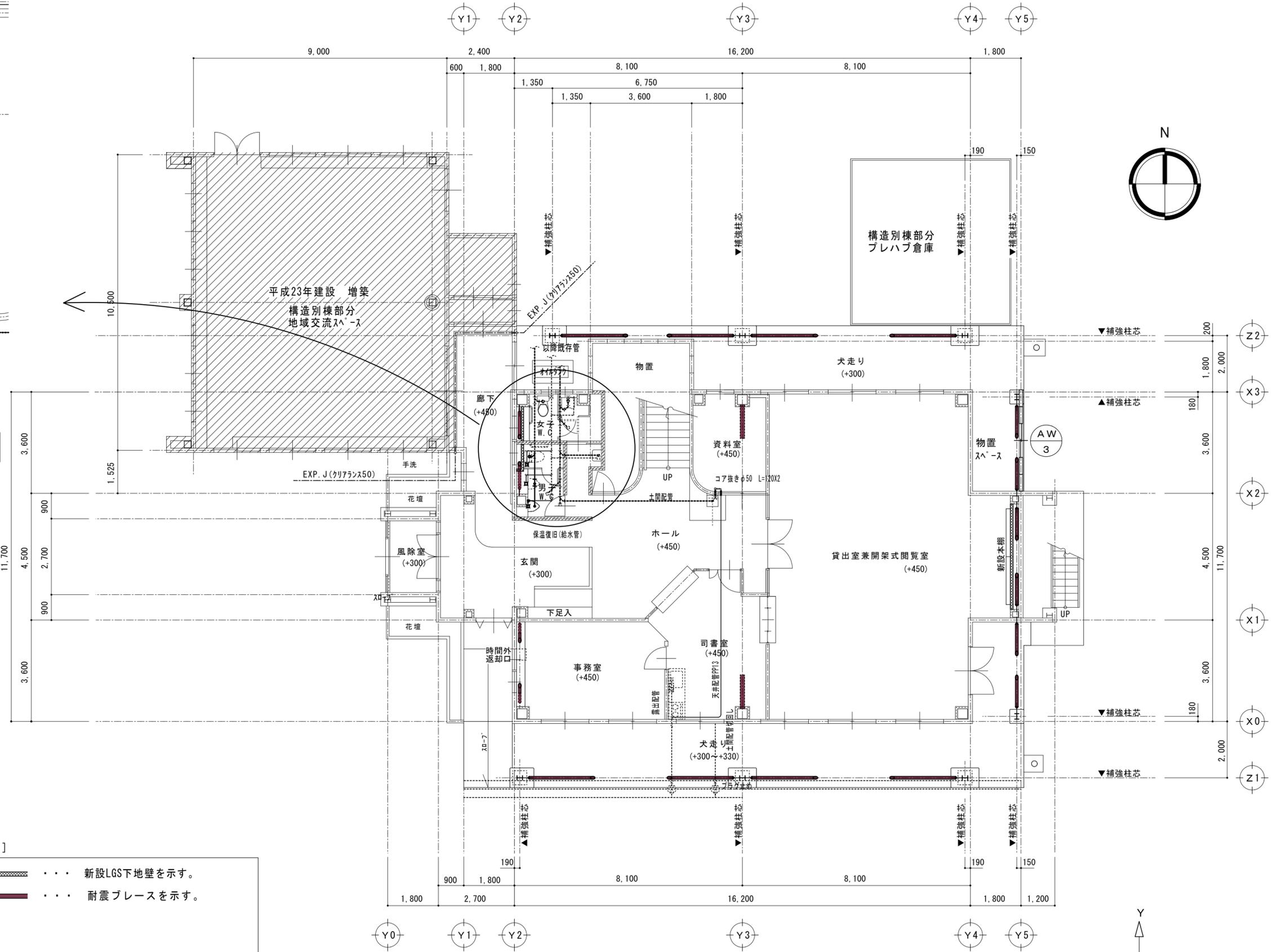
()内は、GLからの床レベルを示す。

改修後 2階平面図 1/100

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	CHECK-DRAWING	株式会社 創和設計 長野県上伊那郡美輪町 2674-1 TEL0265-79-1222 (代) 長野県塩田市大門原町 509 TEL0263-52-8972 (代) 一般建築士 大塚登輝 第352433号 一般建築士 事務所登録第(上伊)F-87121号 小河 薫	SHEET NO.
	平成28年度 箕輪町図書館耐震改修工事	改修後 2階 換気設備 平面図	A2:1/100	H28.7	設備設計 一般建築士 第135007号 一般建築士 第353433号 小河 薫 一般建築士 第229229号 伊東 紀典		M-08 / 63



W. C 詳細平面図 1/50



- [凡例]
- . . . 新設LGS下地壁を示す。
 - . . . 耐震ブレースを示す。

() 内は、GLからの床レベルを示す。
1階 改修後 平面図 1/100